

第23回
幸田町住民意識調査
報告書

令和5年3月
幸田町

第6章 新型コロナウイルス感染拡大の影響についての調査結果 (問20～問21)	61
1 新型コロナウイルス感染拡大による困りごと・心配ごと (問20)	62
2 新型コロナウイルス感染症対策として重点的に実施してほしい施策 (問21)	64
第7章 公共交通に関する調査結果 (問22～問23)	67
1 公共交通の利用のしやすさ (問22)	68
2 新しい移動手段の認知度 (問23-1)	75
3 新しい移動手段の利用意向 (問23-2)	79
第8章 墓地の整備に関する調査結果 (問24～問27)	87
1 お墓の所有の有無 (問24)	88
2 お墓の取得希望 (問25)	89
3 希望する埋葬・納骨の形態 (問26)	90
4 町営墓地の整備に対する意向 (問27)	91
第9章 自由意見	93
1 自由意見	94
資料 調査票	127

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

町政に対する町民の意識と評価を把握し、町政運営の基礎資料とするものです。

2 調査方法等

(1) 調査対象

18 歳以上の町民 2,000 人

(令和 5 年 1 月 1 日時点での総人口 42,283 人 うち 18 歳以上 90 歳未満人口 32,530 人)

(2) 抽出方法

無作為抽出

(3) 調査方法

郵送による調査票の配布

回収は、紙（郵送）による回答と W e b ページからの回答のいずれかを選択

(4) 調査期間

令和 5 年 2 月 10 日（金）～令和 5 年 2 月 24 日（金）

(5) 回収状況

抽出数 2,000 人／回収数 1,298 人 回収率 64.9% （前回 70.4%）

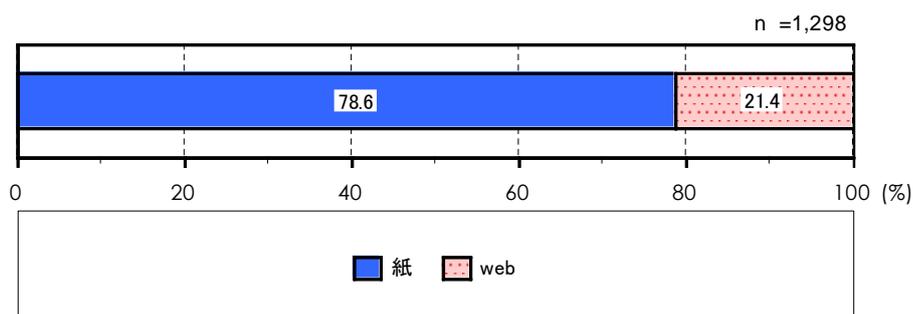
(6) 回収形式

「紙（郵送）」による回収 1,020 人（78.6%）、「W e b」による回収 278 人（21.4%）

表 回収形式

	件数	%
紙	1,020	78.6%
web	278	21.4%
合 計	1,298	100.0%

図 回収形式



(7) 調査項目

- ・回答者の属性について（7問）
- ・町政への関心について（2問）
- ・町政の情報源について（1問）
- ・総合計画の各施策の満足度と重要度、優先度について（2問：41施策分）
- ・幸田町での定住意向、よいところ・悪いところについて（3問）
- ・日常生活における行動・意識について（3問）
- ・ICT（情報通信技術）の活用について（2問）
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響について（2問）
- ・公共交通に対する評価と新たな移動手段の検討・導入について（2問）
- ・墓地の整備について（4問）

3 報告書の見方

- ・結果は百分率で表示してあります。小数第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の合計は100%を超えます。
- ・二重回答や判読不能な回答は無回答に含めています。

第2章 回答者の属性

(問1～問7)

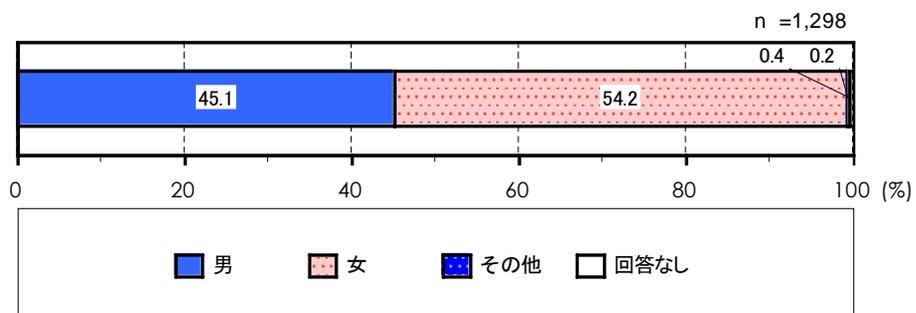
1 性別（問1）

回答者の性別は、「男」が45.1%、「女」が54.2%となっています。

表1 回答者の性別

	件数	%
男	586	45.1%
女	704	54.2%
その他	3	0.2%
回答なし	5	0.4%
合計	1,298	100.0%

図1 回答者の性別



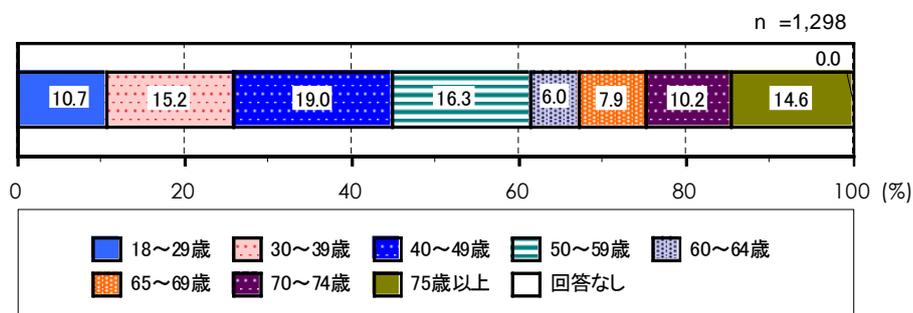
2 年齢（問2）

回答者の年齢は、「70歳以上（70～74歳、75歳以上の合計）」が24.8%と最も多く、次いで「40～49歳」が19.0%、以降、「50～59歳」が16.3%、「30～39歳」が15.2%、「60～69歳（60～64歳、65～69歳の合計）」が13.9%となっています。

表2 回答者の年齢

	件数	%
18～29歳	139	10.7%
30～39歳	197	15.2%
40～49歳	247	19.0%
50～59歳	211	16.3%
60～64歳	78	6.0%
65～69歳	103	7.9%
70～74歳	133	10.2%
75歳以上	190	14.6%
回答なし	0	0.0%
合計	1,298	100.0%

図2 回答者の年齢



※前々回調査カテゴリ…20代、30代、40代、50代、60代、70代

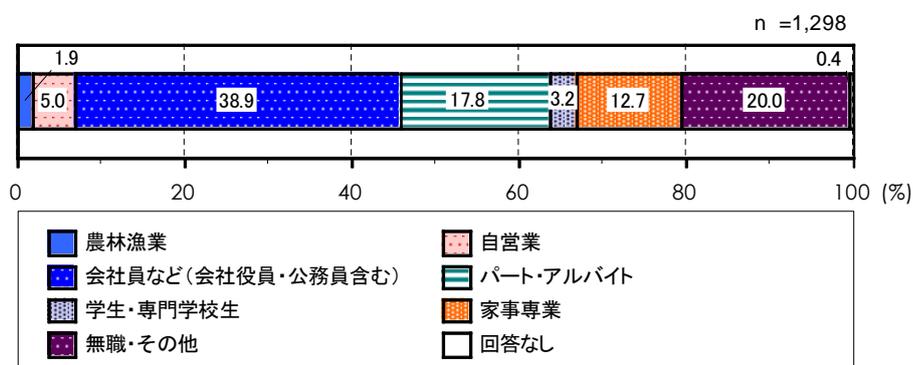
3 職業（問3）

回答者の職業は、「会社員など（会社役員・公務員含む）」が 38.9%と最も多く、次いで「無職・その他」が 20.0%、以降、「パート・アルバイト」が 17.8%、「家事専業」が 12.7%と続いています。

表3 回答者の職業

	件数	%
農林漁業	25	1.9%
自営業	65	5.0%
会社員など(会社役員・公務員含む)	505	38.9%
パート・アルバイト	231	17.8%
学生・専門学校生	42	3.2%
家事専業	165	12.7%
無職・その他	260	20.0%
回答なし	5	0.4%
合計	1,298	100.0%

図3 回答者の職業



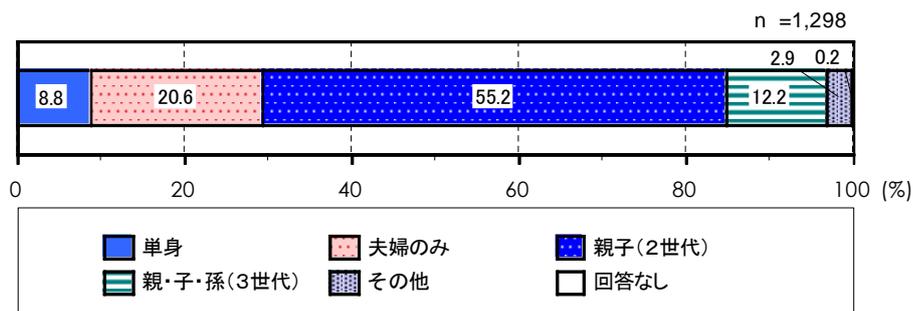
4 家族構成（問4）

回答者の家族構成は、「親子（2世代）」が55.2%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が20.6%、「親・子・孫（3世代）」が12.2%となっています。一方、「単身」は8.8%となっています。

表4 回答者の家族構成

	件数	%
単身	114	8.8%
夫婦のみ	268	20.6%
親子(2世代)	717	55.2%
親・子・孫(3世代)	159	12.2%
その他	37	2.9%
回答なし	3	0.2%
合計	1,298	100.0%

図4 回答者の家族構成



5 同居する家族（問5）

同居する家族は、「65歳以上の方」と同居する人が35.6%と最も多くなっています。

次いで「小学生・中学生」と同居する人は21.4%、「小学校入学前の子」と同居する人は16.3%、「中学校卒業以上18歳未満の子」と同居する人は9.1%となっています。

また、「障害者手帳を所持されている方」と同居する人が9.9%、「介護を要する方」と同居する人は5.5%となっています。

なお、「上記に該当する者はいない」は29.9%です。

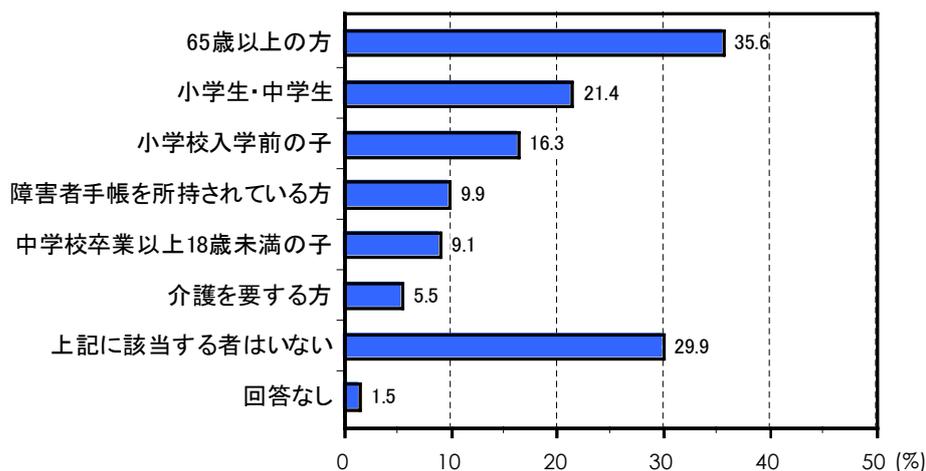
表5 同居する家族（本人を含む） - 複数回答 -

回答者数：1,298人

	件数	%
65歳以上の方	462	35.6%
小学生・中学生	278	21.4%
小学校入学前の子	211	16.3%
障害者手帳を所持されている方	128	9.9%
中学校卒業以上18歳未満の子	118	9.1%
介護を要する方	71	5.5%
上記に該当する者はいない	388	29.9%
回答なし	20	1.5%
合計	1,676	

図5 同居する家族（本人を含む） - 複数回答 -

n = 1,298



6 小学校区（問6）

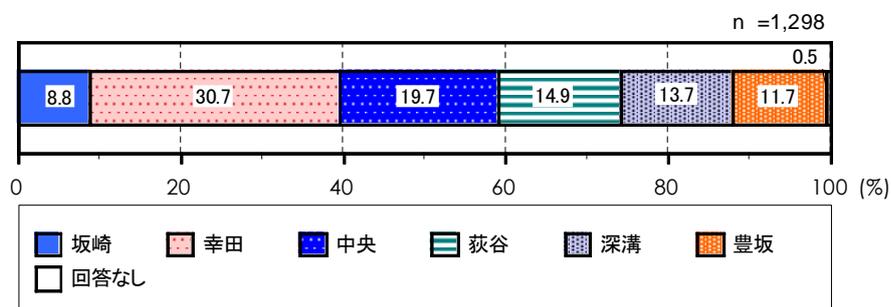
回答者の小学校区では、「幸田」が30.7%と最も多く、次いで「中央」が19.7%、「荻谷」が14.9%、「深溝」が13.7%、「豊坂」が11.7%、「坂崎」が8.8%となっています。

表6 回答者の小学校区

	件数	%	【参考】人口割合
坂崎	114	8.8%	8.7%
幸田	399	30.7%	28.0%
中央	256	19.7%	20.8%
荻谷	193	14.9%	14.4%
深溝	178	13.7%	14.4%
豊坂	152	11.7%	13.6%
回答なし	6	0.5%	—
合計	1,298	100.0%	100.0%

※人口割合とは町人口に対する各小学校区の人口の割合

図6 回答者の小学校区



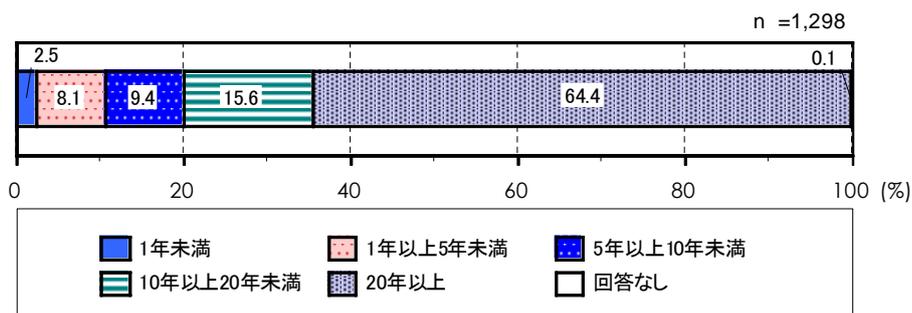
7 居住年数（問7）

回答者の居住年数では、「20年以上」が64.4%で最も多く、次いで「10年以上20年未満」が15.6%、「5年以上10年未満」が9.4%、「1年以上5年未満」が8.1%、「1年未満」が2.5%となっています。

表7 回答者の居住年数

	件数	%
1年未満	32	2.5%
1年以上5年未満	105	8.1%
5年以上10年未満	122	9.4%
10年以上20年未満	202	15.6%
20年以上	836	64.4%
回答なし	1	0.1%
合計	1,298	100.0%

図7 回答者の居住年数



第 3 章 継続調査結果

(問 8 ～ 問 1 4)

1 町政への関心（問8）

町政への関心については、「多少関心がある」が53.1%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が28.4%となっています。

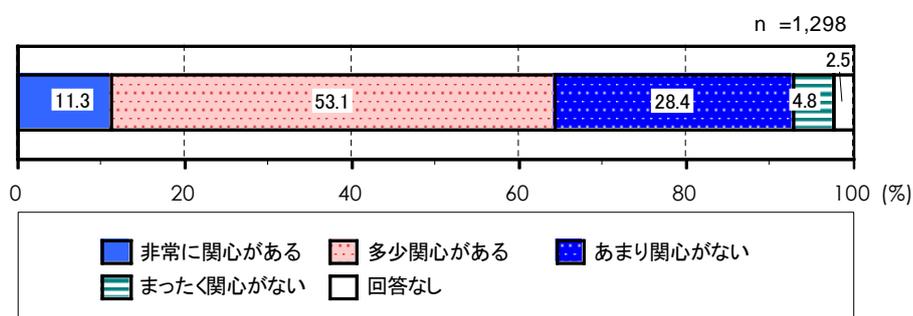
「非常に関心がある」（11.3%）と「多少関心がある」（53.1%）を合わせた“関心がある”とした人の割合は64.4%となっています。

一方、「あまり関心がない」（28.4%）と「まったく関心がない」（4.8%）を合わせた“関心がない”とした人の割合は33.2%となっています。

表8 町政への関心

	件数	%
非常に関心がある	147	11.3%
多少関心がある	689	53.1%
あまり関心がない	368	28.4%
まったく関心がない	62	4.8%
回答なし	32	2.5%
合計	1,298	100.0%

図8 町政への関心

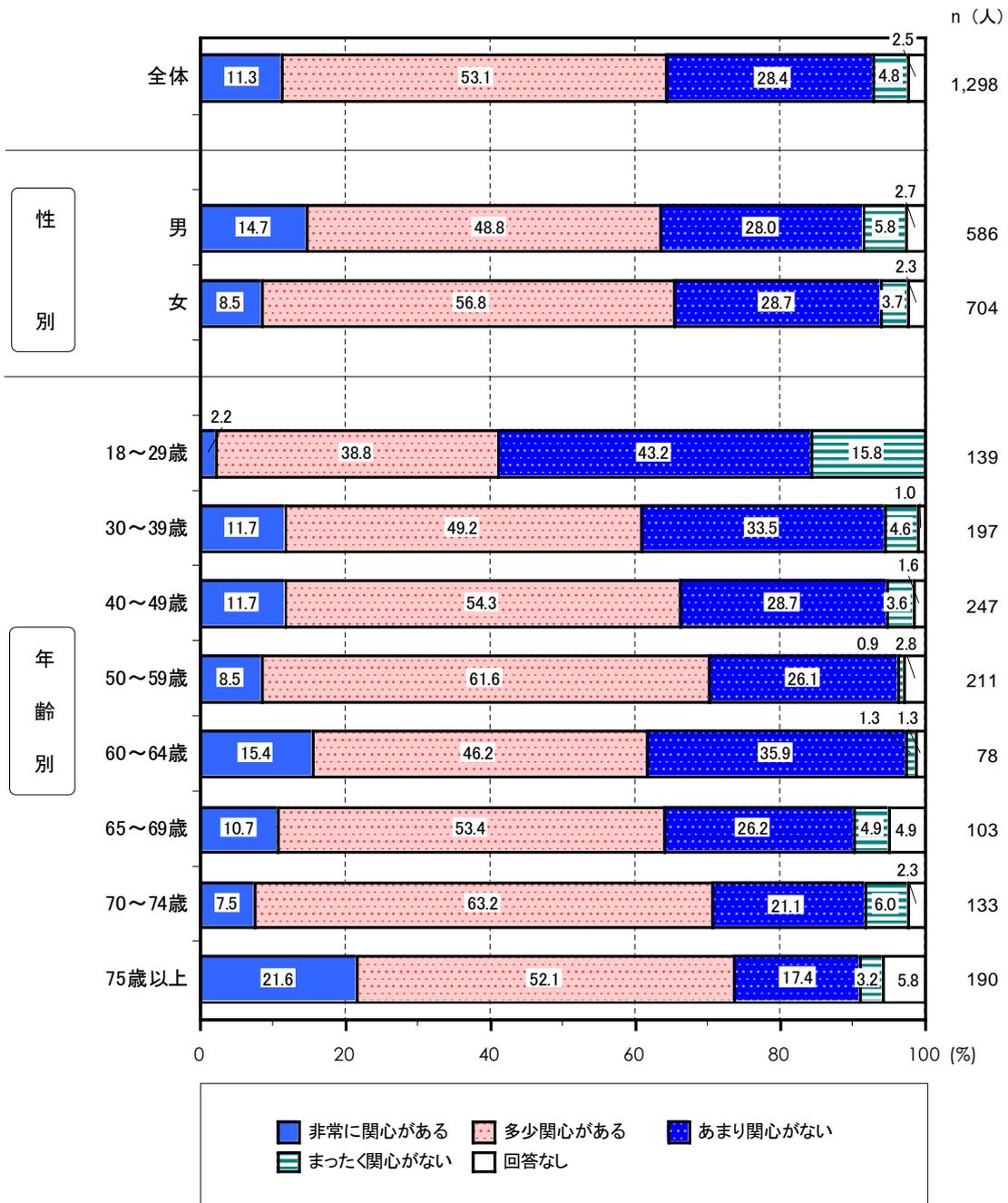


性別で比較すると、「非常に関心がある」は男性が14.7%であるのに対して、女性は8.5%で6.2ポイントの差がみられますが、「多少関心がある」までを含めるとそれほど大きな差はみられません。

年齢別で比較すると、「非常に関心がある」と「多少関心がある」を合わせた“関心がある”とした人の割合は、75歳以上で73.7%、70～74歳で70.7%、50～59歳で70.1%となっており、50歳代と70歳以上で7割以上の高い割合を示しています。なお、18～29歳は41.0%で、他の年代と比べ特に低くなっています。

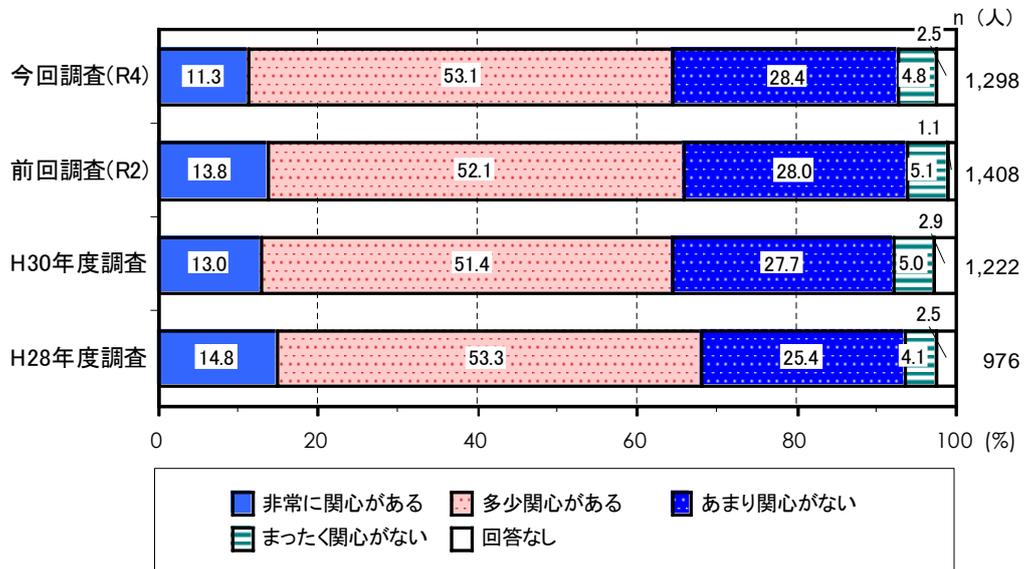
また、「非常に関心がある」とした割合は75歳以上が21.6%と最も多く、次いで60～64歳が15.4%と多くなっています。

図9 町政への関心（性・年齢別）



前回調査と比較すると、「非常に興味がある」が 13.8%から 11.3%と 2.5 ポイント下がっていますが、著しく大きな変化はみられません。

図 10 町政への関心（経年比較）



2 関心がある理由（問8-1）【複数回答：2つまで】

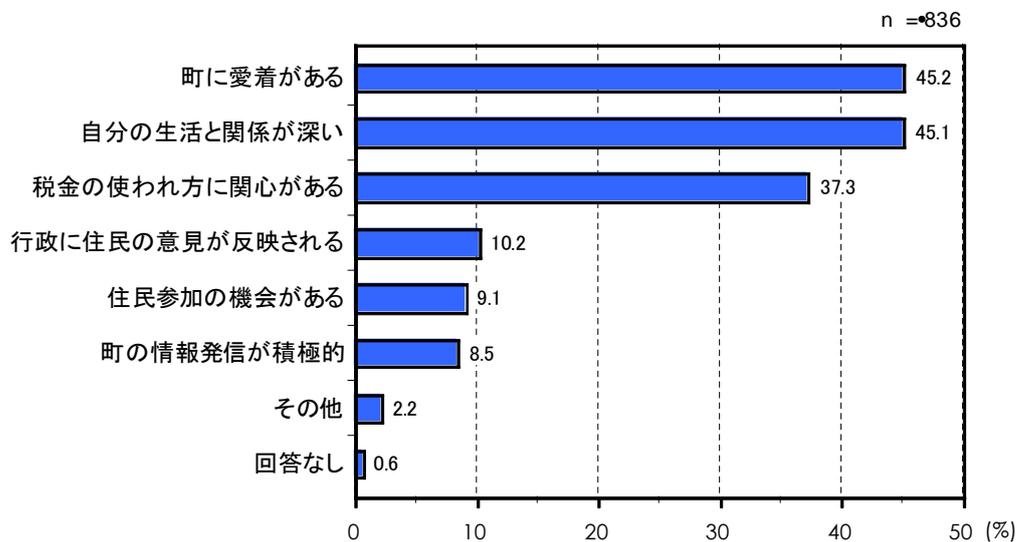
町政への関心について、「非常に関心がある」または「多少関心がある」と回答した836人に対して、関心がある理由を尋ねたところ、「町に愛着がある」が45.2%、「自分の生活と関係が深い」が45.1%で、この両者が特に多く、次いで、「税金の使われ方に関心がある」が37.3%となっています。

表9 関心がある理由 - 複数回答 -

回答者数：836人

	件数	%
町に愛着がある	378	45.2%
自分の生活と関係が深い	377	45.1%
税金の使われ方に関心がある	312	37.3%
行政に住民の意見が反映される	85	10.2%
住民参加の機会がある	76	9.1%
町の情報発信が積極的	71	8.5%
その他	18	2.2%
回答なし	5	0.6%
合計	1,322	

図11 関心がある理由 - 複数回答 -

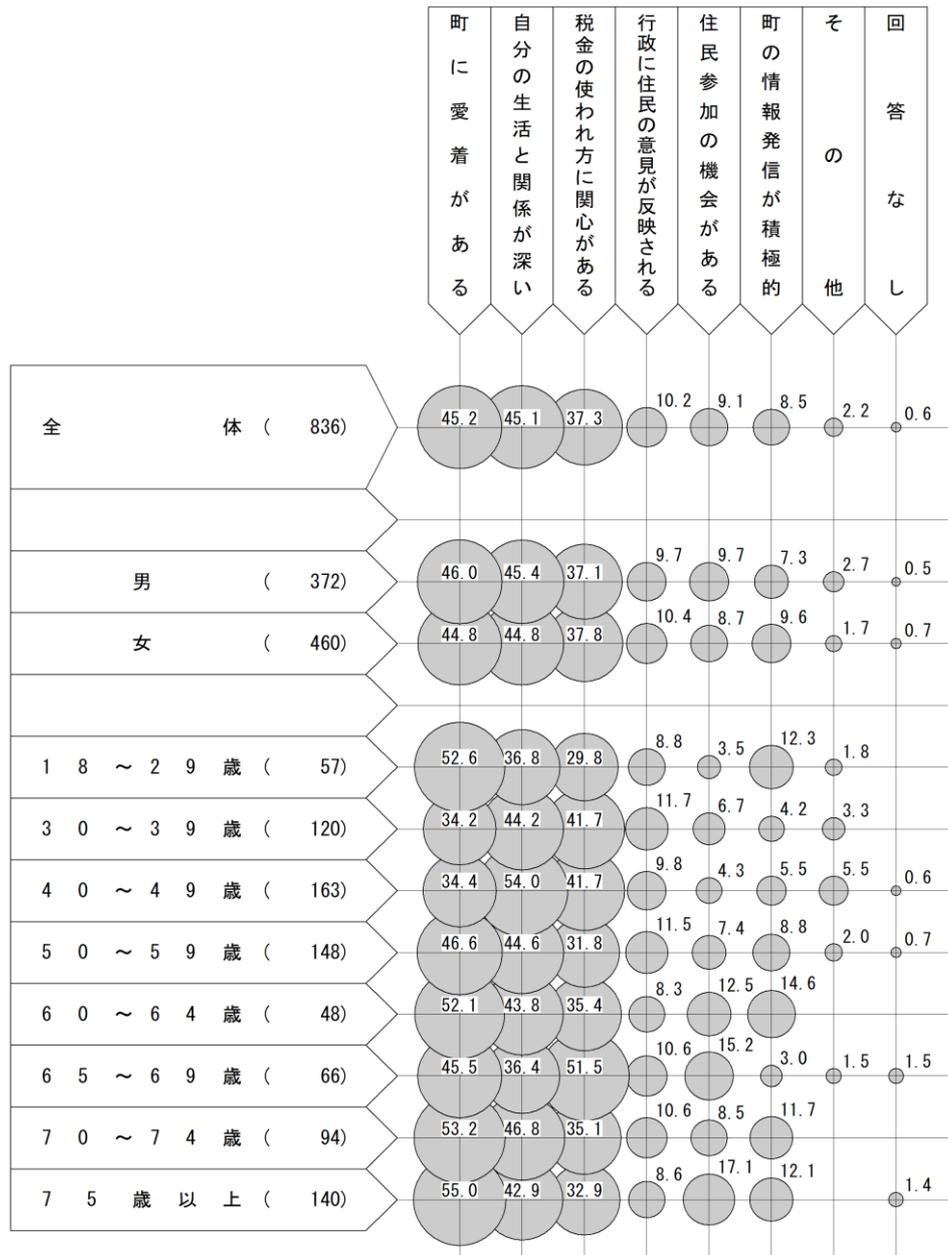


性別で比較したとき、男女の違いによる顕著な差はみられません。

年齢別で比較すると、30～39歳および40～49歳では、「自分の生活と関係が深い」が最も多く、それぞれ44.2%、54.0%となっています。また、65～69歳では「税金の使われ方に関心がある」が51.5%で最も多くなっています。

18～29歳（52.6%）、50～59歳（46.6%）、60～64歳（52.1%）、70～74歳（53.2%）、75歳以上（55.0%）では、「町に愛着がある」が最も多くなっています。

図12 関心がある理由（性・年齢別） - 複数回答 -

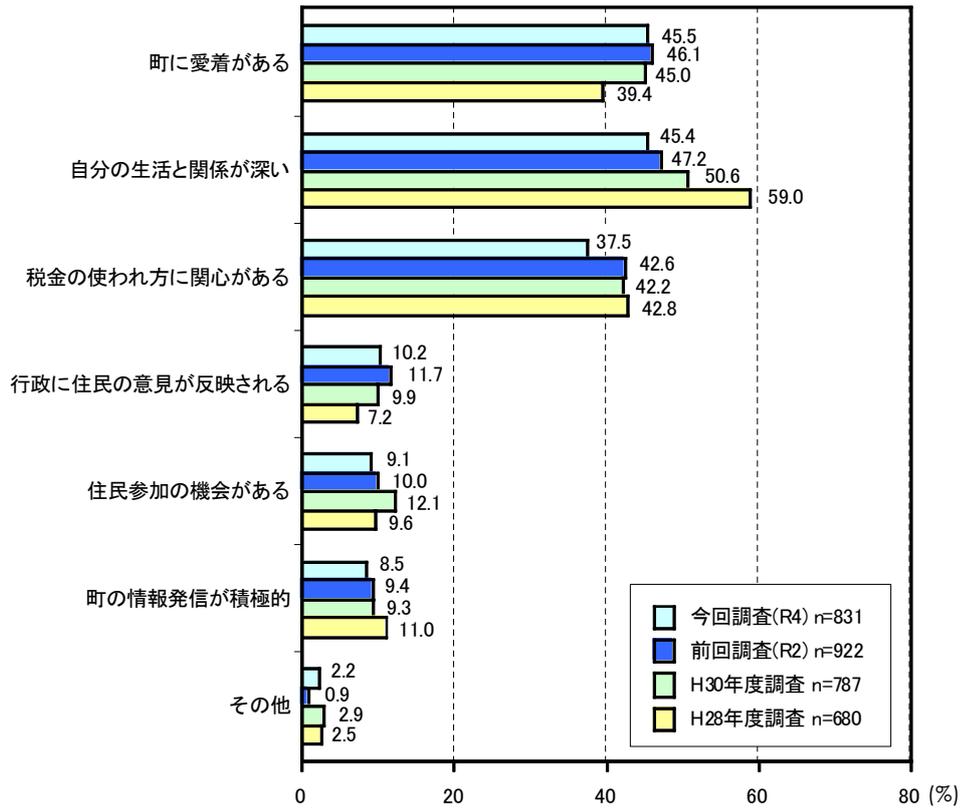


過去の調査と比較すると、「町に愛着がある」は、平成 28 年度調査から順に 39.4%、45.0%、46.1%、45.5%と推移しており、前回・前々回調査とは大きな変化はみられません。

「自分の生活と関係が深い」は、平成 28 年度調査から順に 59.0%、50.6%、47.2%、45.4%となっており、経年的に減少する傾向がみられます。

「税金の使われ方に関心がある」は前回調査までは大きな変化はみられませんでしたでしたが、前回の 42.6%が今回は 37.5%となり、5.1 ポイントの低下となっています。

図 13 関心がある理由（経年比較） - 複数回答 -



※回答なしを除く

3 関心がない理由（問8-2）【複数回答：2つまで】

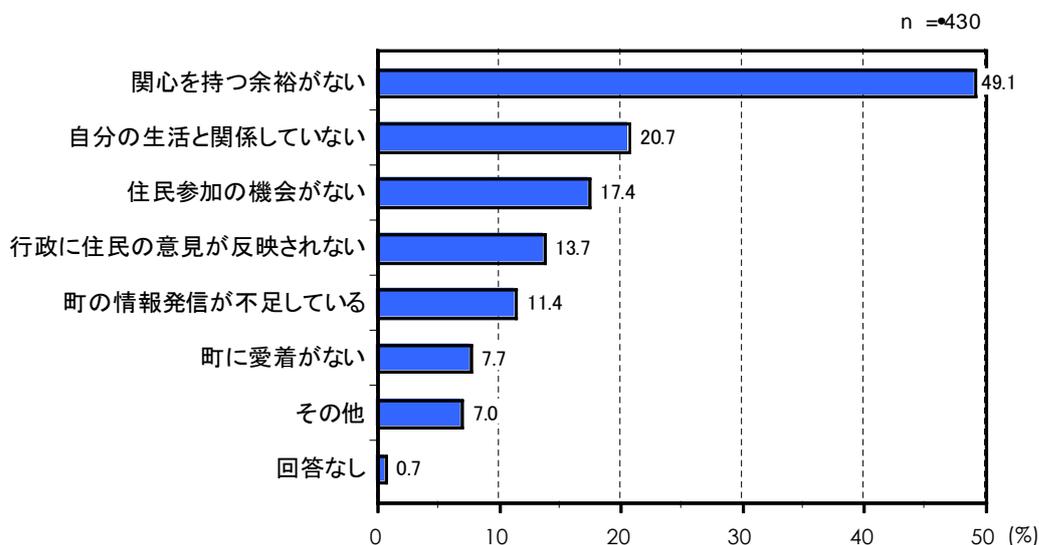
町政への関心について、「あまり関心がない」または「まったく関心がない」と回答した430人に対して、関心がない理由を尋ねたところ、「関心を持つ余裕がない」が49.1%と最も多く、次いで、「自分の生活と関係していない」が20.7%となっています。また、「住民参加の機会がない」（17.4%）や「行政に住民の意見が反映されない」（13.7%）といった意見も一定程度みられました。

表10 関心がない理由 - 複数回答 -

回答者数：430人

	件数	%
関心を持つ余裕がない	211	49.1%
自分の生活と関係していない	89	20.7%
住民参加の機会がない	75	17.4%
行政に住民の意見が反映されない	59	13.7%
町の情報発信が不足している	49	11.4%
町に愛着がない	33	7.7%
その他	30	7.0%
回答なし	3	0.7%
合計	549	

図14 関心がない理由 - 複数回答 -

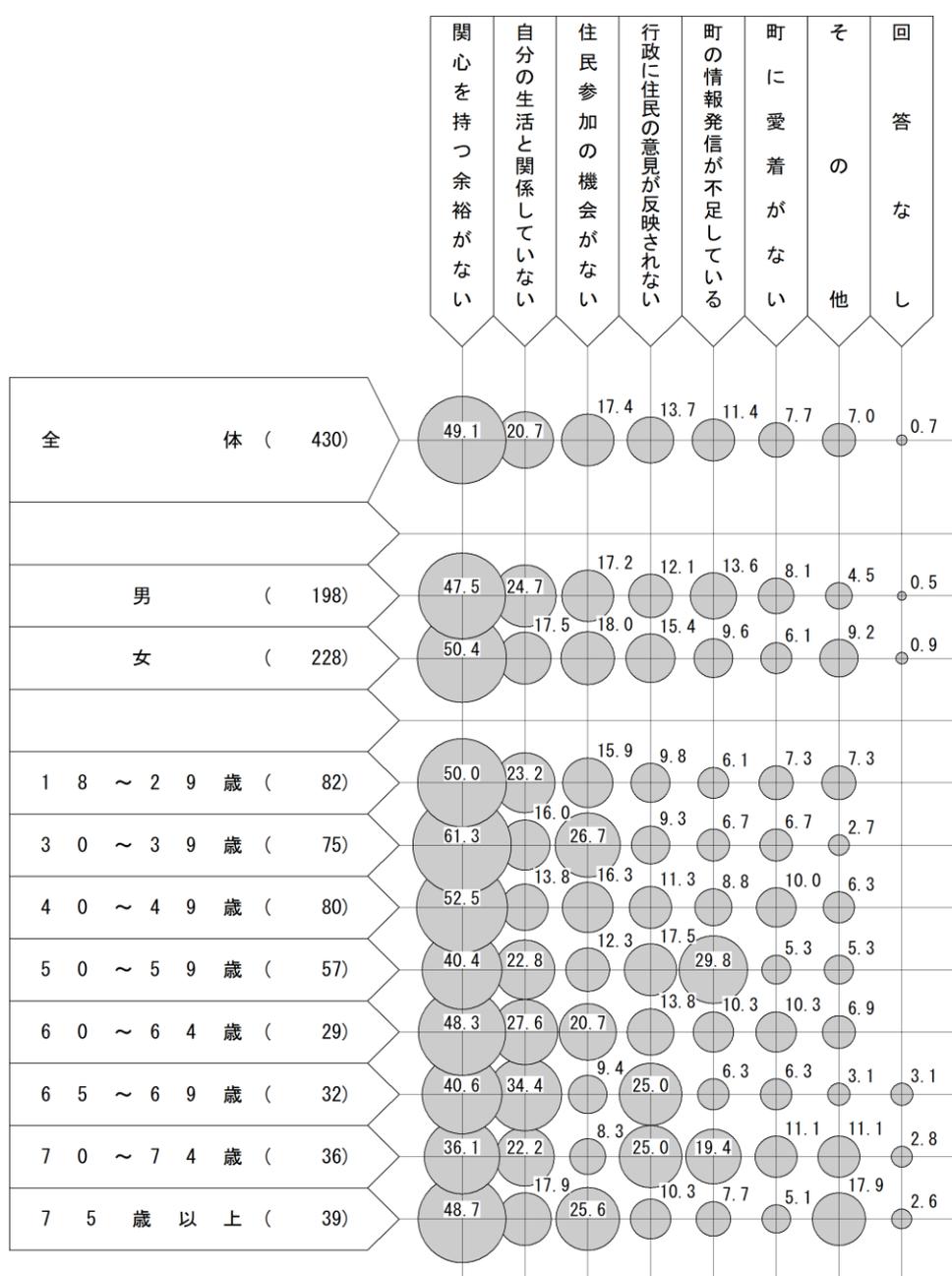


性別で比較すると、「自分の生活と関係していない」が男性で 24.7%なのに対して女性は 17.5%とやや差違がみられます。

年齢別で比較すると、いずれの年代でも「関心を持つ余裕がない」が最も多くなっていますが、特に 30～39 歳では 61.3%で、全体と比較して 12.2 ポイント大きくなっています。また、30～39 歳では、「住民参加の機会がない」が 26.7%で 2 番目に多く、全体と比較して 9.3 ポイント大きいことも特徴です。

50～59 歳では「町の情報発信が不足している」が 29.8%で 2 番目に多く、全体と比較して 18.4 ポイントも多くなっています。また、65～69 歳、70～74 歳では、「行政に住民の意見が反映されない」がともに 25.0%となっており、全体と比較して 11.3 ポイント大きくなっています。

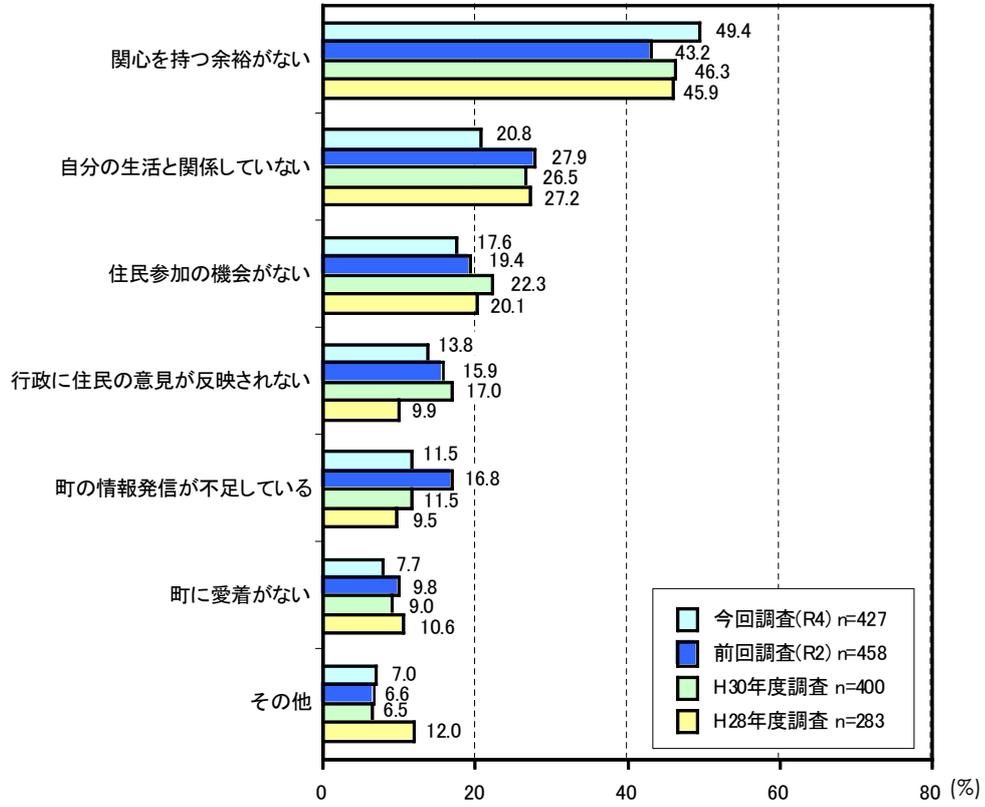
図 15 関心がない理由（性・年齢別） - 複数回答 -



過去の調査と比較すると、「関心を持つ余裕がない」は49.4%で過去の調査の中で最も大きな割合を示しています。前回調査の43.2%を除けば増加傾向にあるとみることができます。

「その他」を除くこの他の理由については、いずれも前回調査を下回っています。

図 16 関心がない理由（経年比較） - 複数回答 -



※回答なしを除く

4 町政の情報源（問9）【複数回答：いくつでも】

町政の情報源は、「広報こうた」が86.4%で最も多く、次いで「回覧板」が49.1%、以降「こうた議会だより」が36.9%、「友人・近所・家族などの口コミ」が23.0%となっています。

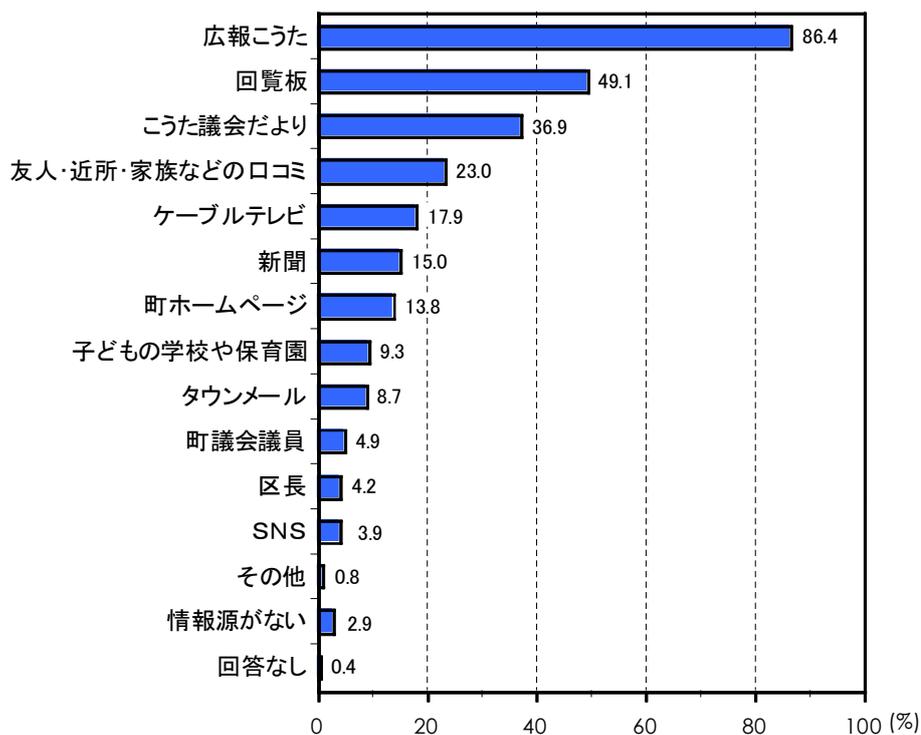
表 11 町政の情報源 - 複数回答 -

回答者数：1,298人

	件数	%
広報こうた	1,122	86.4
回覧板	637	49.1
こうた議会だより	479	36.9
友人・近所・家族などの口コミ	299	23.0
ケーブルテレビ	232	17.9
新聞	195	15.0
町ホームページ	179	13.8
子どもの学校や保育園	121	9.3
タウンメール	113	8.7
町議会議員	63	4.9
区長	54	4.2
SNS	51	3.9
その他	10	0.8
情報源がない	37	2.9
回答なし	5	0.4
合計	3,597	

図 17 町政の情報源 - 複数回答 -

n = 1,298



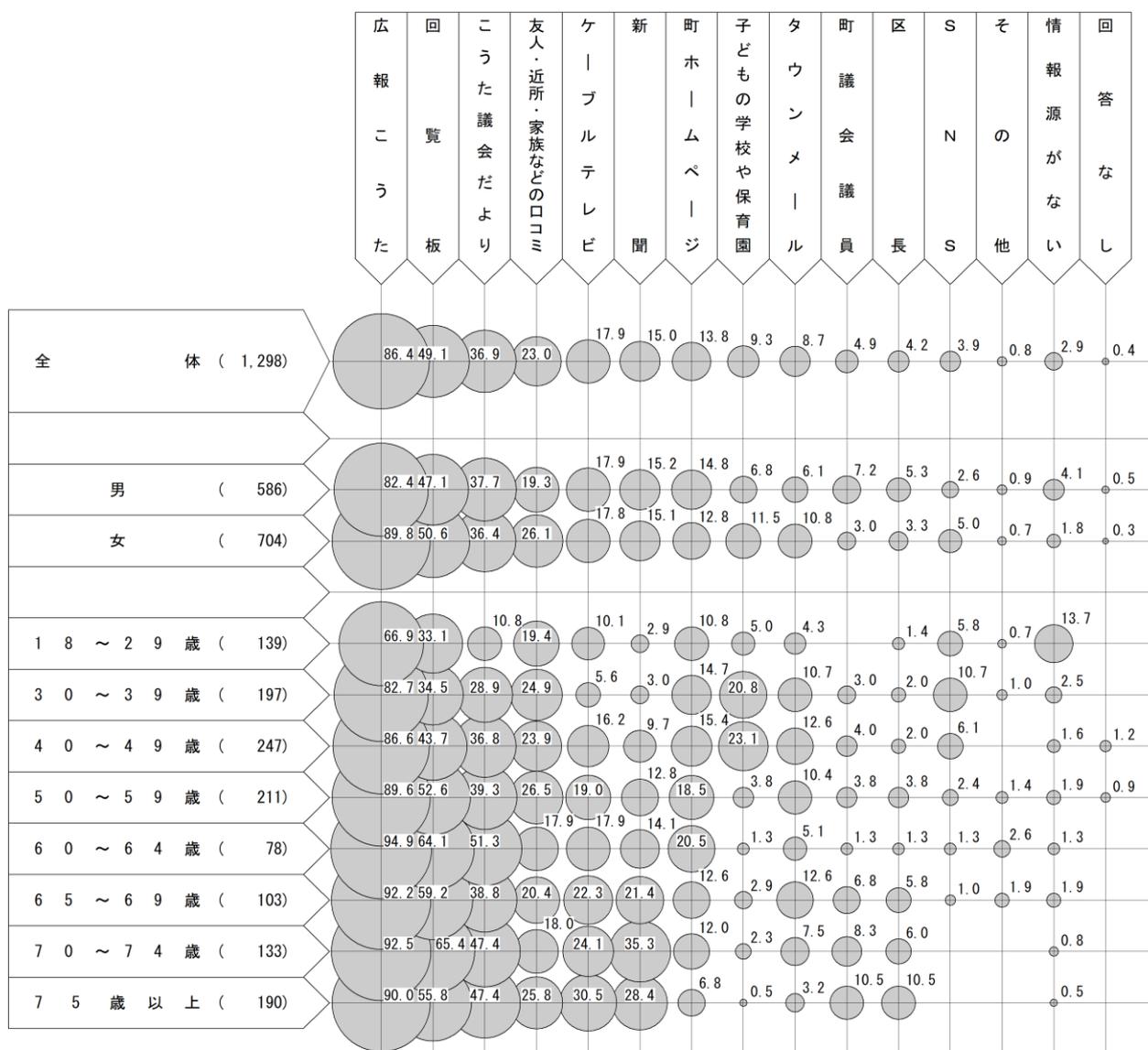
性別で比較すると、「広報こうた」（女性：89.8%、男性：82.4%）、「友人・近所・家族などの口コミ」（女性：26.1%、男性：19.3%）では、女性の方が5ポイント以上大きくなっており、やや差違がみられます。

年齢別で比較すると、「広報こうた」、「回覧板」、「こうた議会だより」、「ケーブルテレビ」、「新聞」は、概して年齢が高くなるほど大きくなっていきます。

その他では、30～39歳、40～49歳では、「子どもの学校や保育園」がそれぞれ20.8%、23.1%で大きくなっていきます。また、50～59歳、60～64歳では、「町ホームページ」がそれぞれ18.5%、20.5%で相対的に大きくなっていきます。

75歳以上では、「町議会議員」、「区長」がともに10.5%となっており、それぞれ全体と比べてやや大きくなっていきます。

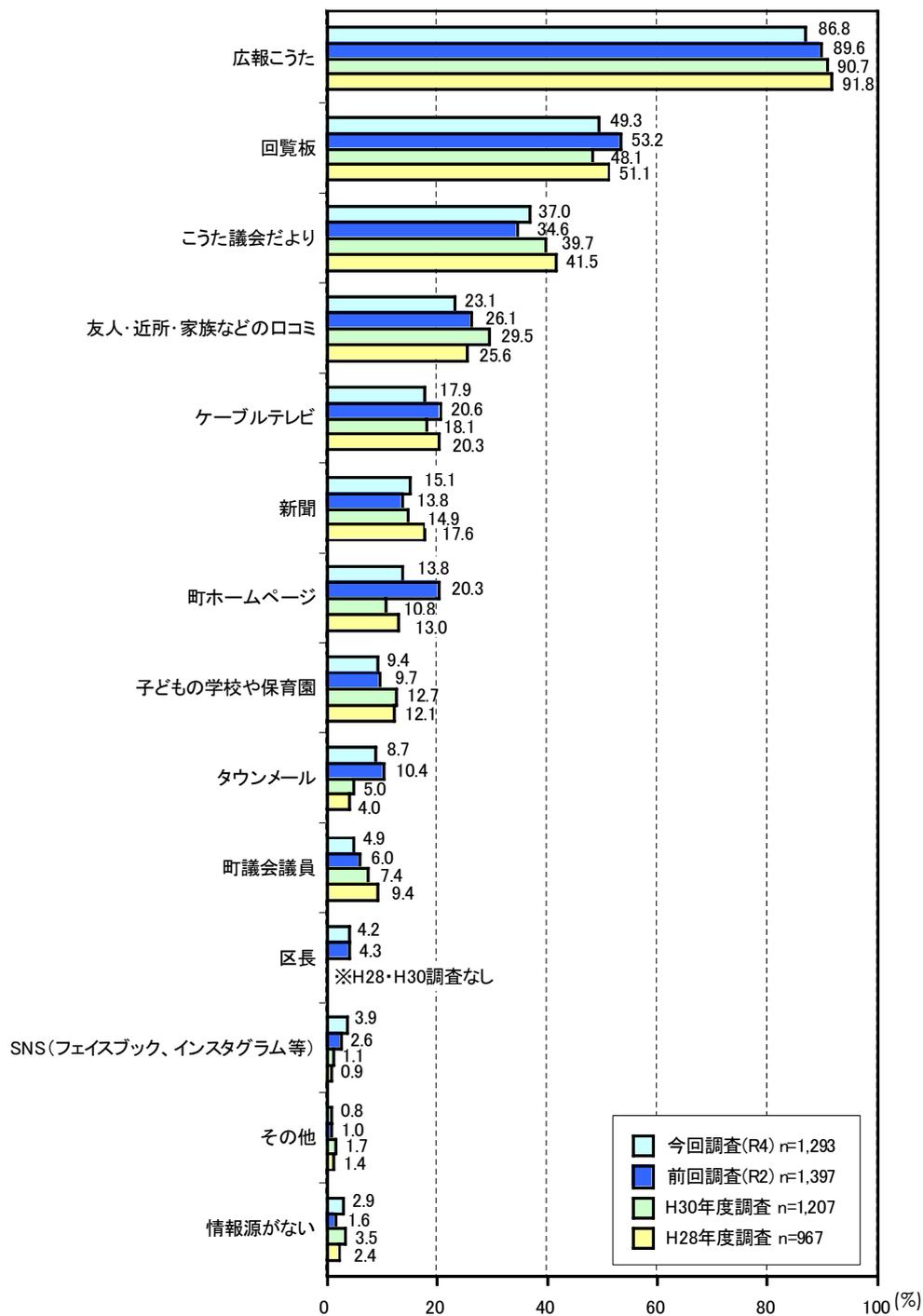
図18 町政の情報源（性・年齢別） - 複数回答 -



過去の調査と比較したとき、町政の情報源として「広報こうた」が一貫して最も多くなっていますが、その割合は徐々に減少傾向をみせています。

前回調査と比較して減少幅が大きいものをみると、「町ホームページ」が6.5ポイント減少（前回：20.3%⇒今回：13.8%）、「回覧板」が3.9ポイント減少（前回：53.2%⇒今回：49.3%）、「友人・近所・家族などの口コミ」が3.0ポイント減少（前回：26.1%⇒今回：23.1%）となっています。大きく数値を伸ばしているものはみられません。

図 19 町政の情報源（経年比較） - 複数回答 -



※回答なしを除く

5 総合計画各施策の満足度・重要度（問10）

総合計画の施策である41項目の取組について、それぞれ満足度と重要度を5段階で尋ねました。「満足している」「重要である」を2ポイント、「やや満足している」「やや重要である」を1ポイント、「どちらともいえない」を0ポイント、「やや不満である」「あまり重要でない」を-1ポイント、「不満である」「重要でない」を-2ポイントとして合計ポイントを算出しました。

図23「総合計画各施策の満足度・重要度」によって、施策ごとの相対的位置づけがわかります。満足度、重要度の高低により4つの領域に分けると、図20「グラフの見方」のような対応が求められます。ただし、回答するに当たり判断材料が不十分なため、この結果のみで今後の方向性を決定するのではなく、将来性や緊急性を考慮して判断する必要があります。

また、「重要度」－「満足度」でギャップ値を算出しました。グラフ（図23）上の平均値の補助線から左上にある項目は、ギャップ値が大きく、住民ニーズに答えられていない分野と考えられます。

図20 グラフの見方

高い↑ 重要度 低い	A （重点課題領域） ■ニーズ対応策の検討 重要度：高い、 満足度：低い	B （維持領域） ■低コスト化、満足度維持 重要度：高い、 満足度：高い	
	C （見直し領域） ■関心度の引き上げ、廃止検討 重要度：低い、 満足度：低い	D （縮小領域） ■規模縮小 重要度：低い、 満足度：高い	
	低い	満足度	→高い

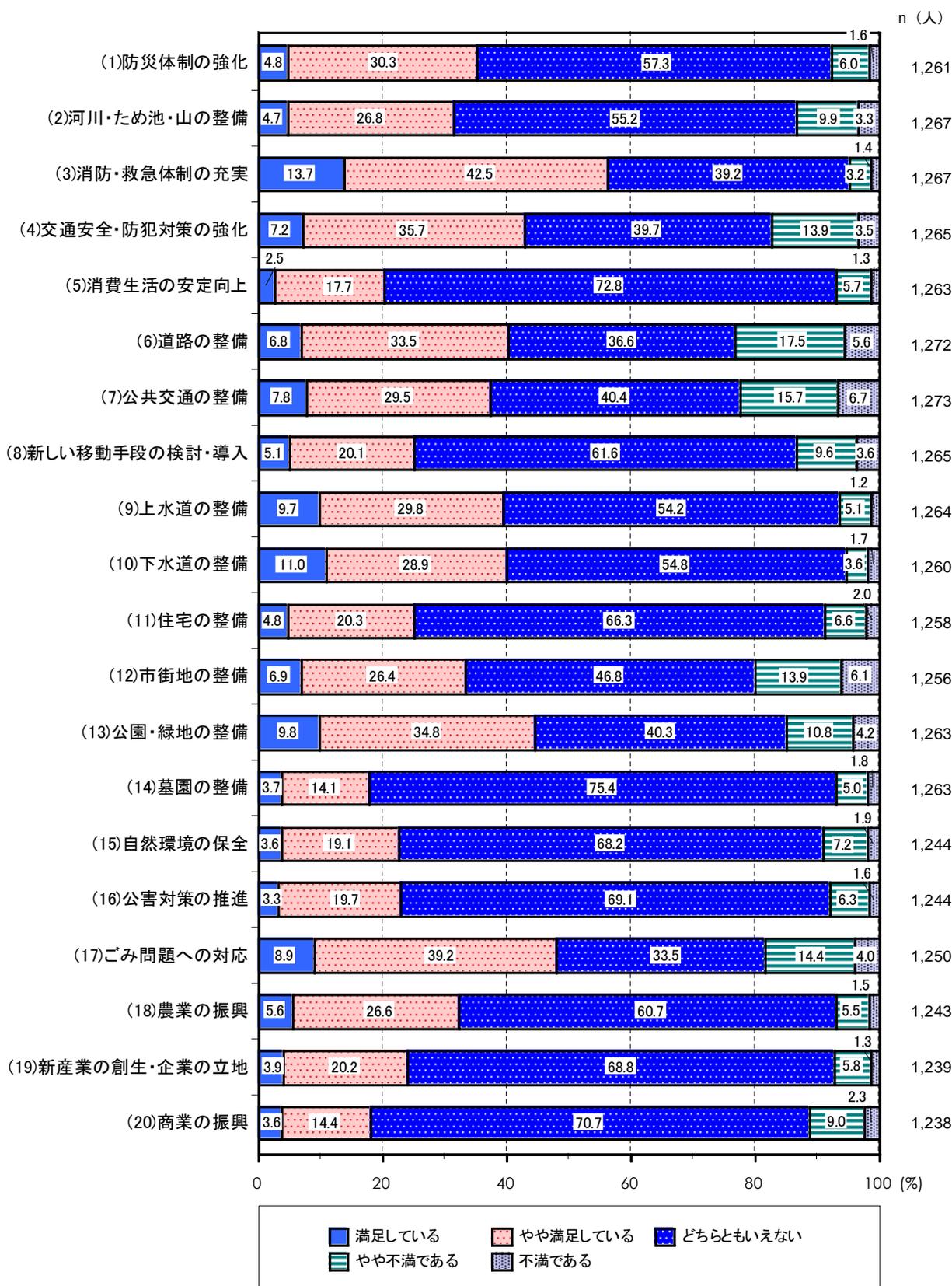
各施策における満足度、重要度、ギャップ値について、評点及び順位を一覧にしました。各々の上位5項目を太字（網掛け）で、下位5項目を白太字（背景黒）で表示しています。

表 12 総合計画各施策の満足度・重要度・ギャップ値

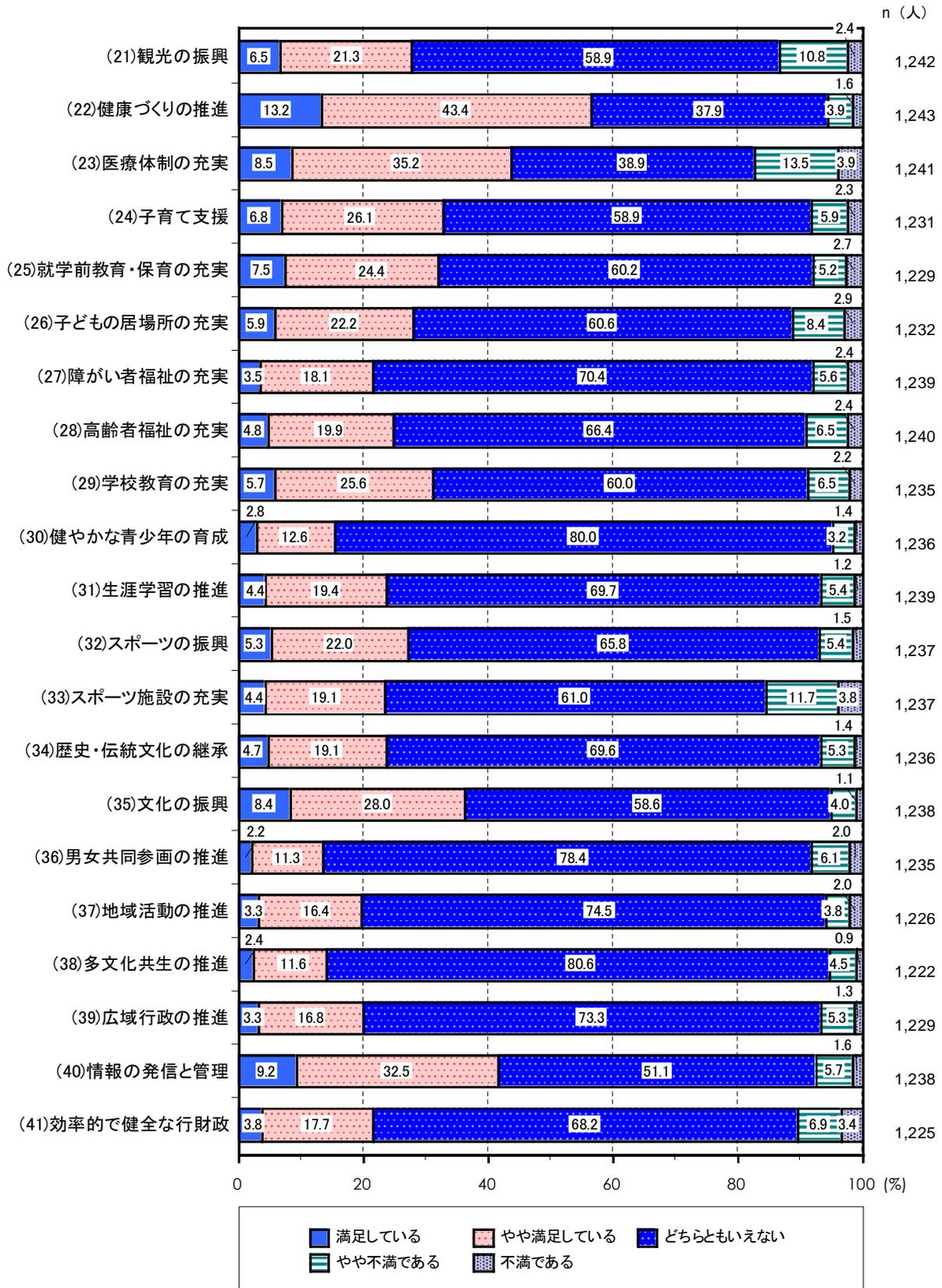
施策	満足度		重要度		ギャップ値	
	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント	順位
(1)防災体制の強化	0.31	9	1.26	4	0.95	3
(2)河川・ため池・山の整備	0.20	17	1.05	11	0.85	8
(3)消防・救急体制の充実	0.64	1	1.27	3	0.63	19
(4)交通安全・防犯対策の強化	0.29	11	1.36	1	1.07	1
(5)消費生活の安定向上	0.14	32	0.76	25	0.62	21
(6)道路の整備	0.18	24	1.07	7	0.89	4
(7)公共交通の整備	0.16	27	0.90	17	0.74	12
(8)新しい移動手段の検討・導入	0.14	32	0.82	23	0.68	16
(9)上水道の整備	0.42	4	1.08	6	0.66	17
(10)下水道の整備	0.44	3	1.06	8	0.62	20
(11)住宅の整備	0.19	22	0.76	25	0.57	25
(12)市街地の整備	0.14	32	0.85	20	0.71	15
(13)公園・緑地の整備	0.35	7	0.87	19	0.52	26
(14)墓園の整備	0.13	35	0.32	41	0.19	41
(15)自然環境の保全	0.15	28	0.75	27	0.60	22
(16)公害対策の推進	0.17	26	0.83	22	0.66	18
(17)ごみ問題への対応	0.35	7	1.21	5	0.86	7
(18)農業の振興	0.29	11	0.77	24	0.48	28
(19)新産業の創生・企業の立地	0.20	17	0.68	28	0.48	28
(20)商業の振興	0.08	39	0.67	29	0.59	23
(21)観光の振興	0.19	22	0.67	29	0.48	28
(22)健康づくりの推進	0.63	2	1.04	13	0.41	34
(23)医療体制の充実	0.31	9	1.33	2	1.02	2
(24)子育て支援	0.29	11	1.05	11	0.76	11
(25)就学前教育・保育の充実	0.29	11	1.03	14	0.74	12
(26)子どもの居場所の充実	0.20	17	1.06	8	0.86	6
(27)障がい者福祉の充実	0.15	28	0.97	16	0.82	9
(28)高齢者福祉の充実	0.18	24	1.06	8	0.88	5
(29)学校教育の充実	0.26	15	1.03	14	0.77	10
(30)健やかな青少年の育成	0.12	36	0.58	35	0.46	32
(31)生涯学習の推進	0.20	17	0.59	33	0.39	35
(32)スポーツの振興	0.24	16	0.47	39	0.23	39
(33)スポーツ施設の充実	0.08	39	0.66	31	0.58	24
(34)歴史・伝統文化の継承	0.20	17	0.51	37	0.31	38
(35)文化の振興	0.39	6	0.59	33	0.20	40
(36)男女共同参画の推進	0.06	41	0.57	36	0.51	27
(37)地域活動の推進	0.15	28	0.48	38	0.33	37
(38)多文化共生の推進	0.10	38	0.44	40	0.34	36
(39)広域行政の推進	0.15	28	0.61	32	0.46	32
(40)情報の発信と管理	0.42	4	0.88	18	0.46	31
(41)効率的で健全な行財政	0.12	36	0.84	21	0.72	14
平均値	0.24		0.85		0.61	

満足度のポイントが高い施策は、「(3) 消防・救急体制の充実」、「(22) 健康づくりの推進」、「(10) 下水道の整備」、「(9) 上水道の整備」、「(40) 情報の発信と管理」となっています。

図 21 総合計画各施策の満足度



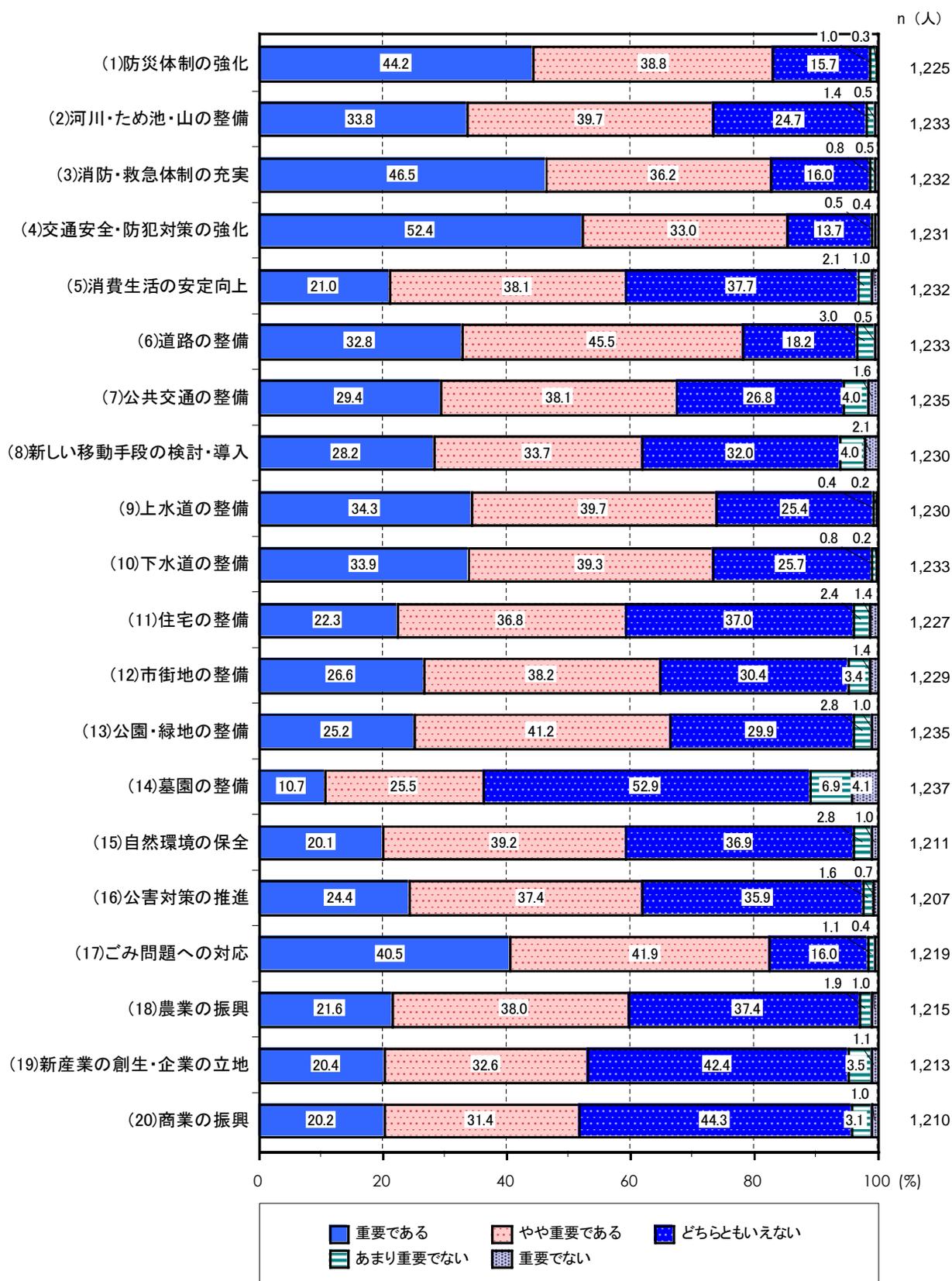
※回答なしを除く



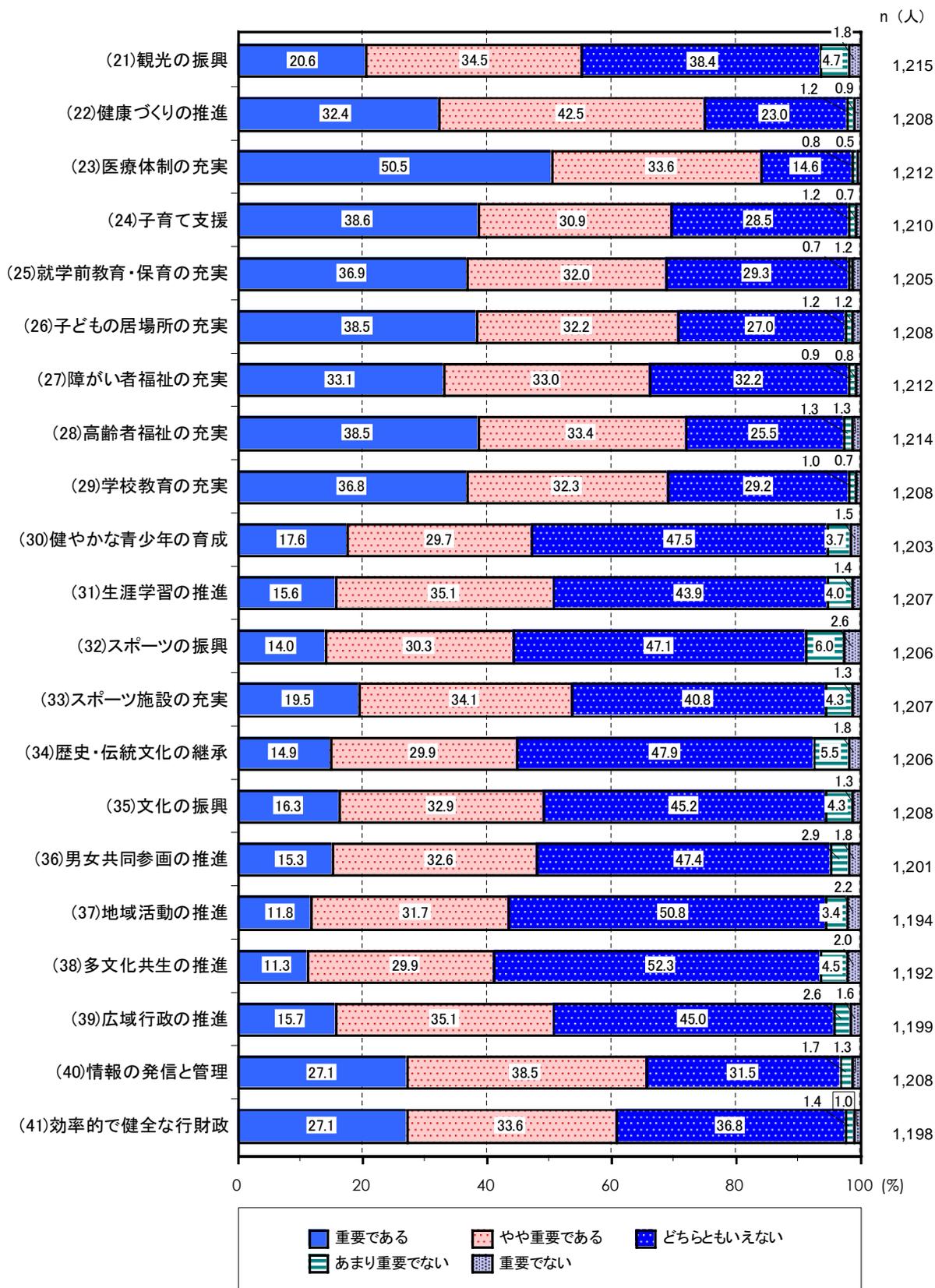
※回答なしを除く

重要度のポイントが高い施策は、「(4)交通安全・防犯対策の強化」、「(23)医療体制の充実」、「(3)消防・救急体制の充実」、「(1)防災体制の強化」、「(17)ごみ問題への対応」となっています。

図 22 総合計画各施策の重要度



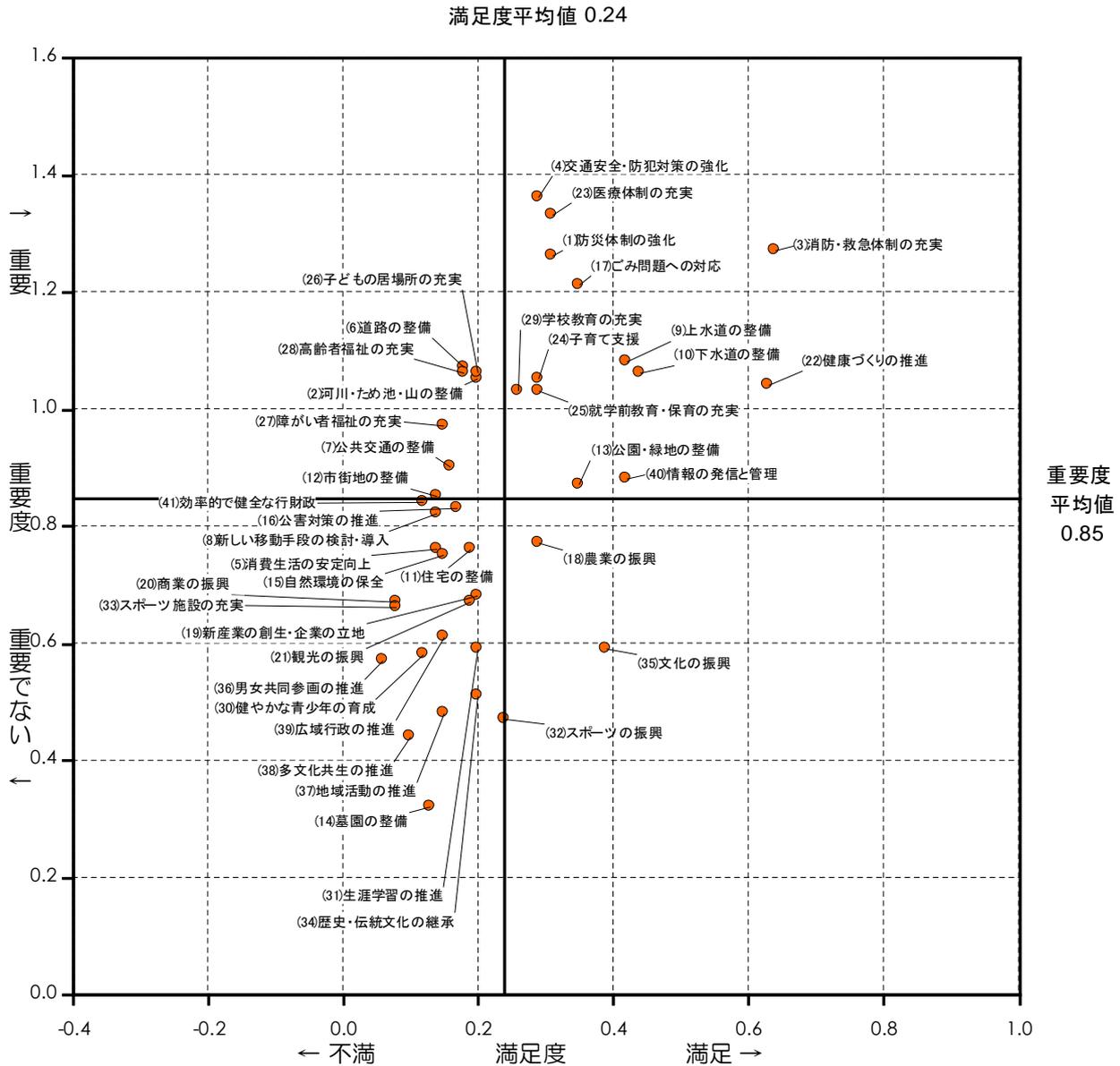
※回答なしを除く



※回答なしを除く

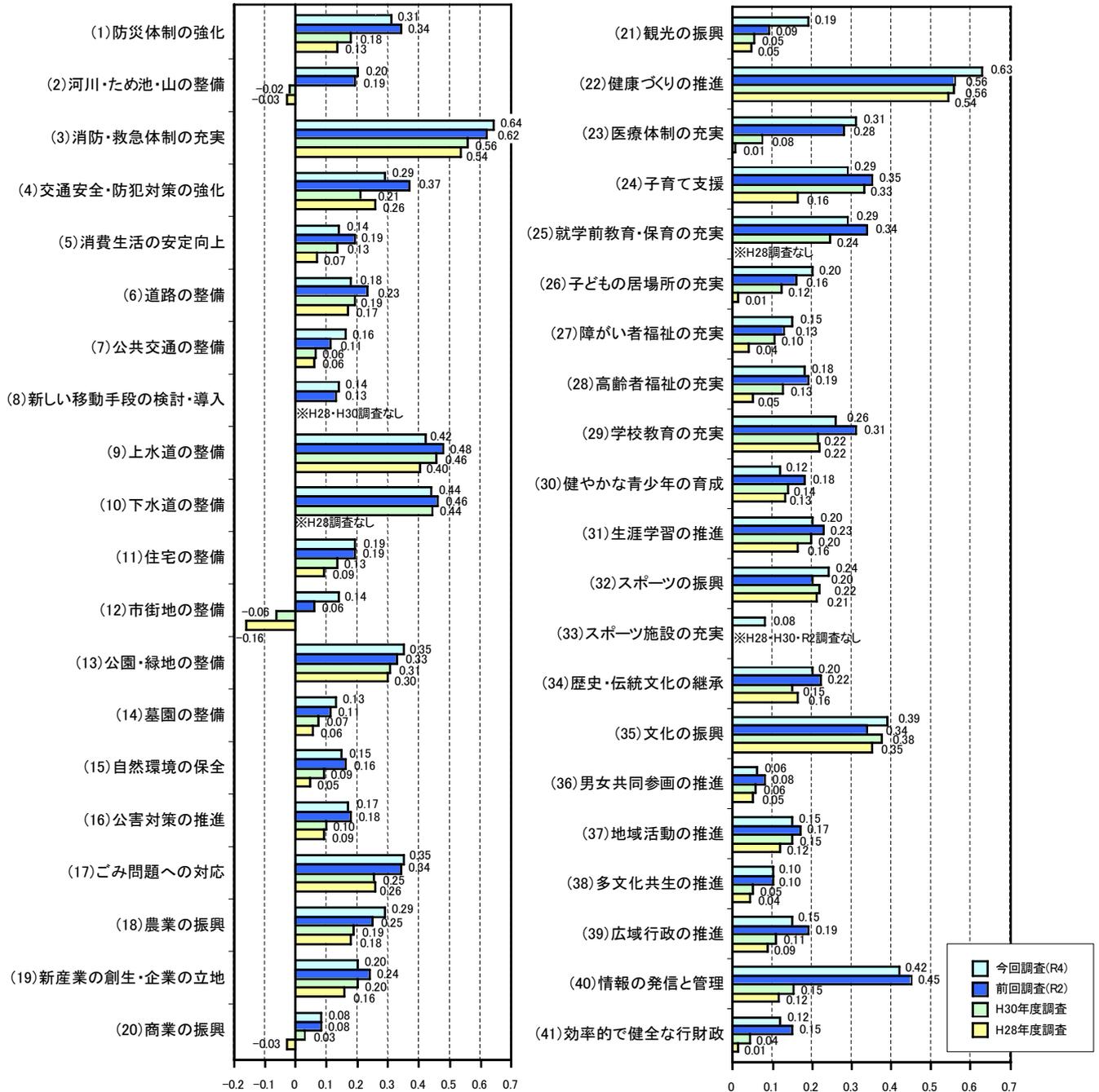
総合計画の各施策における満足度と重要度をポイント化し、それぞれを座標に表現しました。満足度と重要度の平均値（座標上の直線）で区切られた4つのゾーン（領域）のうち、左上の項目が、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い施策であり、今後より一層の注力が求められます。具体的には、「(6)道路の整備」、「(26)子どもの居場所の充実」、「(28)高齢者福祉の充実」、「(2)河川・ため池・山の整備」、「(27)障がい者福祉の充実」、「(7)公共交通の整備」、「(12)市街地の整備」などがあがっています。

図 23 総合計画施策の満足度・重要度



過去の調査から満足度のポイントを経年的に比較したとき、平成 28 年度調査から令和 4 年度調査の間に 0.3 ポイント以上増加したのは、「(23)医療体制の充実」(平成 28 年度：0.01%⇒今回：0.31%)と「(40)情報の発信と管理」(平成 28 年度：0.12%⇒今回：0.42%)の 2 つの施策となります。

図 24 満足度（経年比較）



平成 28 年度調査（調査なし）

(8) 新しい移動手段の検討・導入

(10) 下水道の整備

※上下水道の整備として調査

(25) 就学前教育・保育の充実

(33) スポーツ施設の充実

平成 30 年度調査（調査なし）

(8) 新しい移動手段の検討・導入

(33) スポーツ施設の充実

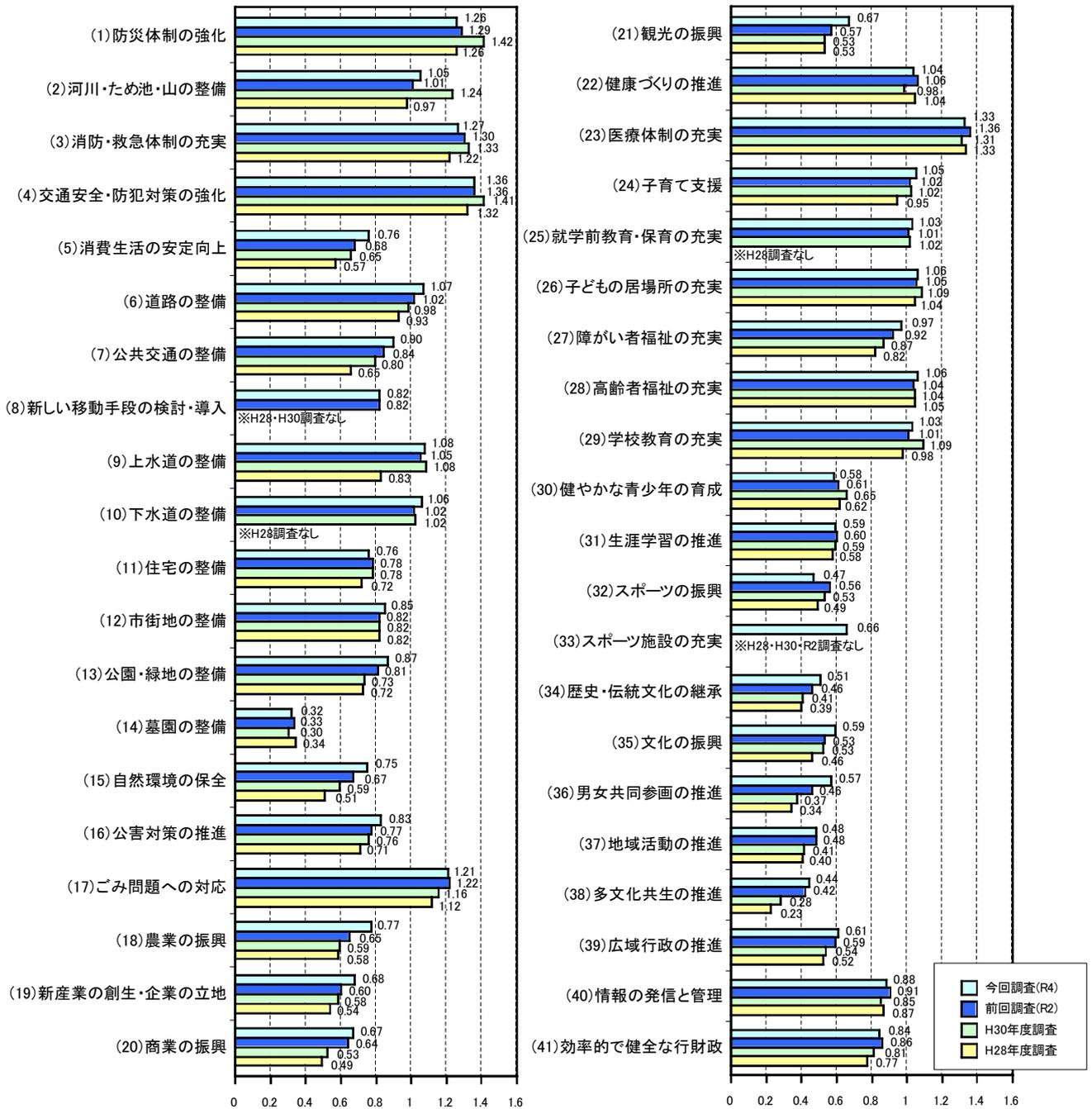
令和 2 年度調査（調査なし）

(33) スポーツ施設の充実

※回答なしを除く

過去の調査から重要度のポイントを経年的に比較したとき、平成 28 年度調査から令和 4 年度調査の間に 0.2 ポイント以上増加したのは、「(7)公共交通の整備」、「(15)自然環境の保全」、「(36)男女共同参画の推進」、「(38)多文化共生の推進」の 4 つの施策となっています。

図 25 重要度 経年比較（回答なし除く）



平成 28 年度調査（調査なし）

- (8) 新しい移動手段の検討・導入
- (10) 下水道の整備

※上下水道の整備として調査

- (25) 就学前教育・保育の充実
- (33) スポーツ施設の充実

※平成 28 年度調査の「(9)上水道の整備」は、「(9)上下水道の整備」

平成 30 年度調査（調査なし）

- (8) 新しい移動手段の検討・導入
- (33) スポーツ施設の充実

令和 2 年度調査（調査なし）

- (33) スポーツ施設の充実

※回答なしを除く

6 総合計画各施策の優先度（問11）【複数回答：3つまで】

総合計画の施策である 41 項目の施策のうち、特に力を入れてほしいものを尋ねたところ、「(24)子育て支援」が 17.0%で最も多く、次いで「(23)医療体制の充実」が 13.5%、「(28)高齢者福祉の充実」が 13.1%となっています。

表 13 総合計画各施策の優先度 - 複数回答 -

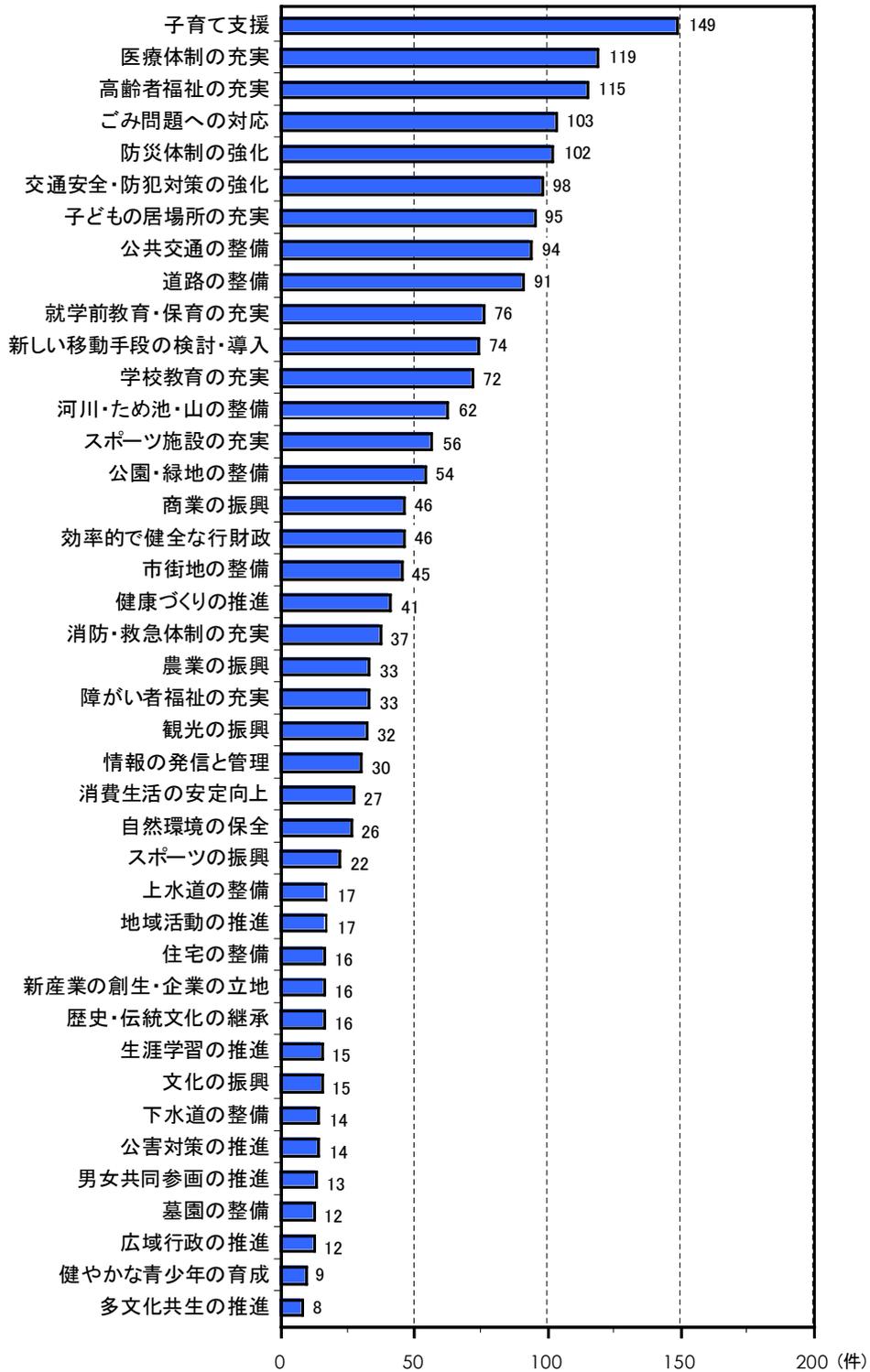
回答者数：879 人

	件数	%
子育て支援	149	17.0
医療体制の充実	119	13.5
高齢者福祉の充実	115	13.1
ごみ問題への対応	103	11.7
防災体制の強化	102	11.6
交通安全・防犯対策の強化	98	11.1
子どもの居場所の充実	95	10.8
公共交通の整備	94	10.7
道路の整備	91	10.4
就学前教育・保育の充実	76	8.6
新しい移動手段の検討・導入	74	8.4
学校教育の充実	72	8.2
河川・ため池・山の整備	62	7.1
スポーツ施設の充実	56	6.4
公園・緑地の整備	54	6.1
商業の振興	46	5.2
効率的で健全な行財政	46	5.2
市街地の整備	45	5.1
健康づくりの推進	41	4.7
消防・救急体制の充実	37	4.2
農業の振興	33	3.8
障がい者福祉の充実	33	3.8
観光の振興	32	3.6
情報の発信と管理	30	3.4
消費生活の安定向上	27	3.1
自然環境の保全	26	3.0
スポーツの振興	22	2.5
上水道の整備	17	1.9
地域活動の推進	17	1.9
住宅の整備	16	1.8
新産業の創生・企業の立地	16	1.8
歴史・伝統文化の継承	16	1.8
生涯学習の推進	15	1.7
文化の振興	15	1.7
下水道の整備	14	1.6
公害対策の推進	14	1.6
男女共同参画の推進	13	1.5
墓園の整備	12	1.4
広域行政の推進	12	1.4
健やかな青少年の育成	9	1.0
多文化共生の推進	8	0.9

※回答なしを除く

図 26 総合計画各施策の優先度 - 複数回答 -

n =879*

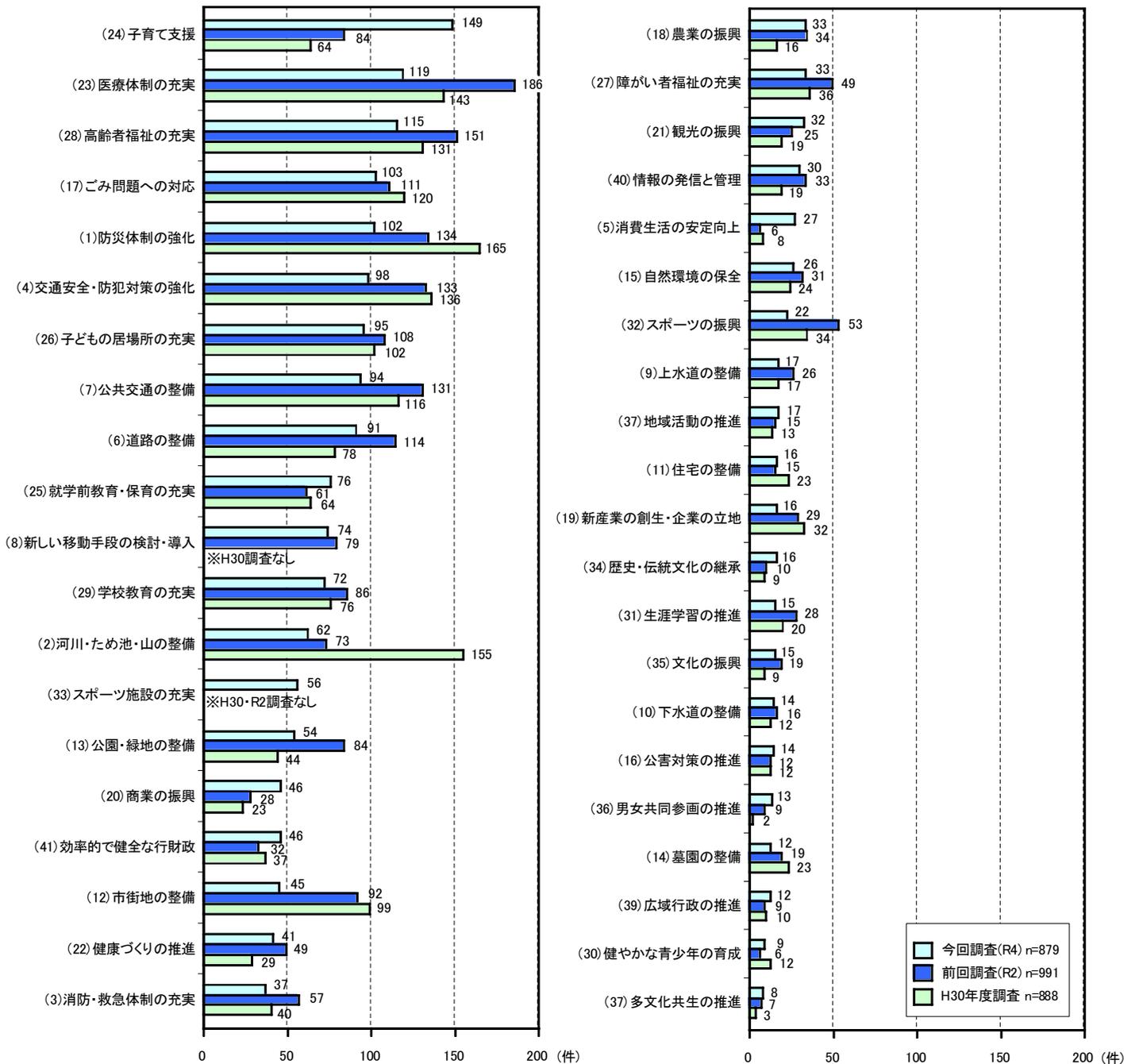


※回答なしを除く

過去の調査から優先度を経年的にみると、平成30年度調査から令和4年度調査の間に大きく優先度を増加させたのは、「(24)子育て支援」(平成30年度：64件⇒今回：149件)で85件もの増加を示しています。

一方、大きく減少しているのは、「(2)河川・ため池・山の整備」(平成30年度：155件⇒今回：62件)で93件減少しています。このほか、「(1)防災体制の強化」が63件の減少、「(12)市街地の整備」が54件の減少となっています。

図27 総合計画各施策の優先度（経年比較）



平成30年度調査（調査なし）

(8) 新しい移動手段の検討・導入

(33) スポーツ施設の充実

令和2年度調査（調査なし）

(33) スポーツ施設の充実

※回答なしを除く

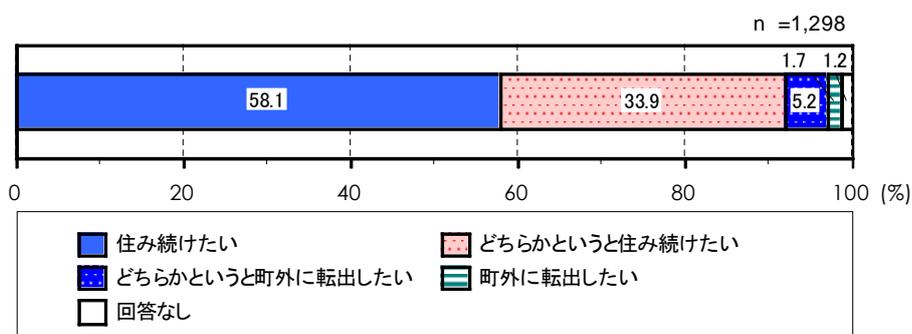
7 幸田町に住み続けたいか（問 12）

幸田町への定住の意向について、「住み続けたい」が 58.1%と最も多く、「どちらかというに住み続けたい」の 33.9%と合わせると 92.0%の人が幸田町での定住を希望しています。

表 14 幸田町に住み続けたいか

	件数	%
住み続けたい	754	58.1%
どちらかというに住み続けたい	440	33.9%
どちらかという町外に転出したい	67	5.2%
町外に転出したい	22	1.7%
回答なし	15	1.2%
合計	1,298	100.0%

図 28 幸田町に住み続けたいか

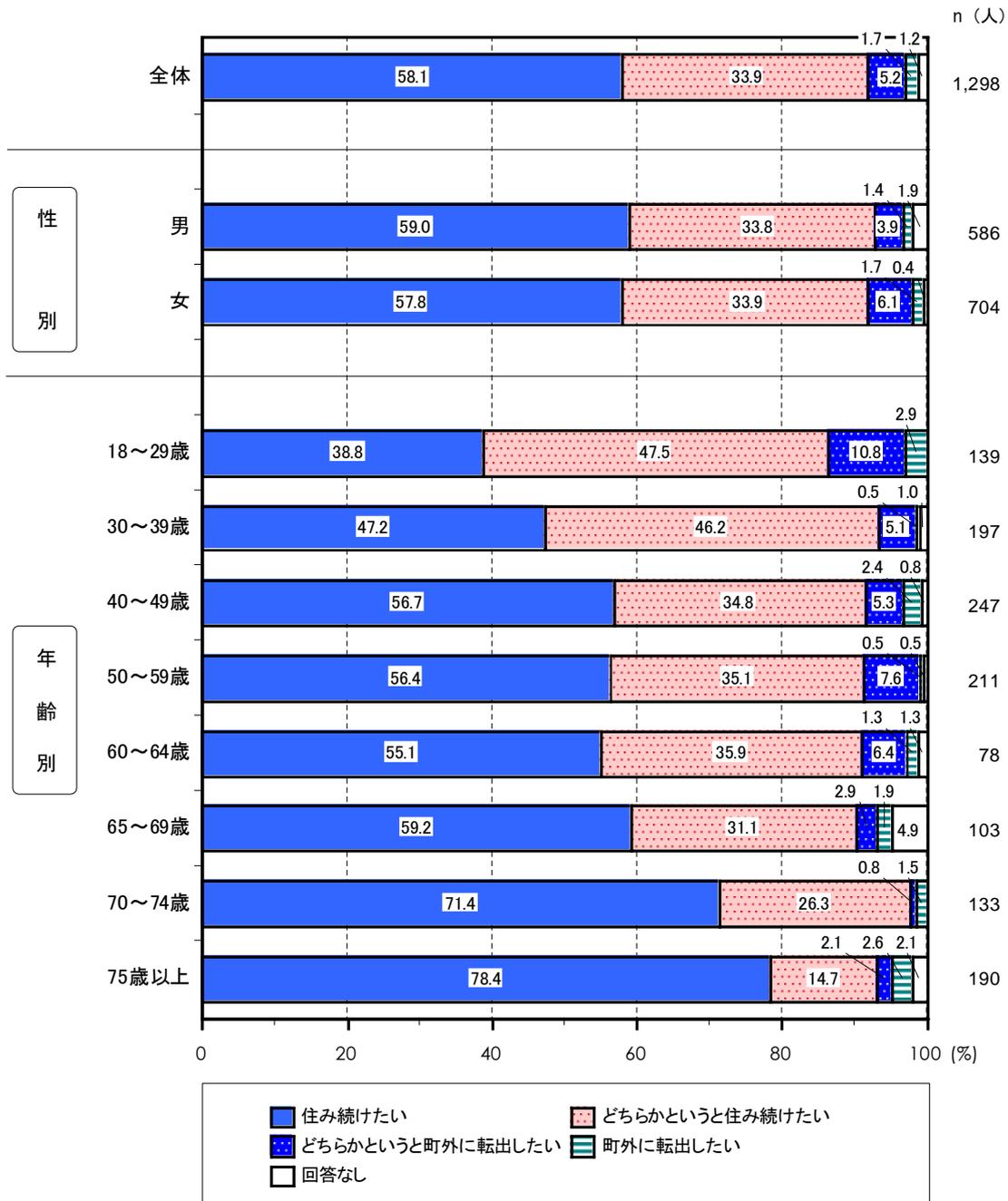


性別で比較すると、ほとんど差は認められません。

年齢別で比較すると、「住みたい」は、概して年齢が高くなるほど大きくなる傾向がみられます。「住みたい」と「どちらかというに住みたい」を合わせた割合は70～74歳で97.7%と最も大きく、全体と比べ5.7ポイント大きくなっています。

一方、18～29歳では86.3%と最も小さく、全体と比べ5.7ポイント小さくなっています。

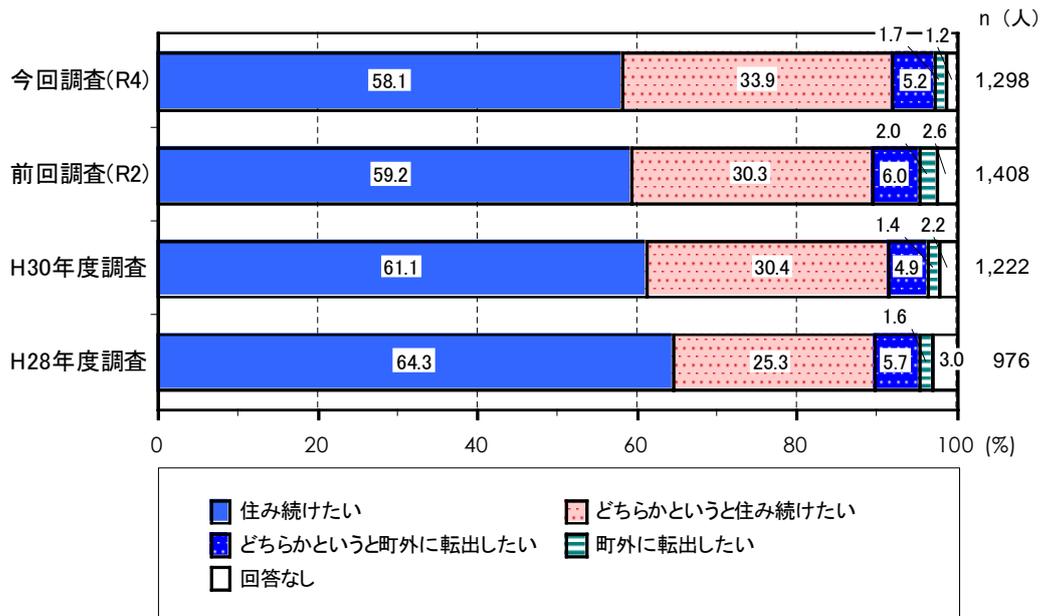
図 29 幸田町に住みたいか（性・年齢別）



過去の調査から定住意向の経年変化をみると、「住み続けたい」は平成 28 年度調査の 64.3% から徐々に減少し、今回の令和 4 年度調査では 58.1%となっています。6.2 ポイントの低下となっています。

「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」を合わせると、平成 28 年度調査から順に、89.6%、91.5%、89.5%、92.0%と推移してきており、今回が最も大きな割合を示しています。

図 30 幸田町に住み続けたいか（経年比較）



8 幸田町のよいところは（問 13）【複数回答：3つまで】

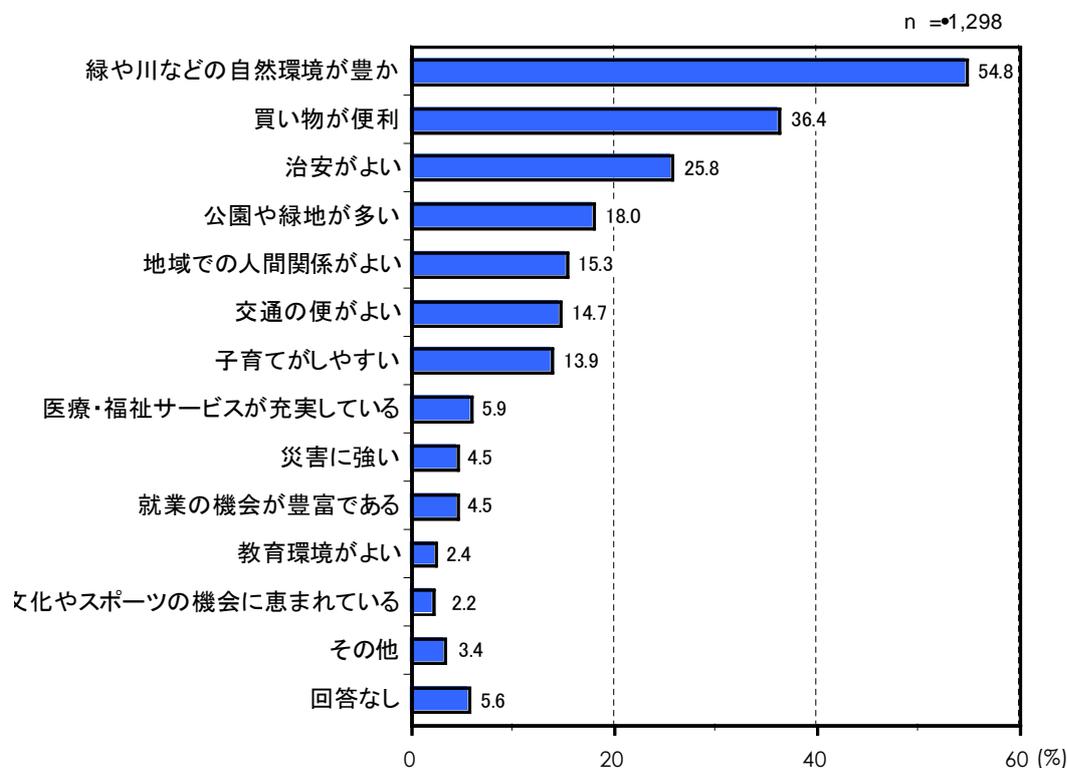
幸田町のよいところを尋ねたところ、「緑や川などの自然環境が豊か」が 54.8%と最も多く、次いで「買い物が便利」が 36.4%、以下「治安がよい」が 25.8%となっています。

表 15 幸田町のよいところは - 複数回答 -

回答者数：1,298 人

	件数	%
緑や川などの自然環境が豊か	711	54.8%
買い物が便利	472	36.4%
治安がよい	335	25.8%
公園や緑地が多い	233	18.0%
地域での人間関係がよい	199	15.3%
交通の便がよい	191	14.7%
子育てがしやすい	181	13.9%
医療・福祉サービスが充実している	77	5.9%
災害に強い	59	4.5%
就業の機会が豊富である	58	4.5%
教育環境がよい	31	2.4%
文化やスポーツの機会に恵まれている	29	2.2%
その他	44	3.4%
回答なし	73	5.6%
合計	2,693	

図 31 幸田町のよいところは - 複数回答 -



性別で比較すると、男女とも「緑や川などの自然環境が豊か」、「買い物が便利」、「治安がよい」の3項目が上位となっています。「子育てがしやすい」は女性が17.2%、男性が10.2%で女性が7.0ポイント上回っています。

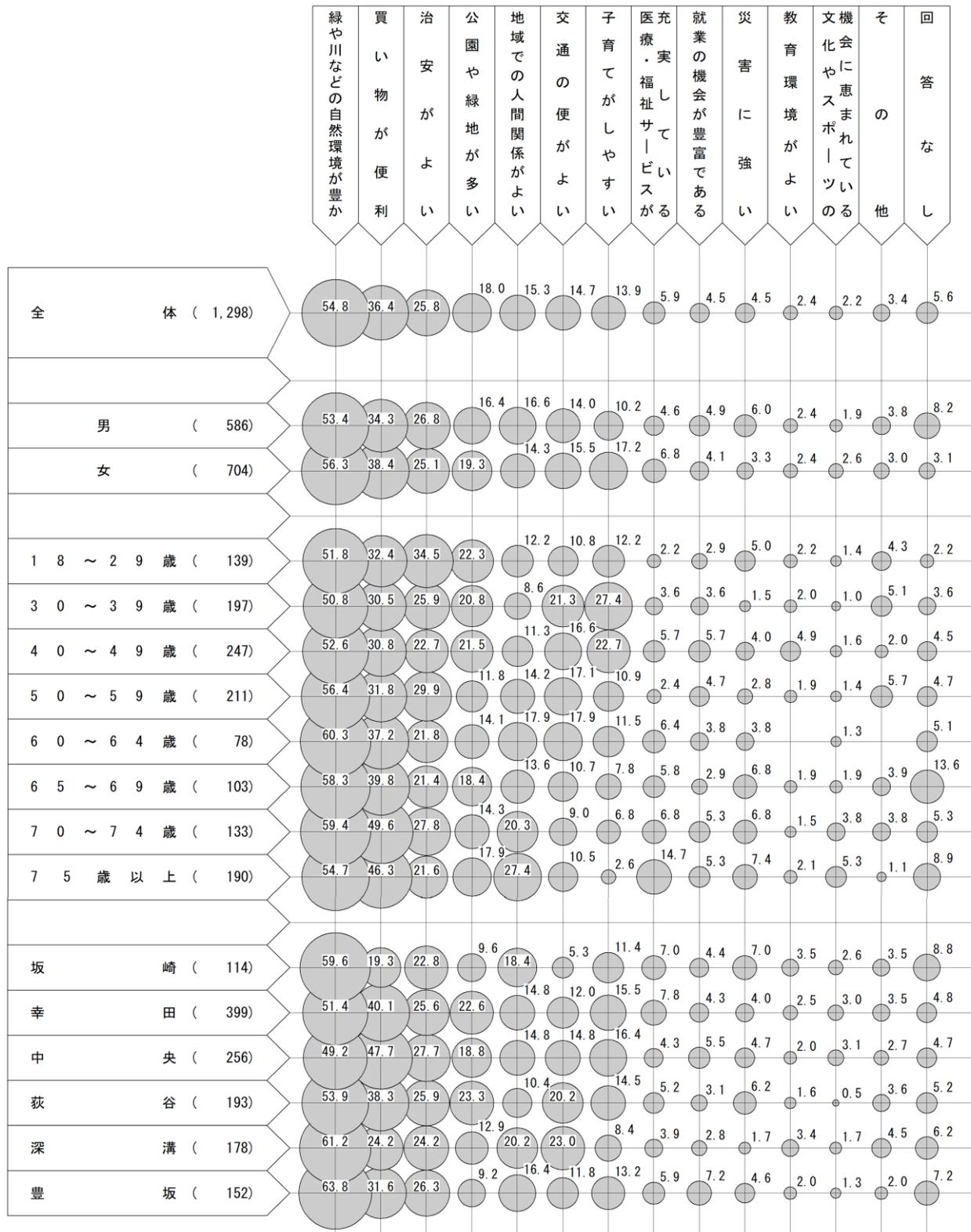
年齢別で比較すると、いずれの年代でも「緑や川などの自然環境が豊か」が最も多くなっています。このほか、18～29歳では「治安が良い」が34.5%で、全体の25.8%を8.7ポイント上回っています。また、30～39歳、40～49歳では、「子育てがしやすい」が相対的に多く、それぞれ27.4%、22.7%となっています、全体の13.9%をそれぞれ13.5ポイント、8.8ポイント上回っています。

60～64歳では、「緑や川などの自然環境が豊か」が60.3%で、他の世代と比べ最も多くなっています。さらに70～74歳、75歳以上になると、「買い物が便利」がそれぞれ49.6%、46.3%で、ともに全体の36.4%より10ポイント近く大きくなっています。

小学校区別で比較すると、坂崎小学校区では、「買い物が便利」が19.3%、「交通の便がよい」が5.3%で、これらは6小学校区中最も少なくなっています。幸田小学校区と中央小学校区では、「買い物が便利」がそれぞれ40.1%、47.7%で相対的に多くなっています。

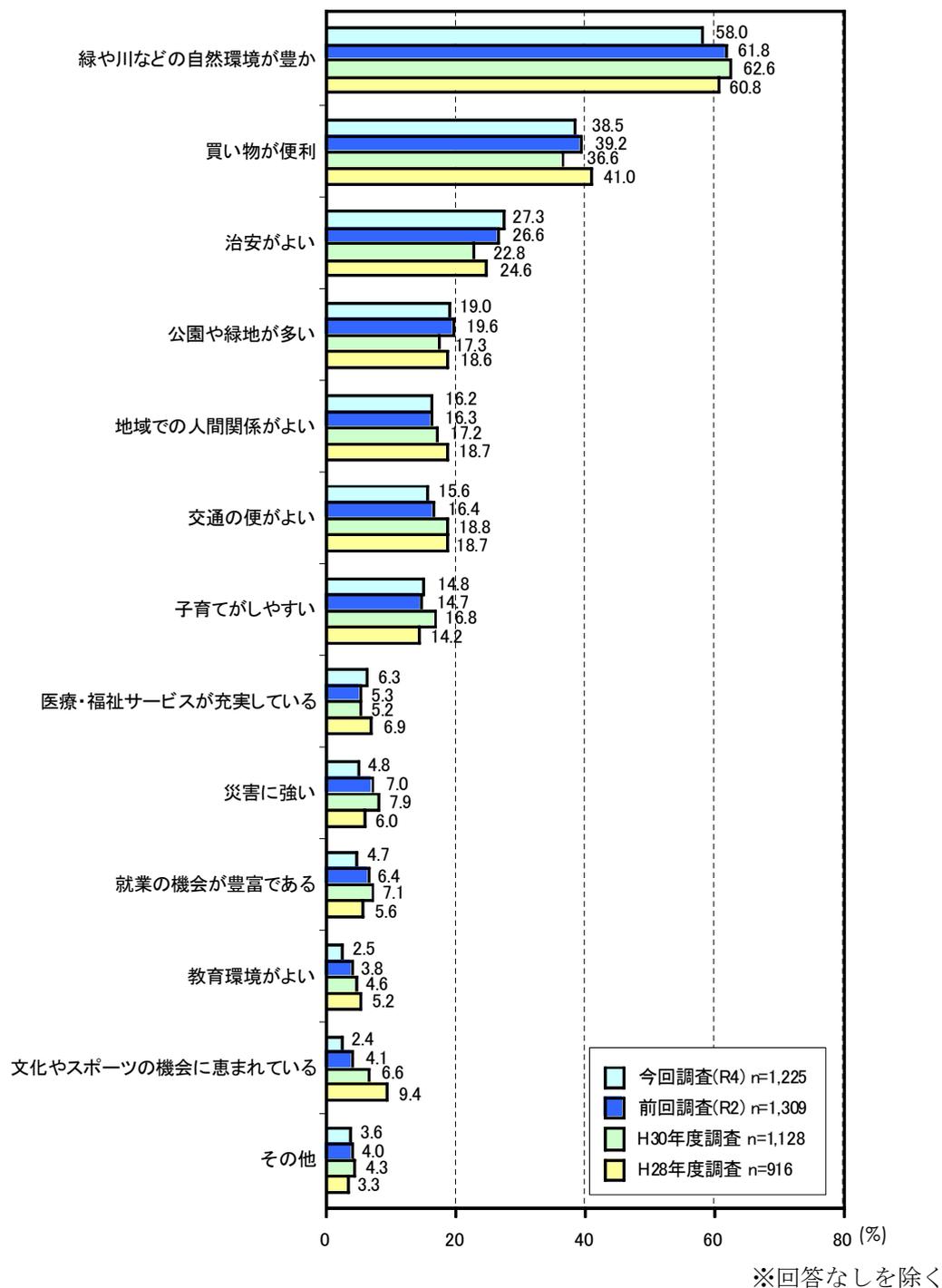
荻谷小学校区と深溝小学校区では、「交通の便がよい」がそれぞれ20.2%、23.0%で、相対的に多くなっています。また、深溝小学校区と豊坂小学校区では、「緑や川などの自然環境が豊か」がいずれも60%超と相対的に多くなっています。

図 32 幸田町のよいところは（年齢・校区別） - 複数回答 -



過去の調査から幸田町のよいところの評価の経年変化をみると、全体的にみて顕著な傾向はみられませんが、「交通の便がよい」、「緑や川などの自然環境が豊か」、「買い物が便利」、「地域での人間環境がよい」などは経年的にみればやや低下しています。一方、「治安がよい」に関しては、微増の傾向がみられます。

図 33 幸田町のよいところは（経年比較） - 複数回答 -



9 幸田町の悪いところは（問 14）【複数回答：3つまで】

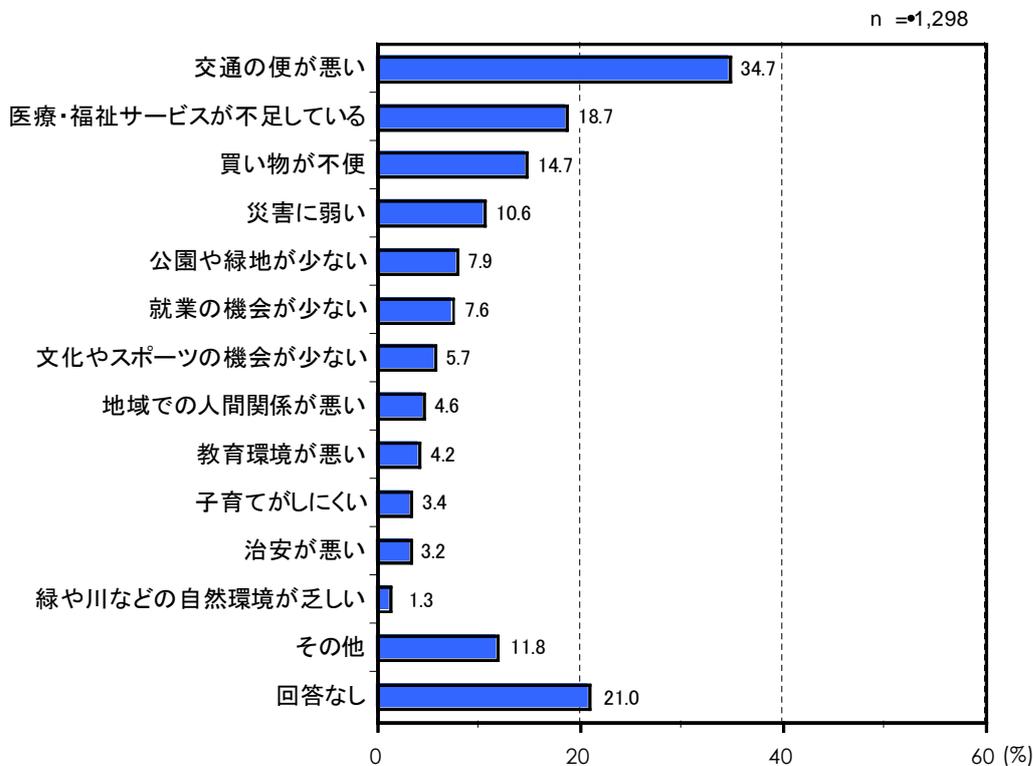
幸田町の悪いところを尋ねたところ、「交通の便が悪い」が 34.7%と最も多く、次いで「医療・福祉サービスが不足している」が 18.7%、「買い物不便」が 14.7%となっています。

表 16 幸田町の悪いところは - 複数回答 -

回答者数：1,298 人

	件数	%
交通の便が悪い	451	34.7%
医療・福祉サービスが不足している	243	18.7%
買い物が不便	191	14.7%
災害に弱い	138	10.6%
公園や緑地が少ない	103	7.9%
就業の機会が少ない	99	7.6%
文化やスポーツの機会が少ない	74	5.7%
地域での人間関係が悪い	60	4.6%
教育環境が悪い	55	4.2%
子育てがしにくい	44	3.4%
治安が悪い	42	3.2%
緑や川などの自然環境が乏しい	17	1.3%
その他	153	11.8%
回答なし	272	21.0%
合計	1,942	

図 34 幸田町の悪いところは - 複数回答 -



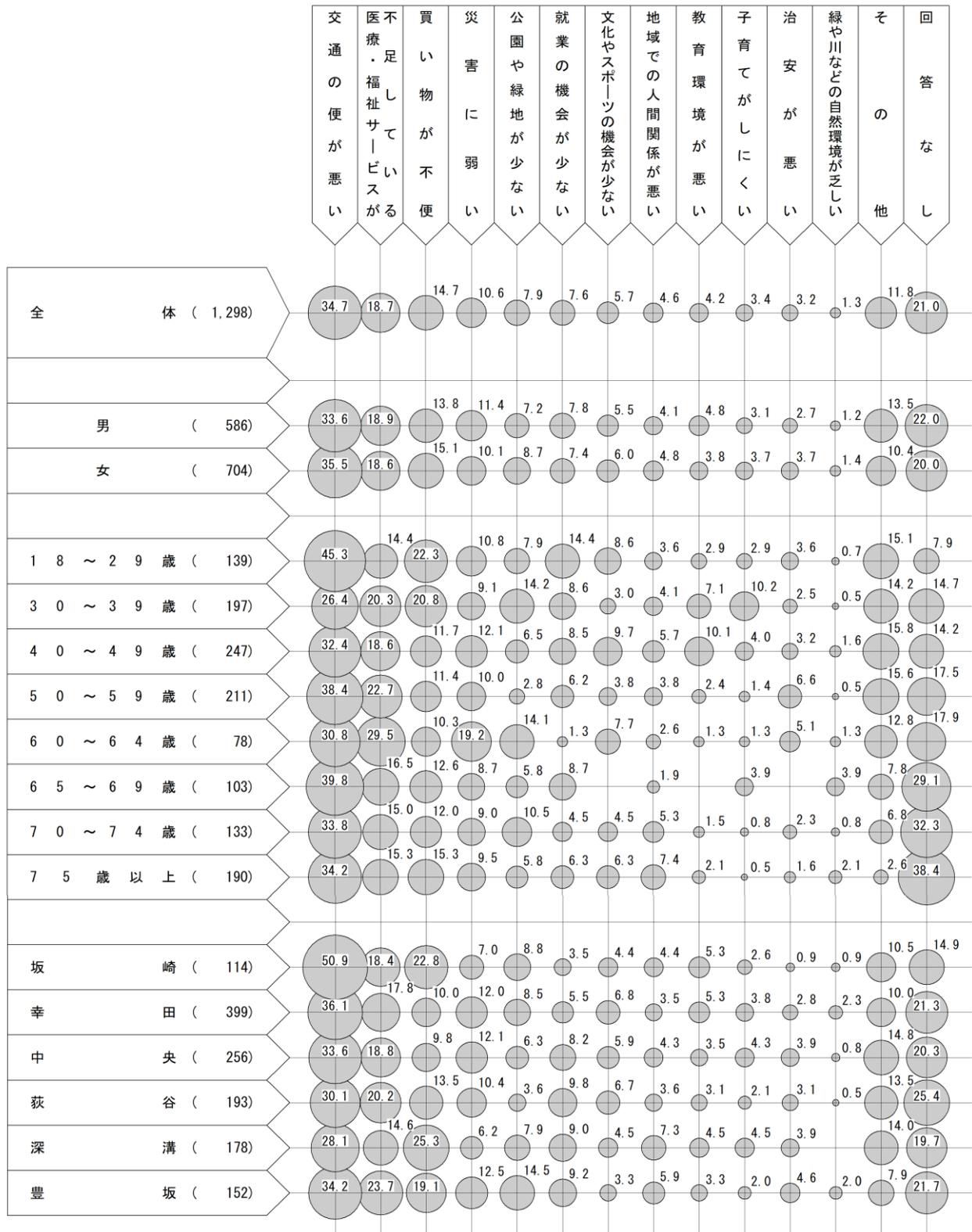
性別で比較したとき、男女間で顕著な相違はみられません。

年齢別で比較すると、18～29 歳では、「交通の便が悪い」が 45.3%で、全年代の中で最も多くなっています。また、18～29 歳や 30～39 歳といった若い年代では、「買い物が不便」が「交通の便が悪い」に次いで多く、全体の 14.7%を 6 ポイント以上上回っています。

一方、60～64 歳になると、「医療・福祉サービスが不足している」が 29.5%で、全世代の中で最も多くなっています。また、65～69 歳、70～74 歳、75 歳以上といった高齢の世代では、「回答なし」がそれぞれ 29.1%、32.3%、38.4%で、高齢になるほど「回答なし」が高くなる傾向がみられます。

小学校区別で比較すると、坂崎小学校区では「交通の便が悪い」が 50.9%で、全 6 小学校区中最も多くなっています。また、深溝小学校区と坂崎小学校区では、「買い物が不便」がそれぞれ 25.3%、22.8%で、全体の 14.7%を 8 ポイント以上上回っています。

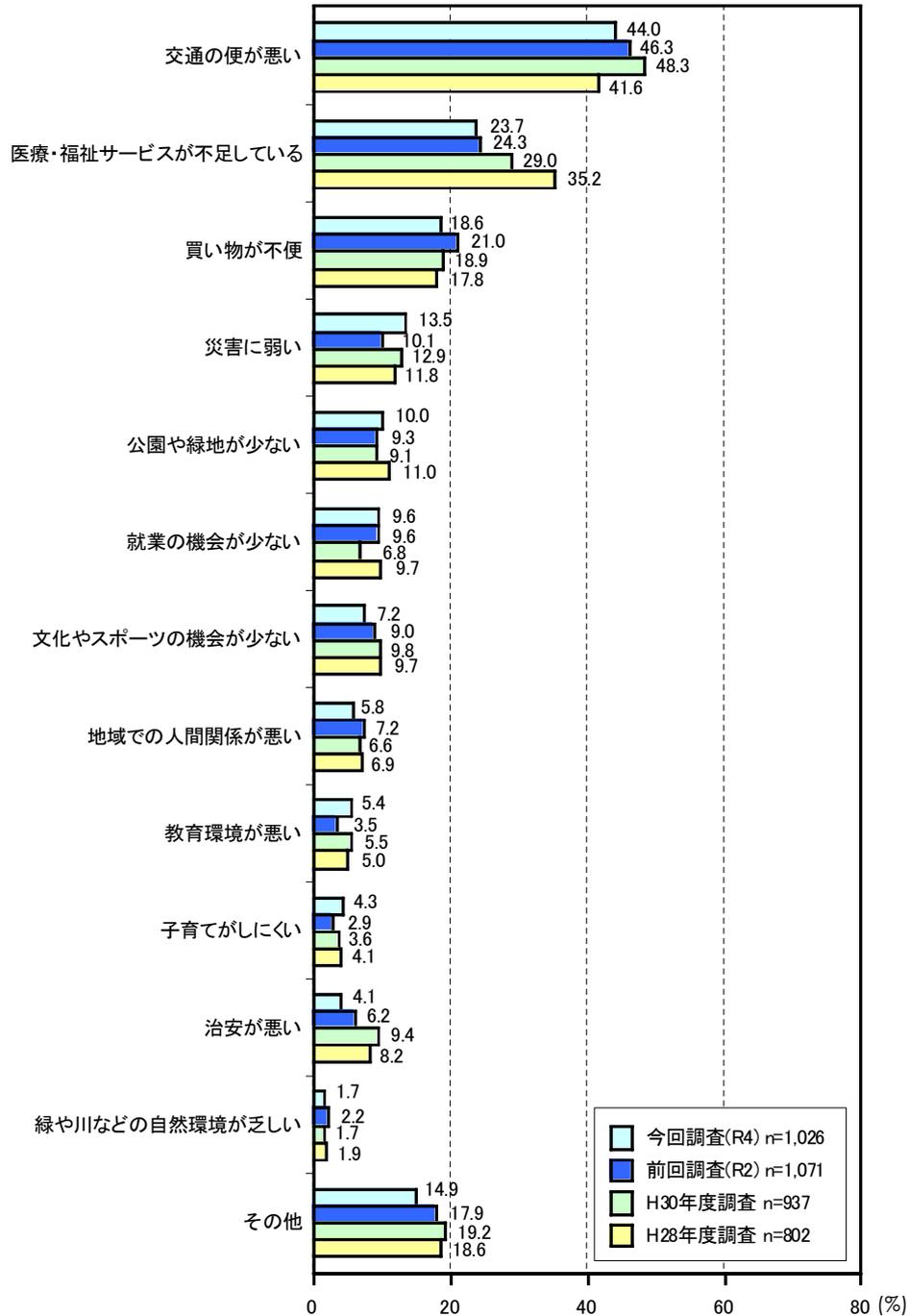
図 35 幸田町の悪いところは（年齢・校区别） - 複数回答 -



過去の調査から幸田町の悪いところの評価について経年変化をみると、「災害に弱い」は平成28年度調査で11.8%でしたが今回調査では13.5%でわずかに増加しています。「買い物が不便」については令和2年度調査までは増加傾向でしたが、今回調査ではやや下がっています。

平成28年度調査からの変化で顕著なものは、「医療・福祉サービスが不足している」で、平成28年度調査の35.2%から徐々に減少し、今回調査では23.7%にまで減少しました。11.5ポイントの減少となっています。

図 36 幸田町の悪いところは（経年比較） - 複数回答 -



※回答なしを除く

第4章 日常生活における行動・
意識調査結果
(問15～問17)

1 日常生活における行動・意識（問 15）

27 項目の「日常生活における行動・意識」について、『はい』、『いいえ』で回答を求めました。日常生活における行動・意識について、『はい』と回答した割合が高いものを順にみていくと、「(11)あなたは、資源・ごみの分別方法を知っていますか」が 94.5%で最も多く、次いで「(4)あなたは、幸田町に消防団があることを知っていますか」が 93.8%となっています。この 2 項目は 9 割を超えています。

続いて、「(12)あなたは、省エネルギーやリサイクルに心掛けていますか」の 86.9%、「(24)あなたは、この 1 ヶ月の間に地域の人とあいさつや会話をしたことがありますか」の 83.2%、「(27)あなたは、広報こうたを読んでいますか」の 82.1%、「(16)あなたは、普段から健康に心掛けていますか」の 80.8%、「(18)あなたは、日常生活の中で身近に相談できる人がいますか」の 80.0%が多く、この 5 項目は 8 割を超えています。

逆に、『はい』と回答した割合が少ないものは、「(3)あなたは、マイタイムラインを知っていますか」が 11.2%で最も少なく、1 割程度にとどまっています。次いで「(5)あなたは、町が“止まってくれて「ありがとう！」”をスローガンに交通安全運動を実施していることを知っていますか」が 23.6%で 2 番目に少なく、おおむね 4 人に 1 人にしか認知されていません。

この他、割合が低いものを順に上げると、「(22)あなたは、日頃から文化や芸術に触れていますか」の 31.4%、「(15)あなたが町外の人に紹介したいと思う幸田町の観光資源はありますか」の 31.7%、「(26)あなたは、他の世代の人や外国人住民の方々と交流したり、ふれあったりすることはありますか」の 33.4%、「(19)あなたは、地域で子どもを育む活動をしたことがありますか」の 37.5%となっており、この 4 項目はいずれも 3 割台となっています。

さらに、「(2)あなたは、自宅の家具転倒防止対策を行っていますか」は 40.2%、「(1)あなたは、災害に備えて非常持出袋を用意していますか」は 48.4%で、ともに半数以下となっています。

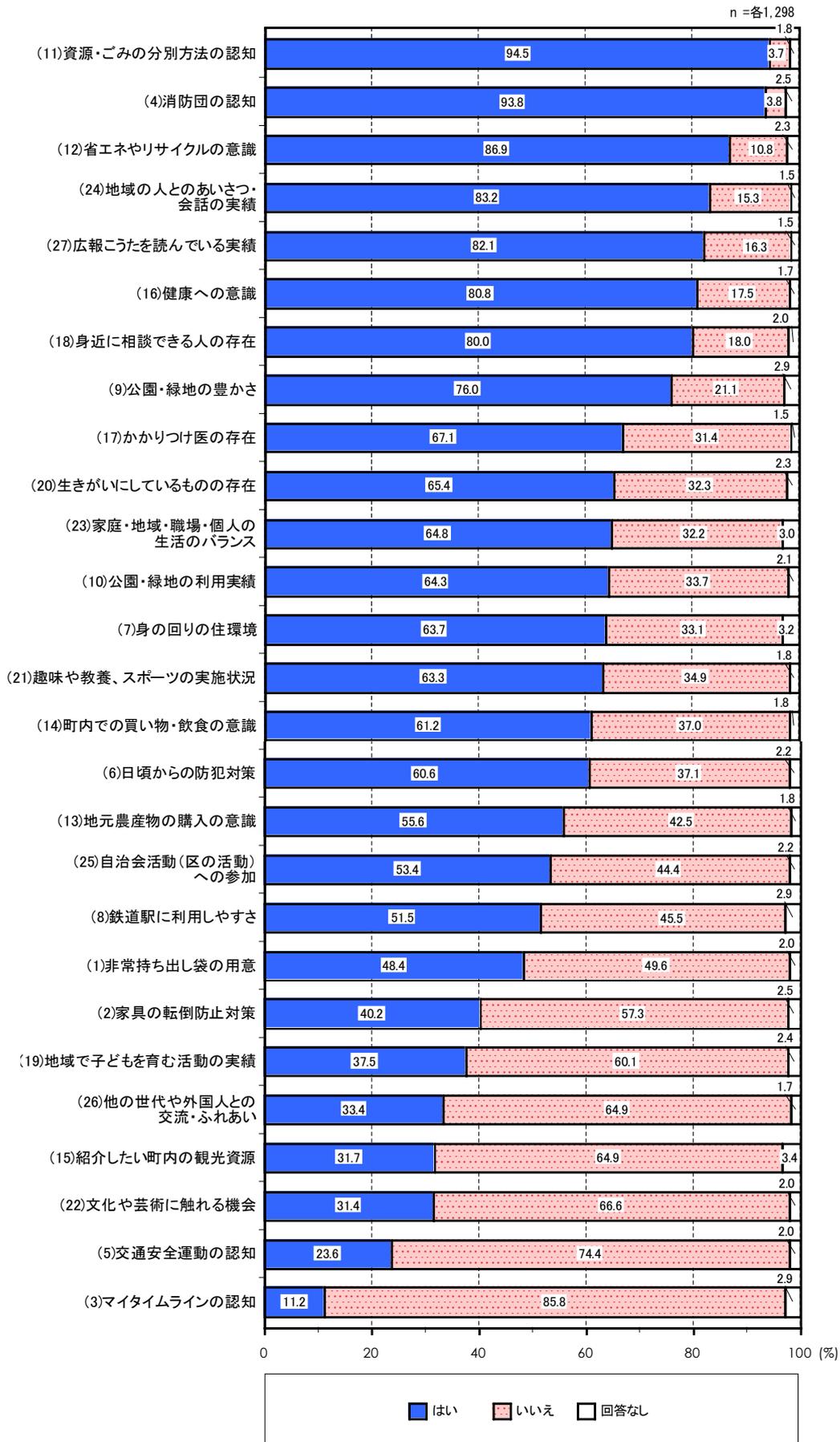
表 17 日常生活における行動・意識

上段:人数、下段:%

	n	はい	いいえ	回答なし
(1)非常持ち出し袋の用意	1,298	628	644	26
	100.0%	48.4%	49.6%	2.0%
(2)家具の転倒防止対策	1,298	522	744	32
	100.0%	40.2%	57.3%	2.5%
(3)マイタイムラインの認知	1,298	146	1,114	38
	100.0%	11.2%	85.8%	2.9%
(4)消防団の認知	1,298	1,217	49	32
	100.0%	93.8%	3.8%	2.5%
(5)交通安全運動の認知	1,298	306	966	26
	100.0%	23.6%	74.4%	2.0%
(6)日頃からの防犯対策	1,298	787	482	29
	100.0%	60.6%	37.1%	2.2%
(7)身の回りの住環境	1,298	827	430	41
	100.0%	63.7%	33.1%	3.2%
(8)鉄道駅に利用しやすさ	1,298	669	591	38
	100.0%	51.5%	45.5%	2.9%
(9)公園・緑地の豊かさ	1,298	987	274	37
	100.0%	76.0%	21.1%	2.9%
(10)公園・緑地の利用実績	1,298	834	437	27
	100.0%	64.3%	33.7%	2.1%
(11)資源・ごみの分別方法の認知	1,298	1,226	48	24
	100.0%	94.5%	3.7%	1.8%
(12)省エネやリサイクルの意識	1,298	1,128	140	30
	100.0%	86.9%	10.8%	2.3%
(13)地元農産物の購入の意識	1,298	722	552	24
	100.0%	55.6%	42.5%	1.8%
(14)町内での買い物・飲食の意識	1,298	795	480	23
	100.0%	61.2%	37.0%	1.8%
(15)紹介したい町内の観光資源	1,298	411	843	44
	100.0%	31.7%	64.9%	3.4%
(16)健康への意識	1,298	1,049	227	22
	100.0%	80.8%	17.5%	1.7%
(17)かかりつけ医の存在	1,298	871	407	20
	100.0%	67.1%	31.4%	1.5%
(18)身近に相談できる人の存在	1,298	1,038	234	26
	100.0%	80.0%	18.0%	2.0%
(19)地域で子どもを育む活動の実績	1,298	487	780	31
	100.0%	37.5%	60.1%	2.4%
(20)生きがいにしているものの存	1,298	849	419	30
	100.0%	65.4%	32.3%	2.3%
(21)趣味や教養、スポーツの実施状況	1,298	822	453	23
	100.0%	63.3%	34.9%	1.8%
(22)文化や芸術に触れる機会	1,298	408	864	26
	100.0%	31.4%	66.6%	2.0%

(23)家庭・地域・職場・個人の生活のバランス	1,298	841	418	39
	100.0%	64.8%	32.2%	3.0%
(24)地域の人とのあいさつ・会話の実績	1,298	1,080	199	19
	100.0%	83.2%	15.3%	1.5%
(25)自治会活動(区の活動)への参加	1,298	693	576	29
	100.0%	53.4%	44.4%	2.2%
(26)他の世代や外国人との交流・ふれあい	1,298	433	843	22
	100.0%	33.4%	64.9%	1.7%
(27)広報こうたを読んでいる実績	1,298	1,066	212	20
	100.0%	82.1%	16.3%	1.5%

図 37 日常生活における行動・意識



2 この1年間の学習の形式（問16）

この1年くらいの中に、どのような場所や形態で学習をしたことがあるかを尋ねたところ、「学習をしたことがない」が12.3%、「わからない」が6.5%となっています。この2項目を除いた81.2%は「学習したことがある」ということになります。

その内容としては、「インターネット」が35.4%で最も多く、次いで「テレビやラジオ」が32.9%と多くなっています。以下、「自宅での学習活動（書籍など）」が27.1%、「職場の教育、研修」が24.0%、「図書館、博物館、美術館」が20.9%といった順になっています。

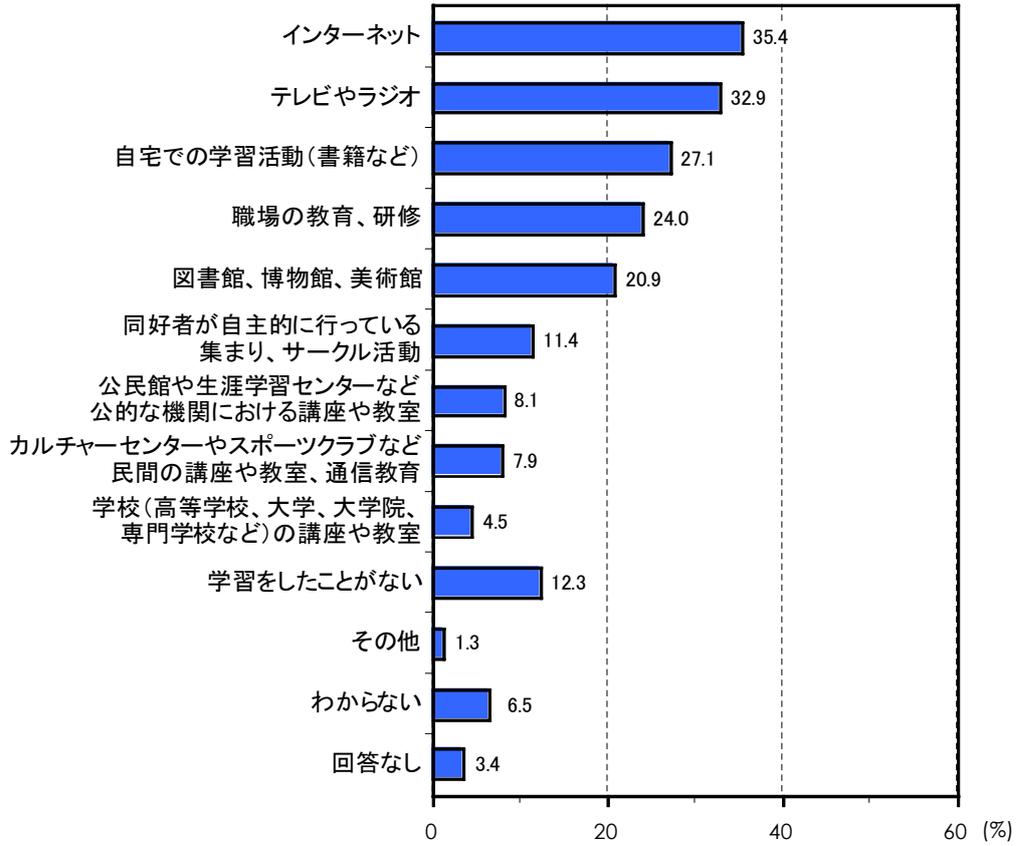
表18 この1年間の学習の形式 - 複数回答 -

回答者数：1,298人

	件数	%
インターネット	459	35.4%
テレビやラジオ	427	32.9%
自宅での学習活動(書籍など)	352	27.1%
職場の教育、研修	311	24.0%
図書館、博物館、美術館	271	20.9%
同好者が自主的に行っている集まり、 サークル活動	148	11.4%
公民館や生涯学習センターなど公的な機関に おける講座や教室	105	8.1%
カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の 講座や教室、通信教育	103	7.9%
学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など) の講座や教室	59	4.5%
学習をしたことがない	160	12.3%
その他	17	1.3%
わからない	84	6.5%
回答なし	44	3.4%
合計	2,540	

図 38 この1年間の学習の形式 - 複数回答 -

n = 1,298



3 この1年間のスポーツ実施状況（問17）

この1年くらいの間、どの程度運動やスポーツを実施したかを尋ねたところ、「運動やスポーツをしなかった」が21.0%で最も多くなっています。また、「わからない」が5.9%で、「運動やスポーツをしなかった」と「わからない」を除いた73.1%は「運動やスポーツをした」こととなります。

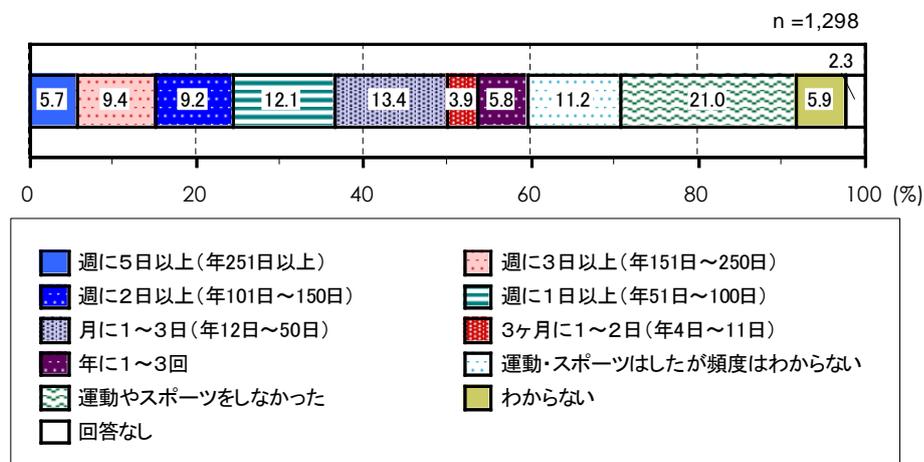
その頻度としては、「月に1～3日（年12日～50日）」が13.4%で最も多く、次いで「週に1日以上（年51日～100日）」が12.1%で多くなっています。

なお、「週に1回以上（年51日以上）」運動やスポーツを実施している者の割合（＝スポーツ実施率）は、36.4%となっています。

表19 この1年間のスポーツ実施状況

	件数	%
週に5日以上(年251日以上)	74	5.7%
週に3日以上(年151日～250日)	122	9.4%
週に2日以上(年101日～150日)	120	9.2%
週に1日以上(年51日～100日)	157	12.1%
月に1～3日(年12日～50日)	174	13.4%
3ヶ月に1～2日(年4日～11日)	50	3.9%
年に1～3回	75	5.8%
運動・スポーツはしたが頻度はわからない	146	11.2%
運動やスポーツをしなかった	273	21.0%
わからない	77	5.9%
回答なし	30	2.3%
合計	1,298	100.0%

図39 この1年間のスポーツ実施状況



第5章 ICT（情報通信技術）の
活用についての調査結果
（問18～問19）

1 インターネットを利用する際の端末（問 18）

インターネットをどのような端末で利用しているかを尋ねたところ、「利用したことはないが、今後利用してみたい」が 3.3%、「今まで利用したことがないし、今後も利用する予定はない」が 9.2%でした。この両者を除いた 87.5%は「インターネットを利用している」こととなります。

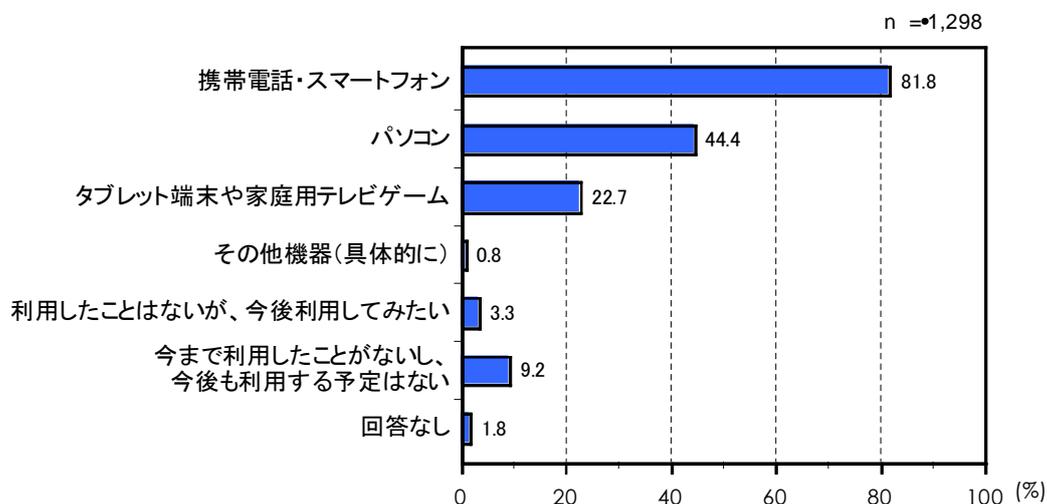
どのような端末で利用しているかについては、「携帯電話・スマートフォン」が 81.8%で圧倒的に多くなっています。次いで「パソコン」の 44.4%、「タブレット端末や家庭用テレビゲーム」の 22.7%などとなっています。

表 20 インターネットを利用する際の端末 - 複数回答 -

回答者数：1,298 人

	件数	%
携帯電話・スマートフォン	1,062	81.8%
パソコン	576	44.4%
タブレット端末や家庭用テレビゲーム	294	22.7%
その他機器(具体的に)	10	0.8%
利用したことはないが、今後利用してみたい	43	3.3%
今まで利用したことがないし、今後も利用する予定はない	119	9.2%
回答なし	24	1.8%
合計	2,128	

図 40 インターネットを利用する際の端末 - 複数回答 -



2 ICTを使った行政サービスのうち充実していくべきこと（問19）

ICT（情報通信技術）を使った行政サービスのうち、特に充実していくべきことを尋ねたところ、「自宅のパソコンやスマートフォンから役場の手続きができる仕組み（電子申請）」が51.8%で最も多く、次いで「災害時に避難所（小学校など）で使える公衆無線 LAN の整備」が41.8%となっています。

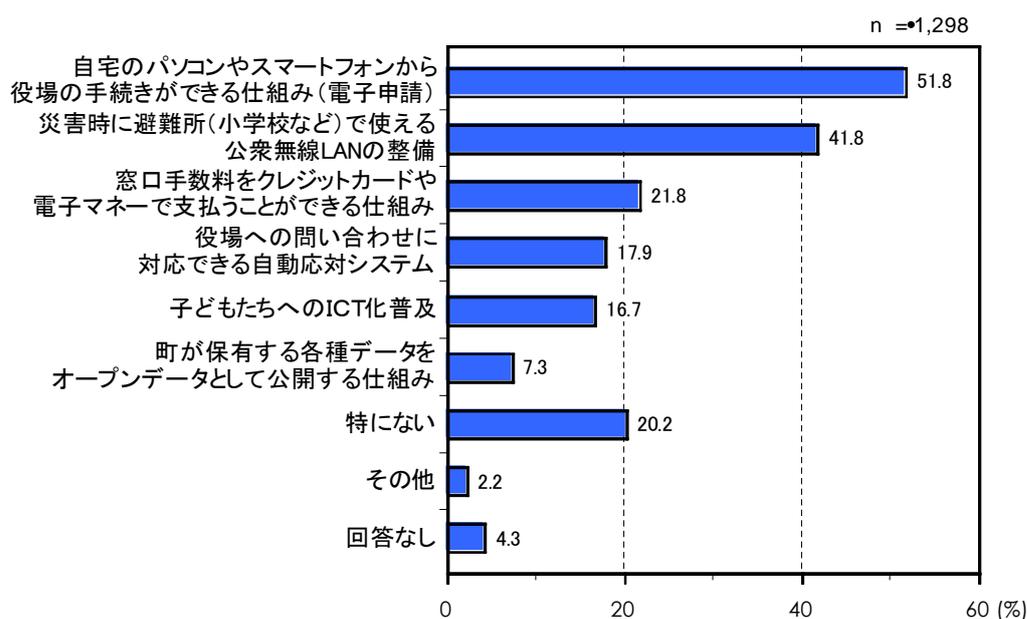
このほか、「窓口手数料をクレジットカードや電子マネーで支払うことができる仕組み」が21.8%、「役場への問い合わせに対応できる自動対応システム」が17.9%、「子どもたちへのICT化普及」が16.7%などとなっています。

表21 ICTを使った行政サービスのうち充実していくべきこと - 複数回答 -

回答者数：1,298人

	件数	%
自宅のパソコンやスマートフォンから役場の手続きができる仕組み(電子申請)	673	51.8%
災害時に避難所(小学校など)で使える公衆無線 LAN の整備	542	41.8%
窓口手数料をクレジットカードや電子マネーで支払うことができる仕組み	283	21.8%
役場への問い合わせに対応できる自動対応システム	232	17.9%
子どもたちへのICT化普及	217	16.7%
町が保有する各種データをオープンデータとして公開する仕組み	95	7.3%
特になし	262	20.2%
その他	29	2.2%
回答なし	56	4.3%
合計	2,389	

図41 ICTを使った行政サービスのうち充実していくべきこと - 複数回答 -



第6章 新型コロナウイルス感染拡大
の影響についての調査結果
(問20～問21)

1 新型コロナウイルス感染拡大による困りごと・心配ごと（問 20）

新型コロナウイルス感染拡大により、困っていること・心配に感じていることを尋ねたところ、「外出制限による交流機会などの減少」が 37.3%で最も多くなっています。

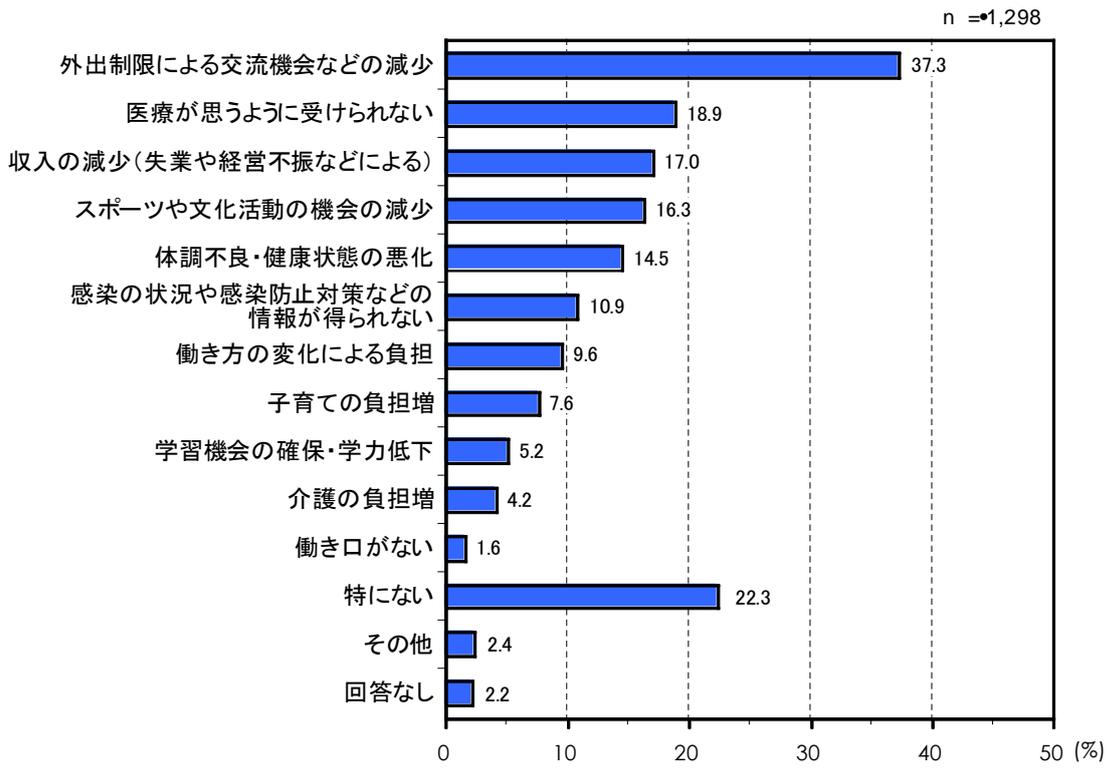
次いで「医療が思うように受けられない」の 18.9%、「収入の減少（失業や経営不振などによる）」の 17.0%、「スポーツや文化活動の機会の減少」の 16.3%、「体調不良・健康状態の悪化」の 14.5%、「感染の状況や感染防止対策などの情報が得られない」の 10.9%などが続いています。なお、「特にない」が 22.3%と 2 割超を占めています。

表 22 新型コロナウイルス感染拡大による困りごと・心配ごと - 複数回答 -

回答者数：1,298 人

	件数	%
外出制限による交流機会などの減少	484	37.3%
医療が思うように受けられない	245	18.9%
収入の減少(失業や経営不振などによる)	221	17.0%
スポーツや文化活動の機会の減少	211	16.3%
体調不良・健康状態の悪化	188	14.5%
感染の状況や感染防止対策などの情報が得られない	141	10.9%
働き方の変化による負担	125	9.6%
子育ての負担増	99	7.6%
学習機会の確保・学力低下	68	5.2%
介護の負担増	55	4.2%
働き口がない	21	1.6%
特にない	289	22.3%
その他	31	2.4%
回答なし	28	2.2%
合計	2,206	

図 42 新型コロナウイルス感染拡大による困りごと・心配ごと - 複数回答 -



2 新型コロナウイルス感染症対策として重点的に実施してほしい施策（問 21）

今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、重点的に実施してほしい施策を尋ねたところ、「安定した医療体制確保」が 67.0%で最も多く、7 割近い多数の回答を得ました。

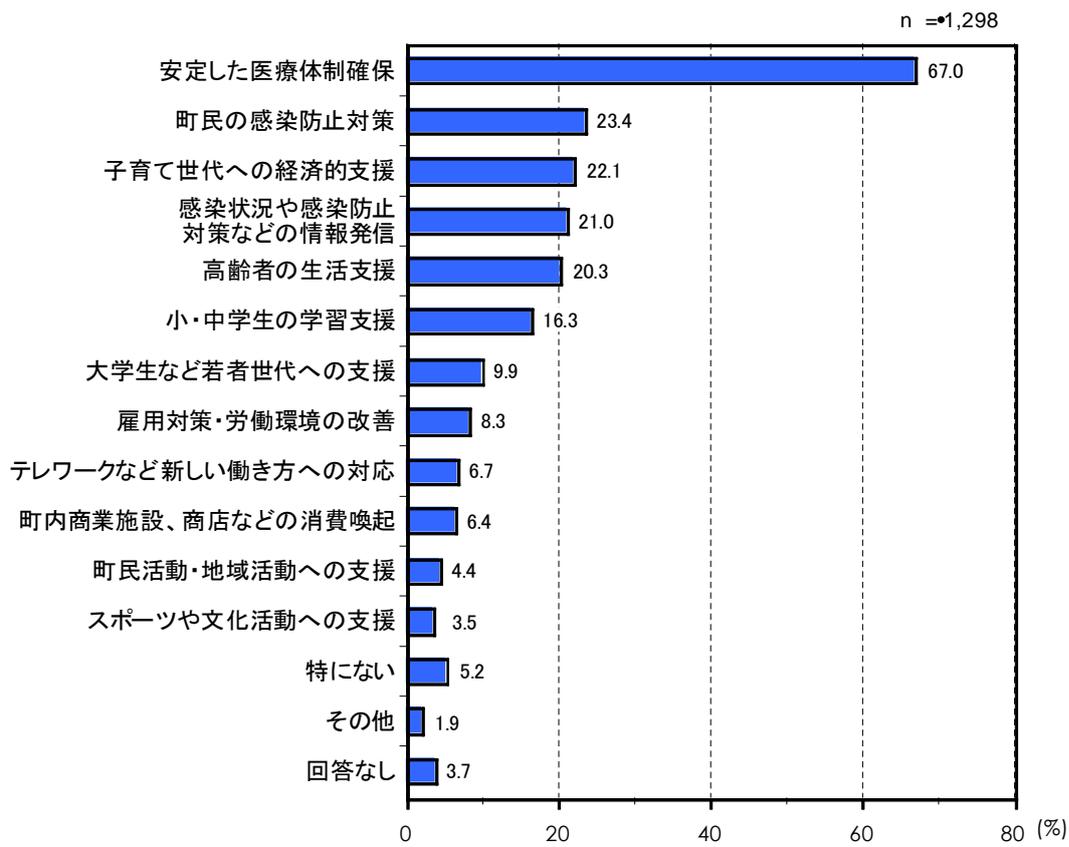
これに次いで「町民の感染防止対策」の 23.4%、「子育て世代への経済的支援」の 22.1%、「感染状況や感染防止対策などの情報発信」の 21.0%、「高齢者の生活支援」の 20.3%、「小・中学生の学習支援」の 16.3%などが続いています。

表 23 新型コロナウイルス感染症対策として重点的に実施してほしい施策 - 複数回答 -

回答者数：1,298 人

	件数	%
安定した医療体制確保	870	67.0%
町民の感染防止対策	304	23.4%
子育て世代への経済的支援	287	22.1%
感染状況や感染防止対策などの情報発信	272	21.0%
高齢者の生活支援	263	20.3%
小・中学生の学習支援	212	16.3%
大学生など若者世代への支援	129	9.9%
雇用対策・労働環境の改善	108	8.3%
テレワークなど新しい働き方への対応	87	6.7%
町内商業施設、商店などの消費喚起	83	6.4%
町民活動・地域活動への支援	57	4.4%
スポーツや文化活動への支援	46	3.5%
特にない	68	5.2%
その他	25	1.9%
回答なし	48	3.7%
合計	2,859	

図 43 新型コロナウイルス感染症対策として重点的に実施してほしい施策 - 複数回答 -



第7章 公共交通に関する調査結果 (問22～問23)

1 公共交通の利用のしやすさ（問 22）

幸田町のそれぞれの公共交通について利用のしやすさを尋ねたところ、利用しやすいとの回答は「(1) JR（幸田駅、三ヶ根駅、相見駅）」では 44.3%と比較的多いものの、それ以外については総じて少なくなっています。

「幸田町における公共交通全般」の評価についても、利用しやすいとの回答は 11.0%にとどまっています。

表 24 公共交通の利用のしやすさ

	n	上段：人数、下段：%				
		利用しやすい	どちらとも いえない	利用しづ らい	利用したこ とがない	回答なし
(1)JR(幸田駅、三ヶ根駅、相見駅)	1,298	575	353	220	88	62
	100.0%	44.3%	27.2%	16.9%	6.8%	4.8%
(2)タクシー	1,298	184	351	155	531	77
	100.0%	14.2%	27.0%	11.9%	40.9%	5.9%
(3)コミュニティバス(えこたんバス)	1,298	69	191	177	780	81
	100.0%	5.3%	14.7%	13.6%	60.1%	6.2%
(4)福祉タクシーチケット	1,298	32	142	29	1,008	87
	100.0%	2.5%	10.9%	2.2%	77.7%	6.7%
(5)高齢者タクシーチケット	1,298	28	141	27	1,015	87
	100.0%	2.2%	10.9%	2.1%	78.2%	6.7%
幸田町における公共交通全般	1,298	143	552	308	184	111
	100.0%	11.0%	42.5%	23.7%	14.2%	8.6%

図 44 公共交通の利用のしやすさ

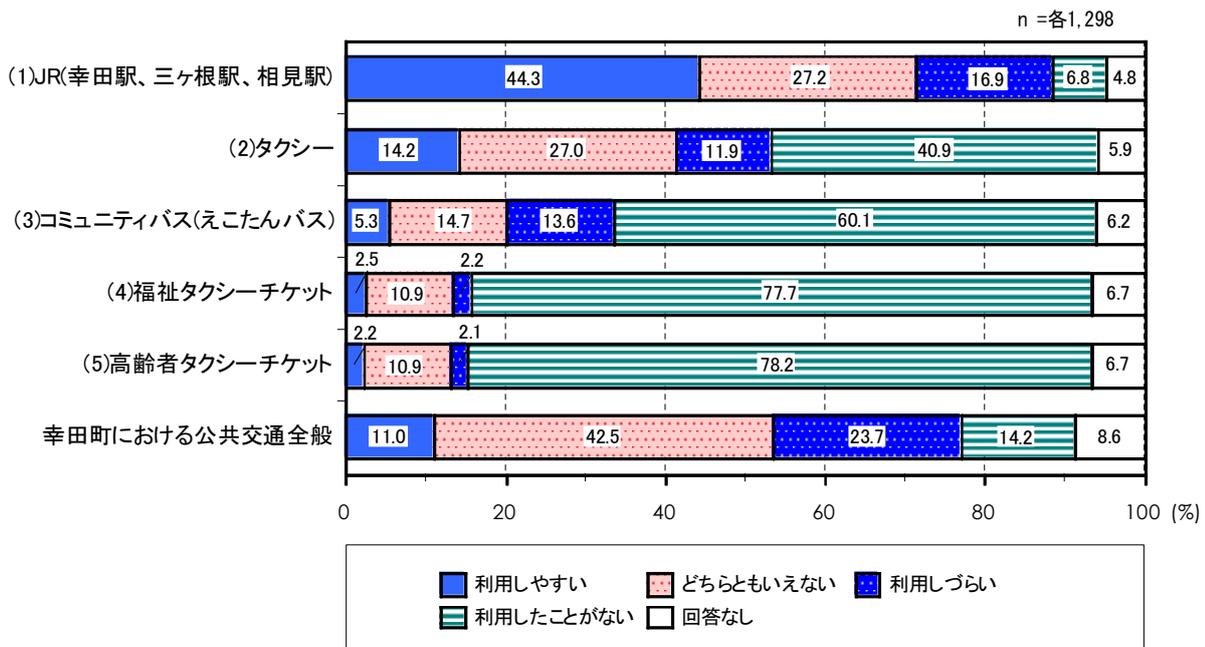


図 45 公共交通の利用のしやすさ「(1) JR (幸田駅、三ヶ根駅、相見駅)」(性・年齢・校区別)

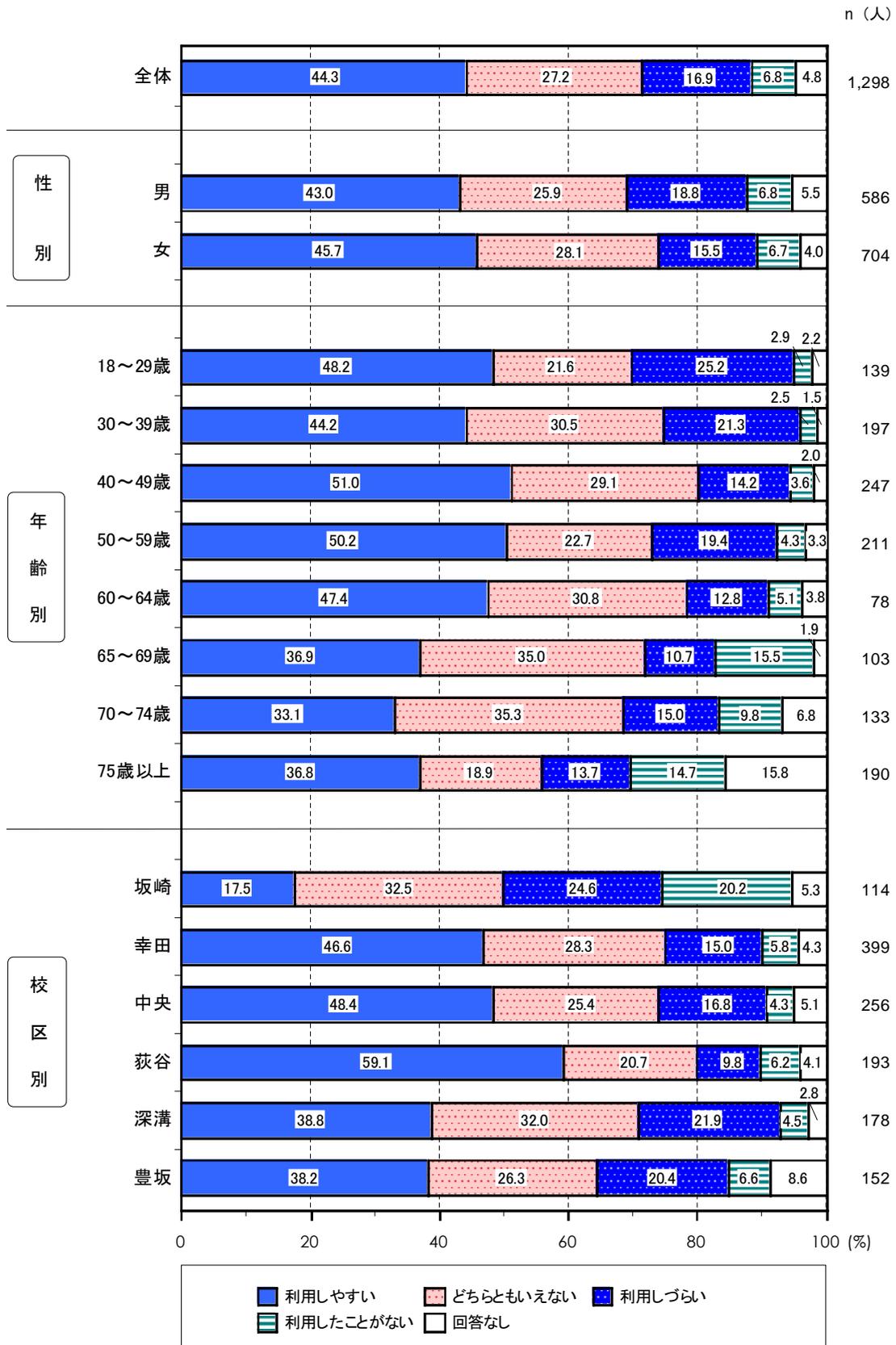


図 46 公共交通の利用のしやすさ「(2) タクシー」(性・年齢・校区别)

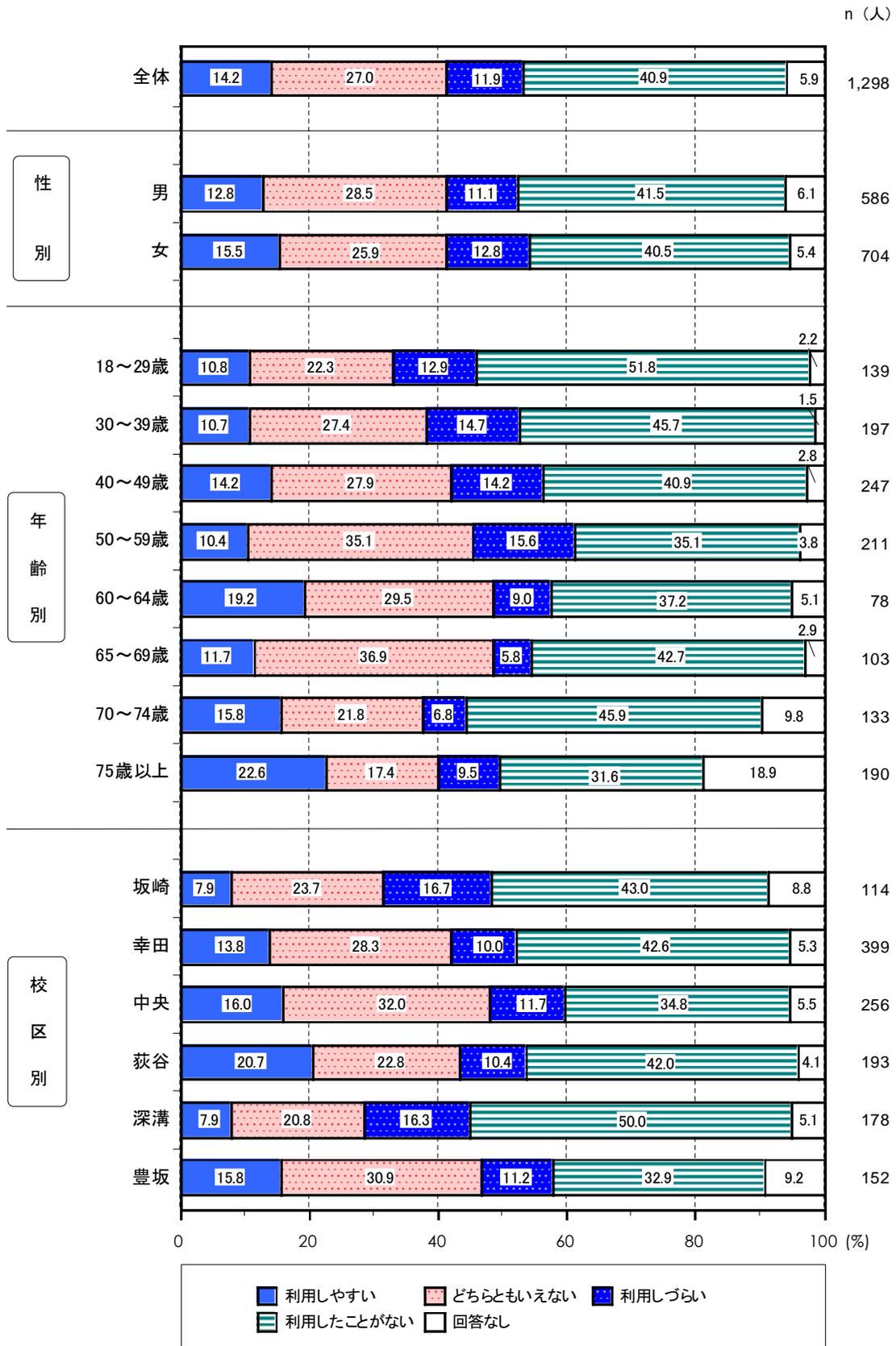


図 47 公共交通の利用のしやすさ「(3) コミュニティバス (えこたんバス)」(性・年齢・校区別)

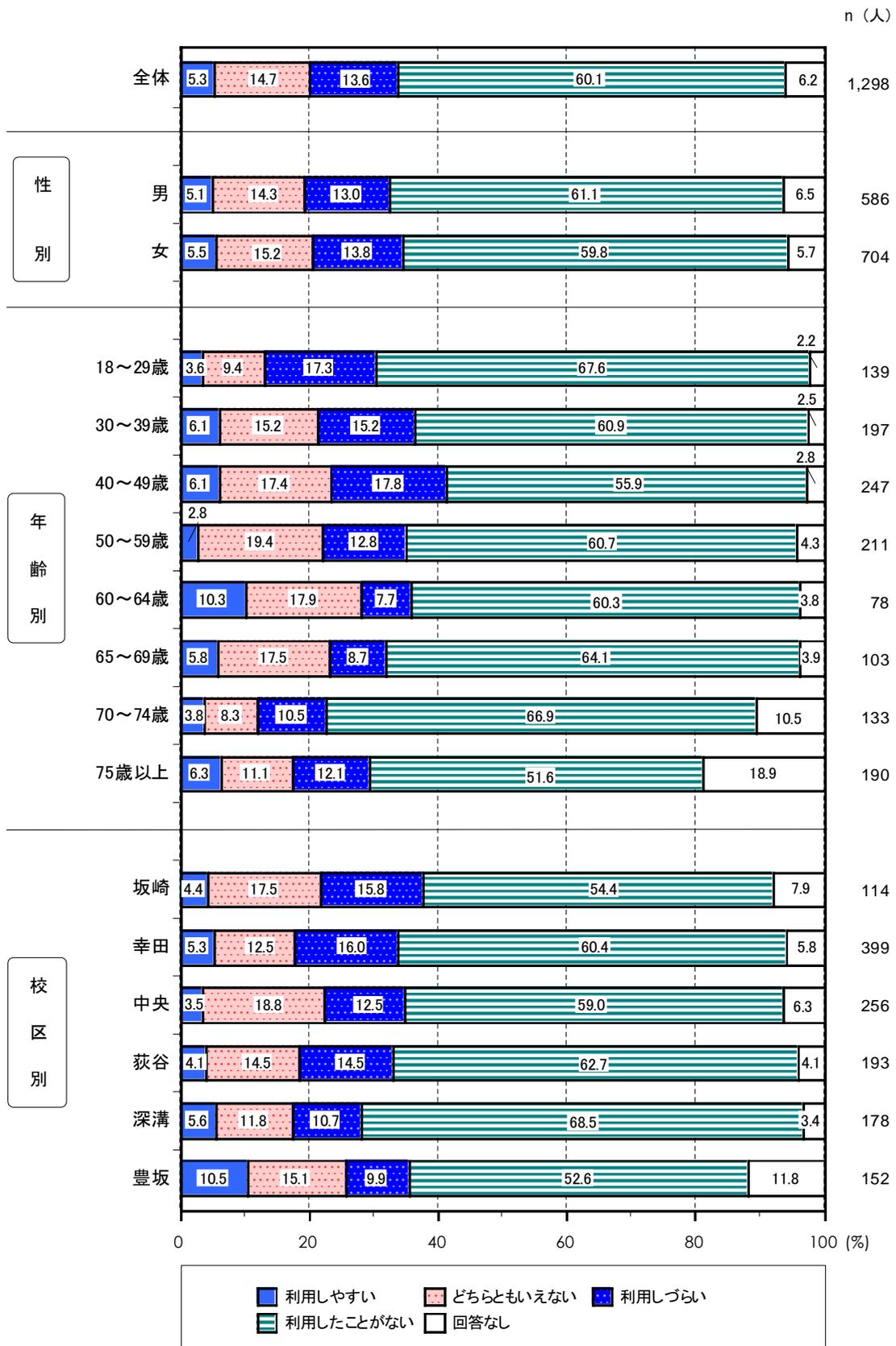


図 48 公共交通の利用のしやすさ「(4) 福祉タクシーチケット」(性・年齢・校区別)

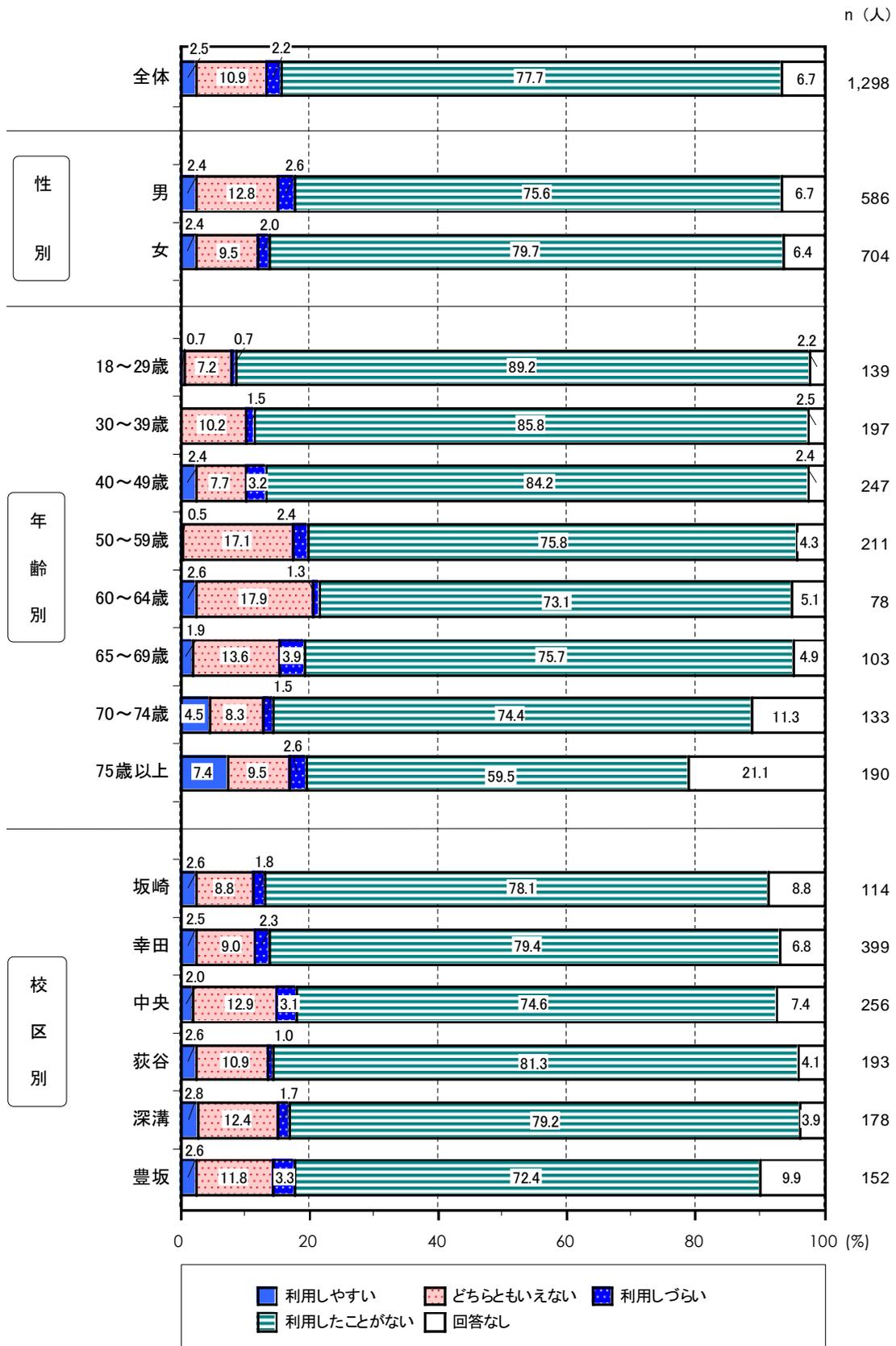


図 49 公共交通の利用のしやすさ「(5) 高齢者タクシーチケット」(性・年齢・校区別)

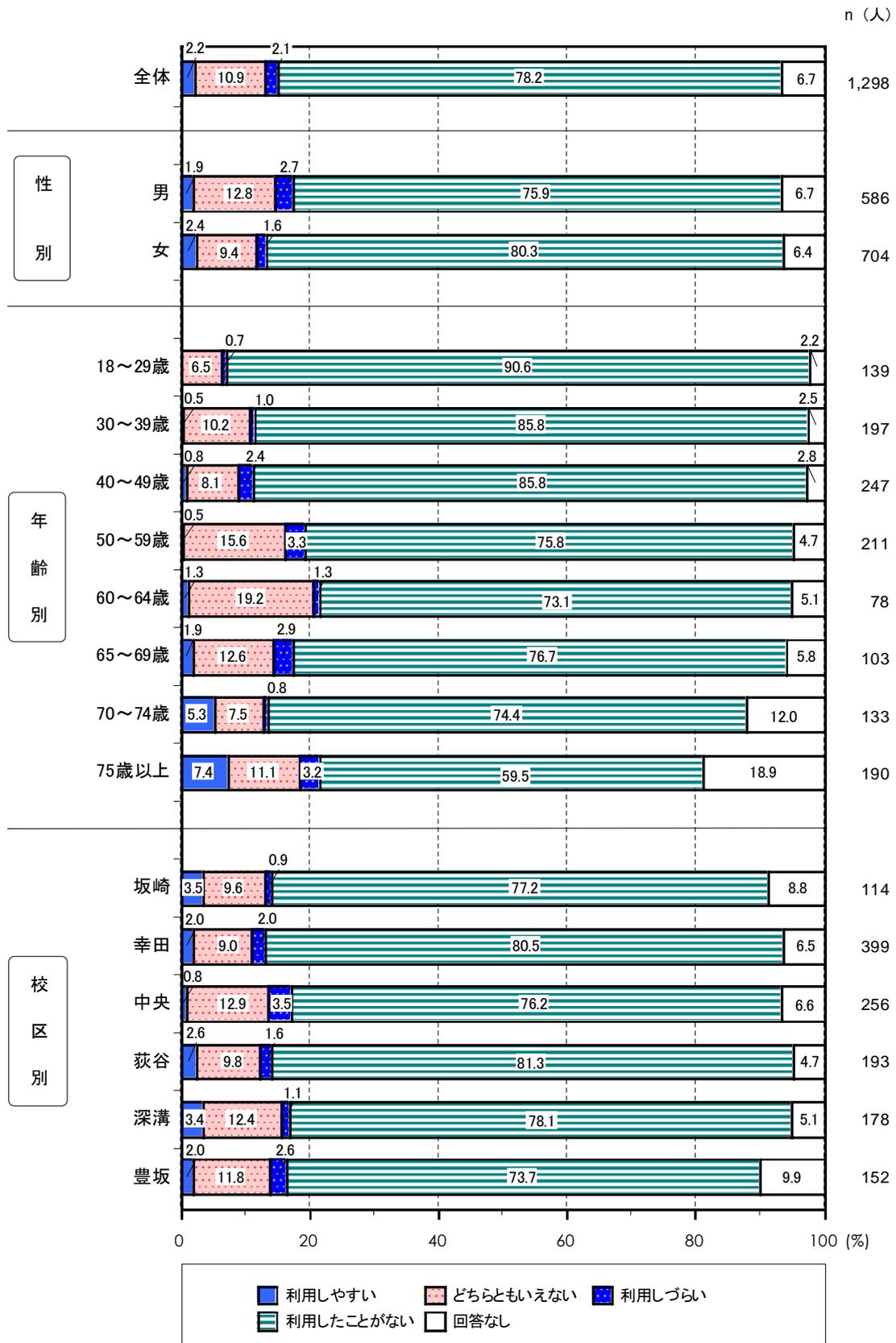
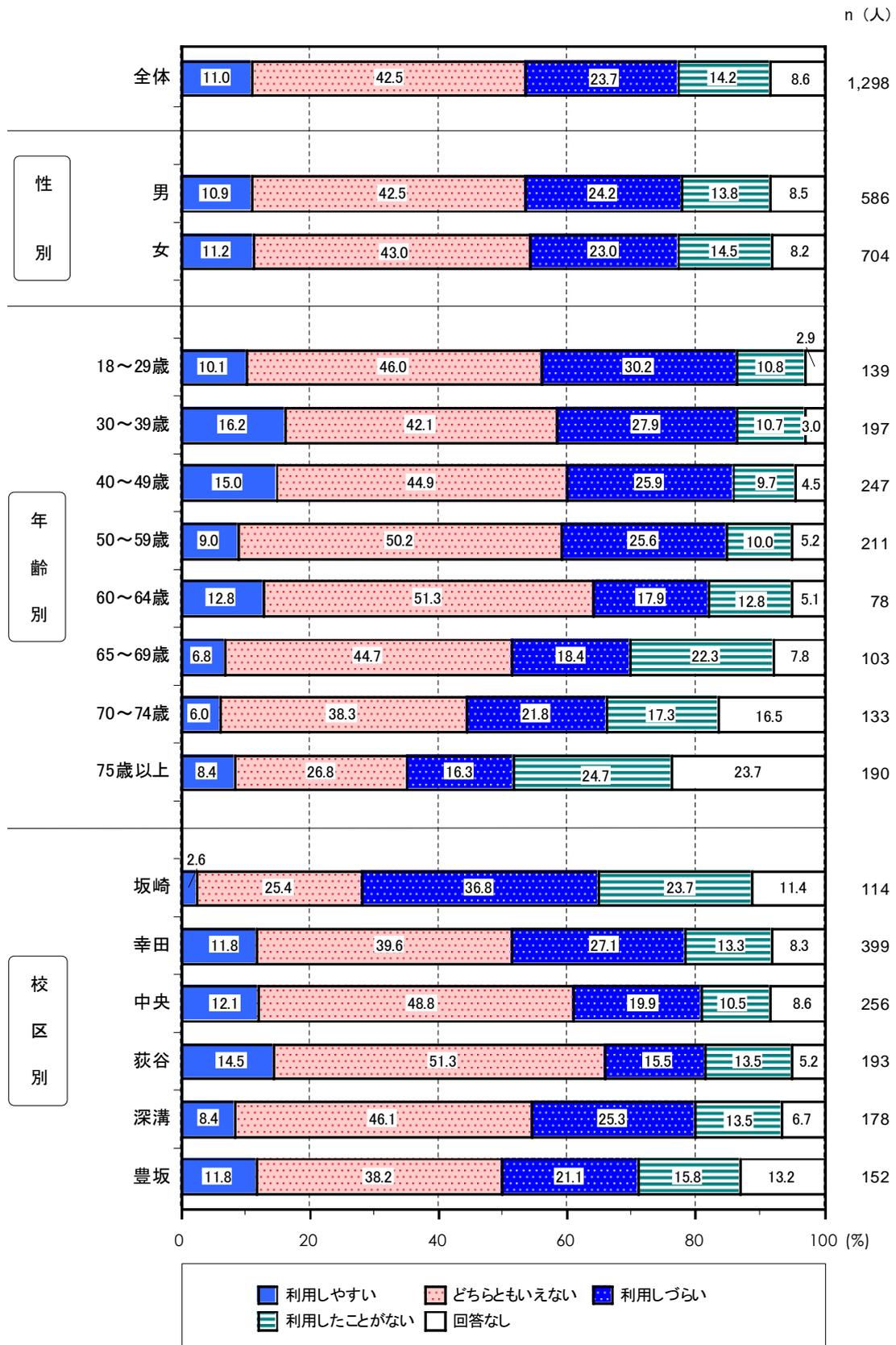


図 50 公共交通の利用のしやすさ「幸田町における公共交通全般」（性・年齢・校区別）



2 新しい移動手段の認知度（問 23-1）

藤田乗合直行タクシー並びにチョイソコといった新しい交通手段の認知度について尋ねたところ、藤田乗合直行タクシーは「詳しく知っている」（5.4%）と「名前くらいは知っている」（41.4%）を合わせた46.8%が認知しています。前回調査（令和2年度調査）では41.4%であったので、認知度は5.4ポイント上昇しています。

一方、チョイソコについては、「詳しく知っている」（4.0%）と「名前くらいは知っている」（40.8%）を合わせた44.8%が認知しています。前回調査（令和2年度調査）では27.9%であったので、認知度は16.9ポイント上昇しています。

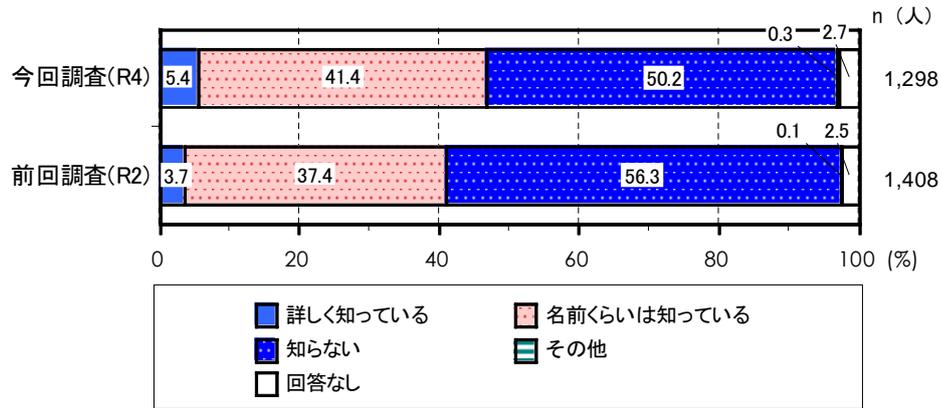
表 25 新しい交通手段の認知度（経年比較）

上段：人数、下段：%

新しい 移動手段	調査年度	n	認知度				
			詳しく 知っている	名前くらいは 知っている	知らない	その他	回答なし
藤田乗合直行 タクシー	今回 (R4 年度調査)	1,298	70	538	651	4	35
		100.0%	5.4%	41.4%	50.2%	0.3%	2.7%
	前回 (R2 年度調査)	1,408	52	527	793	1	35
		100.0%	3.7%	37.4%	56.3%	0.1	2.5%
チョイソコ	今回 (R4 年度調査)	1,298	52	529	674	4	39
		100.0%	4.0%	40.8%	51.9%	0.3%	3.0%
	前回 (R2 年度調査)	1,408	34	359	975	0	40
		100.0%	2.4%	25.5%	69.2%	0.0%	2.8%

図 51 新しい交通手段の認知度（経年比較）

【藤田乗合直行タクシー】



【チョイソコ】

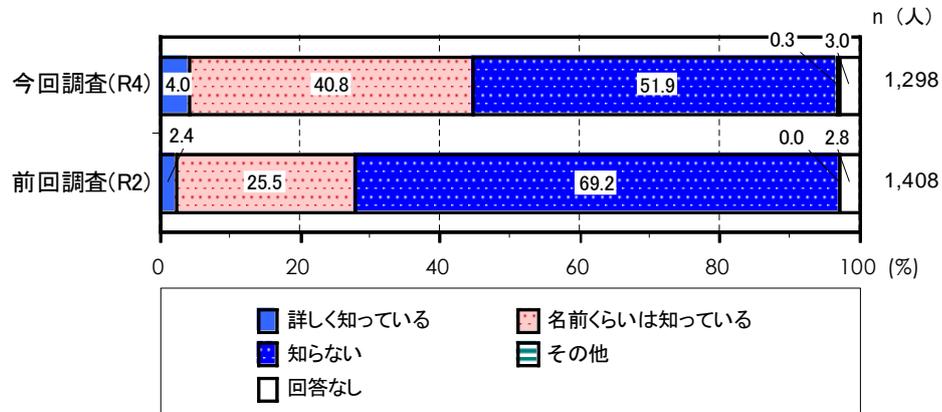


図 52 新しい交通手段の認知度【藤田乗合直行タクシー】（性・年齢・校区別）

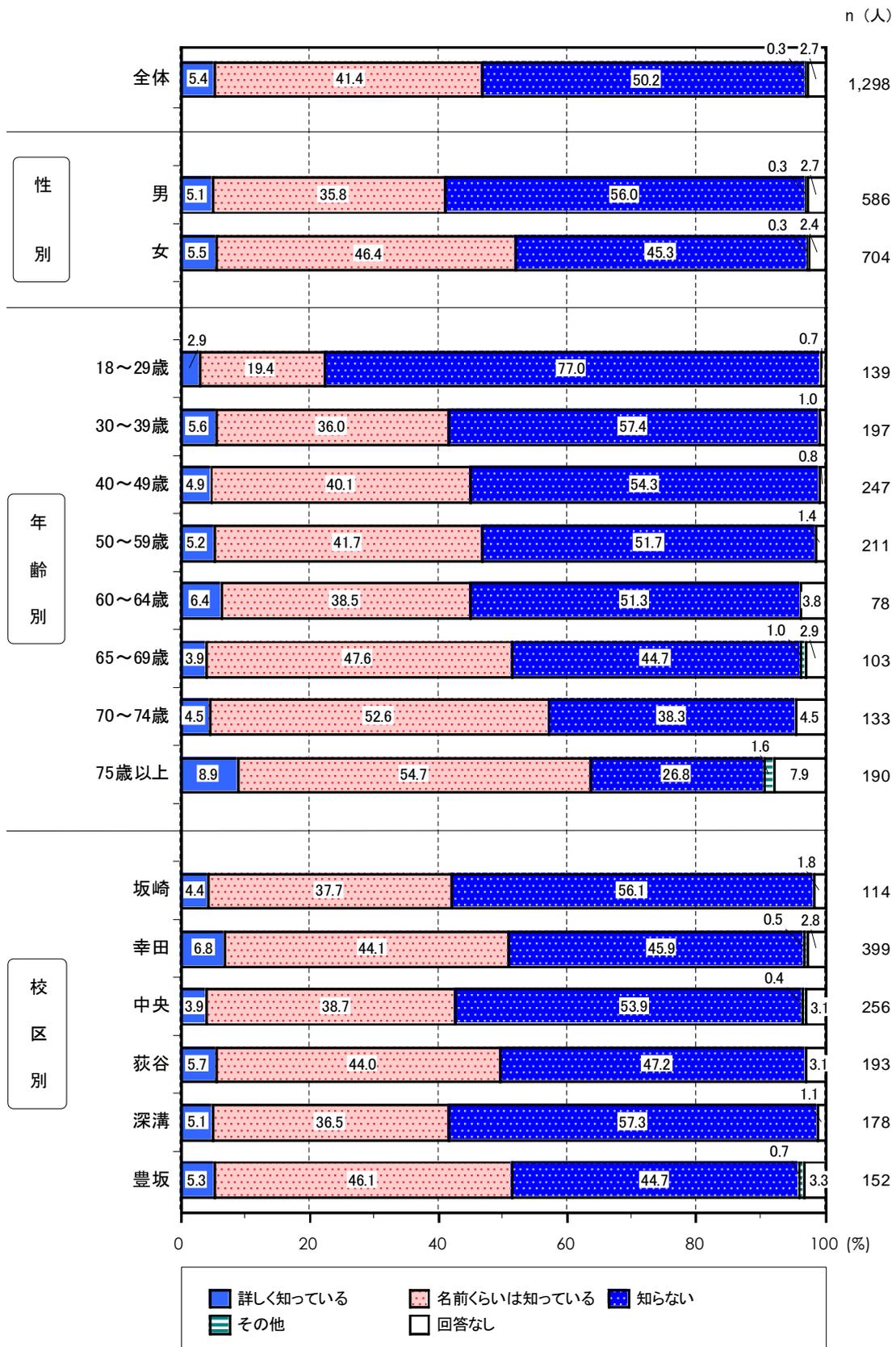
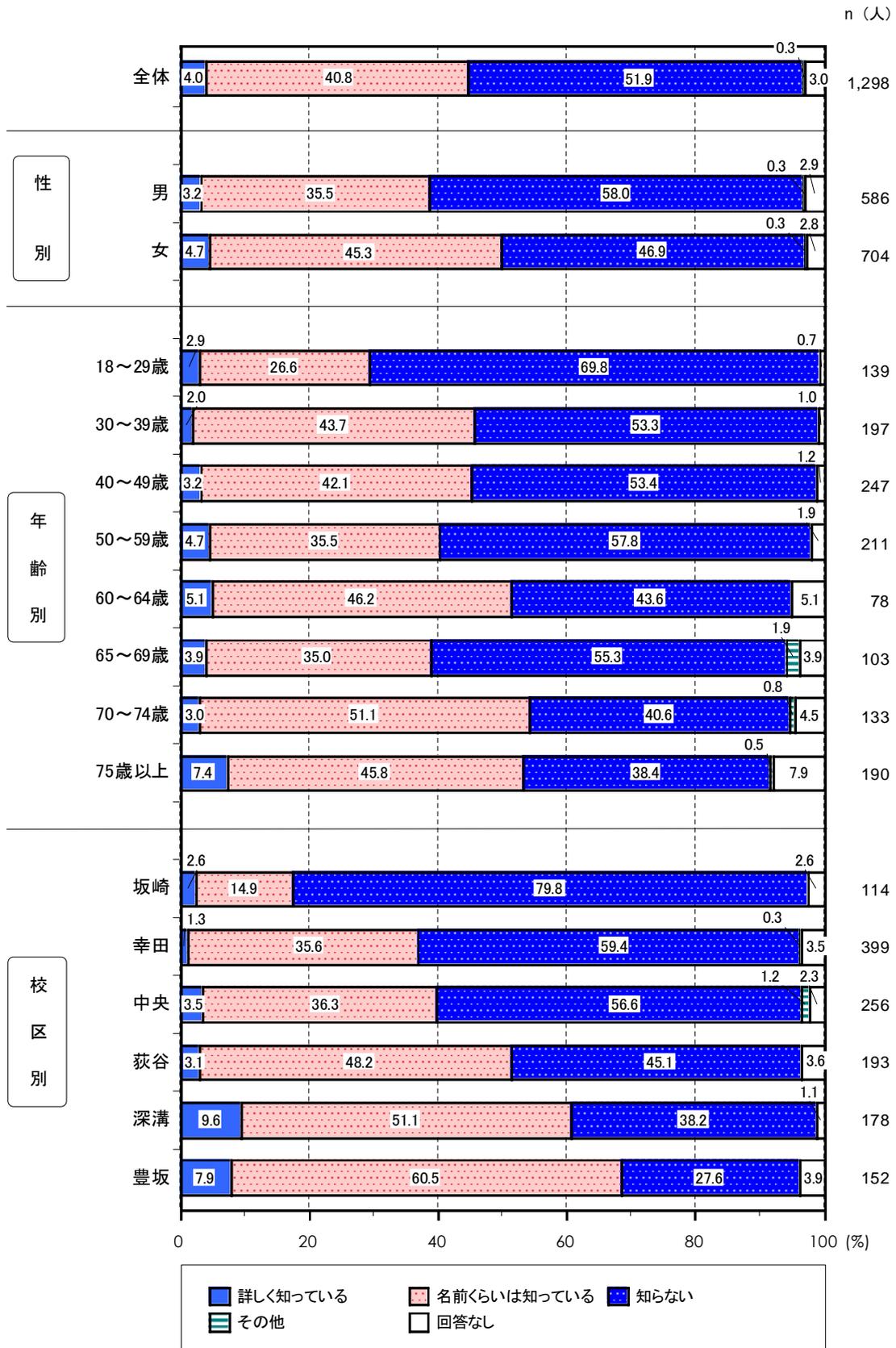


図 53 新しい交通手段の認知度【チョコイソコ】（性・年齢・校区別）



3 新しい移動手段の利用意向（問 23-2）

藤田乗合直行タクシー並びにチョイソコの利用意向について尋ねたところ、「利用したことがある」は、藤田乗合直行タクシーで0.9%、チョイソコで0.4%でした。いずれも1%未満とごく少数でした。前回調査（令和2年度調査）ではそれぞれ0.6%、0.3%であったので、利用意向はごくわずかですが上昇しています。

また、「利用したことはないが利用したい」は、藤田乗合直行タクシーで32.2%、チョイソコで21.3%という結果となりました。前回調査（令和2年度調査）ではそれぞれ30.9%、23.1%であったので、藤田乗合直行タクシーではわずかに上昇、チョイソコではわずかな減少となっています。

表 26 新しい交通手段の利用意向（経年変化）

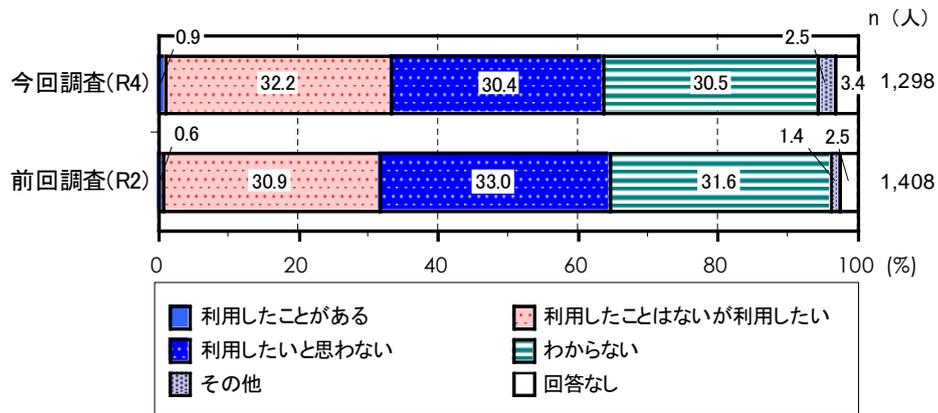
上段：人数、下段：%

新しい移動手段	調査年度	n	利用したことがある	利用したことはないが利用したい	利用したいと思わない	わからない	その他	回答なし
藤田乗合直行タクシー	今回 (R4 年度調査)	1,298 100.0%	12 0.9%	418 32.2%	395 30.4%	396 30.5%	33 2.5%	44 3.4%
	前回 (R2 年度調査)	1,408 100.0%	8 0.6%	435 30.9%	465 33.0%	445 31.6%	20 1.4%	35 2.5%
チョイソコ	今回 (R4 年度調査)	1,298 100.0%	5 0.4%	277 21.3%	362 27.9%	531 40.9%	37 2.9%	86 6.6%
	前回 (R2 年度調査)	1,408 100.0%	4 0.3%	325 23.1%	371 26.3%	593 42.1%	34 2.4%	81 5.8%

【チョイソコ】今回（R4 年度調査）		
「利用したことはないが利用したい」277 人の内訳	計 277 人	21.3%
：利用したことはないが利用したい（豊坂小学校区の方）	122 人	9.4%
：事業拡大されれば利用したい（豊坂小学校区外の方）	155 人	11.9%

図 54 新しい交通手段の利用意向

【藤田乗合直行タクシー】



【チョイソコ】

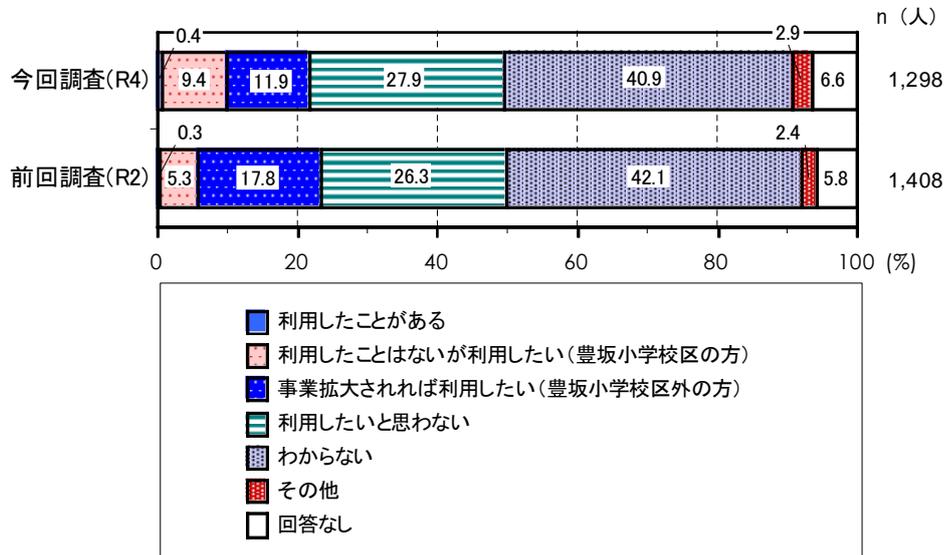


図 55 新しい交通手段の利用意向【藤田乗合直行タクシー】（性・年齢・校区別）

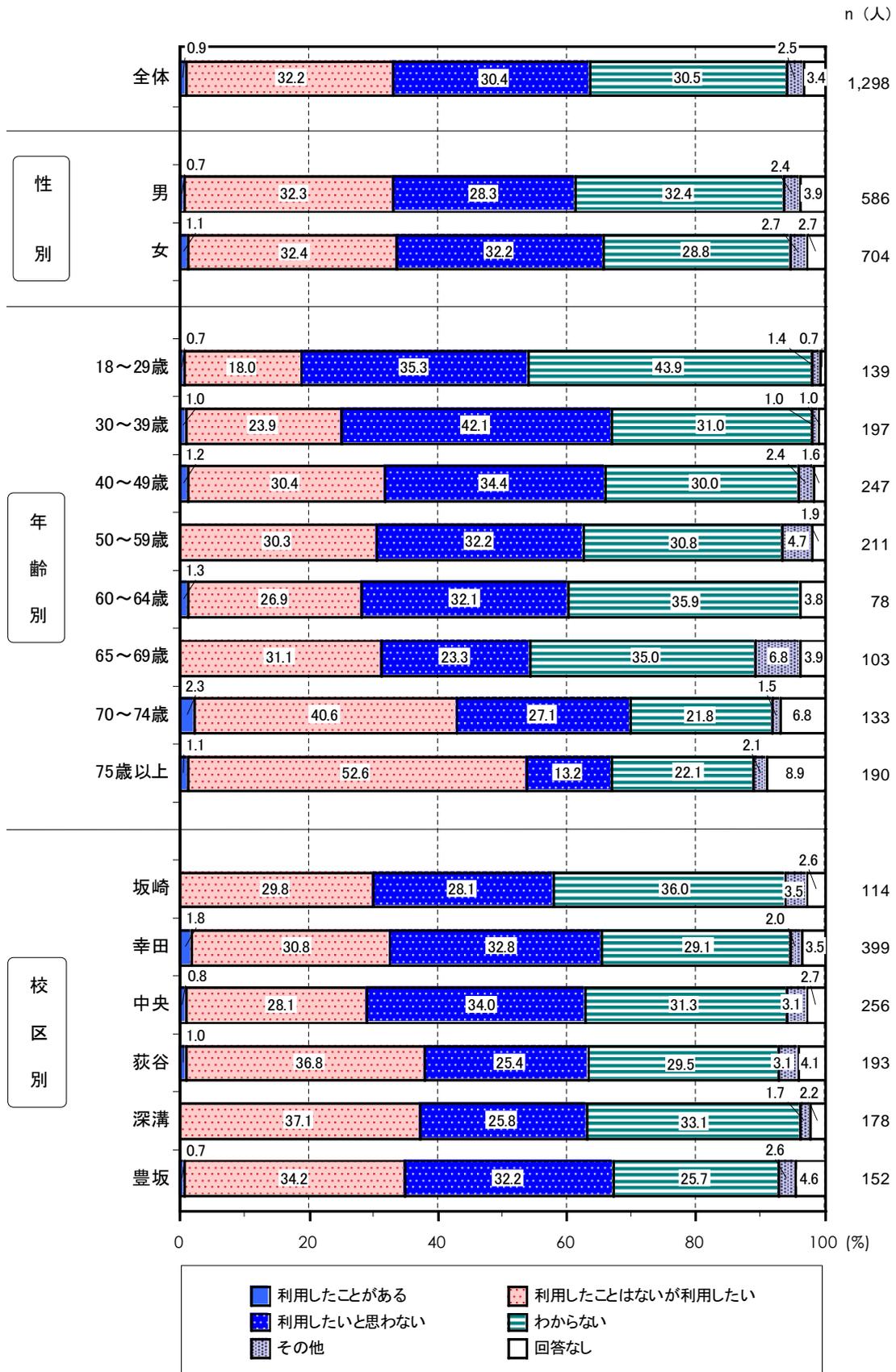
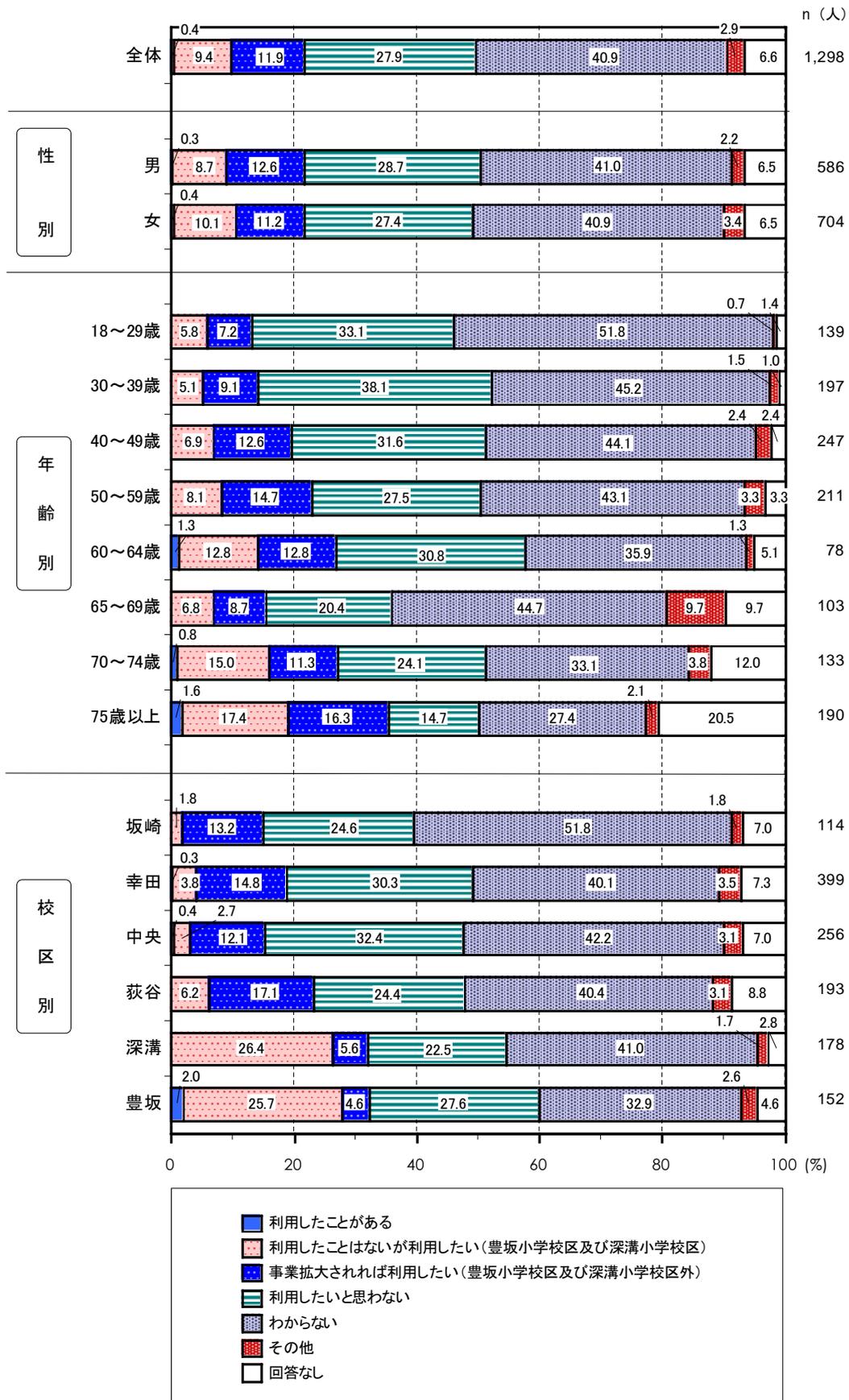


図 56 新しい交通手段の利用意向【チョイソコ】（性・年齢・校区別）



藤田乗合直行タクシー並びにチョイソコを「利用したいと思わない」と回答した方にその理由を尋ねたところ、「車など別の交通手段を利用する」（藤田乗合直行タクシー：68.9%、チョイソコ：73.2%）が最も多く、7割前後を占めました。

図 57 新しい交通手段を「利用したいと思わない」理由

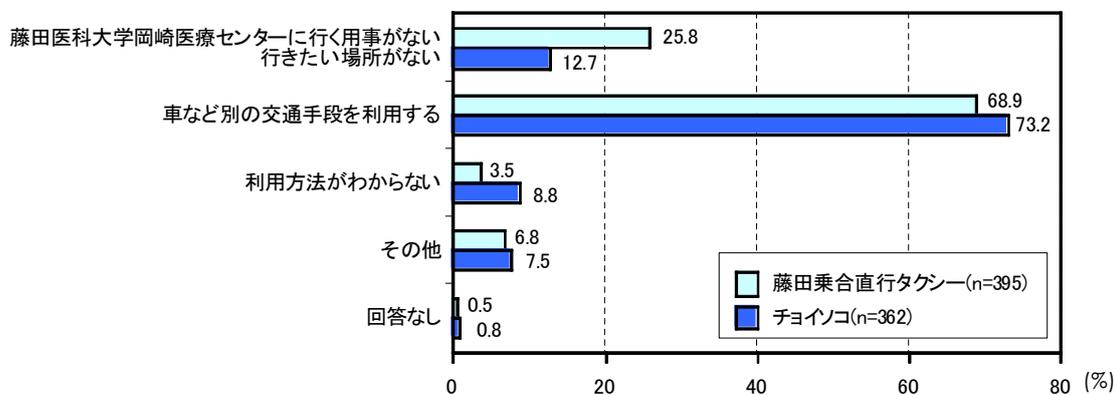


図 58 新しい交通手段【藤田乗合直行タクシー】を「利用したいと思わない」理由（性・年齢・校区別）

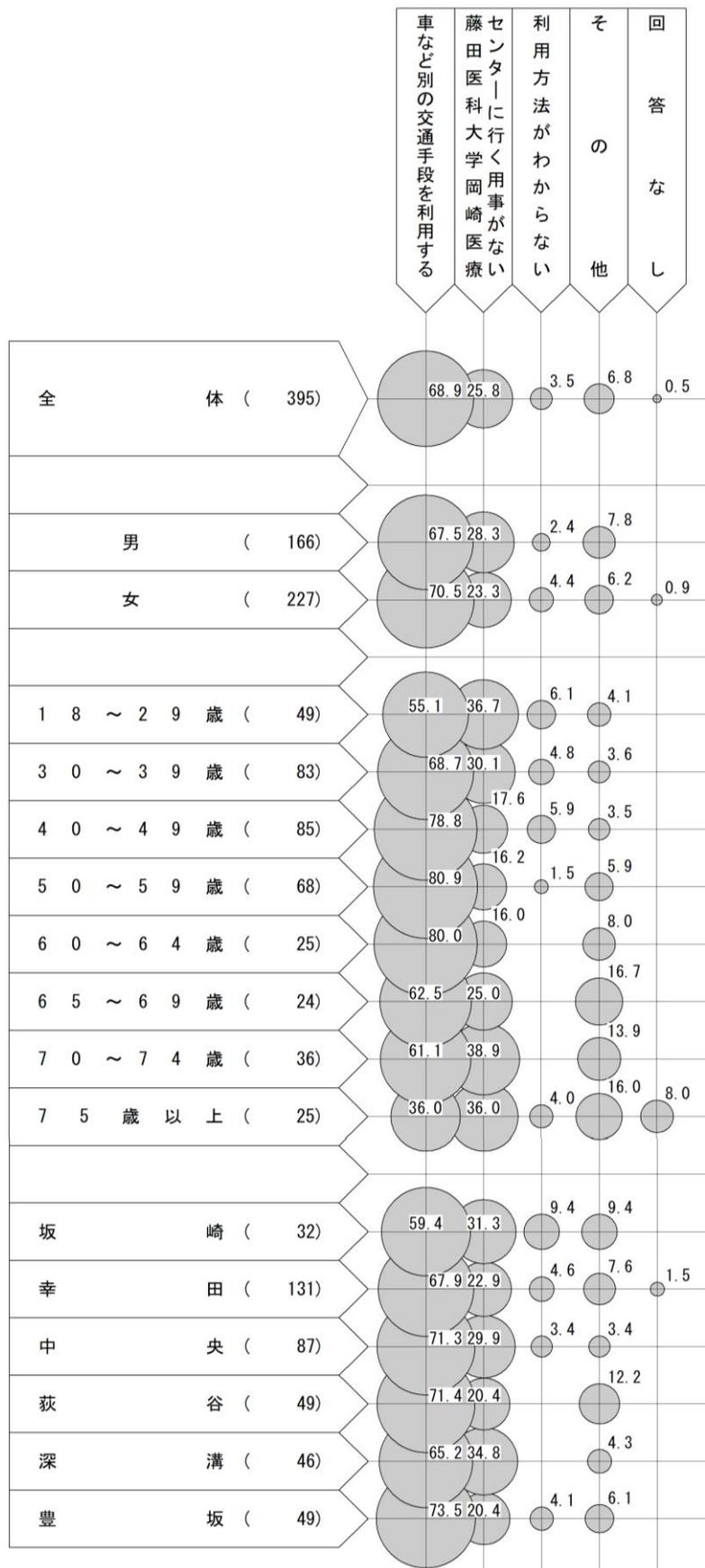
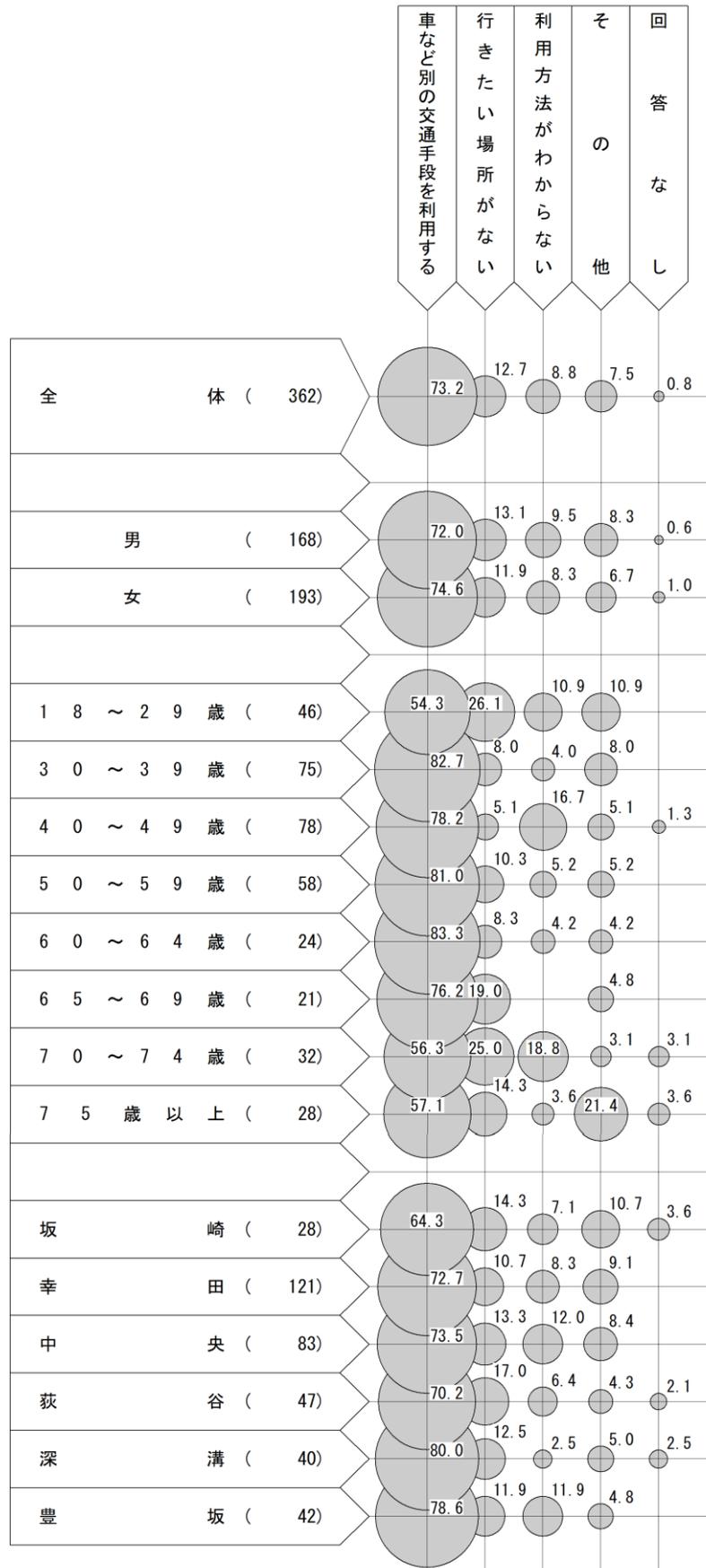


図 59 新しい交通手段【チョイソコ】を「利用したいと思わない」理由（性・年齢・校区別）



第8章 墓地の整備に関する調査結果 (問24～問27)

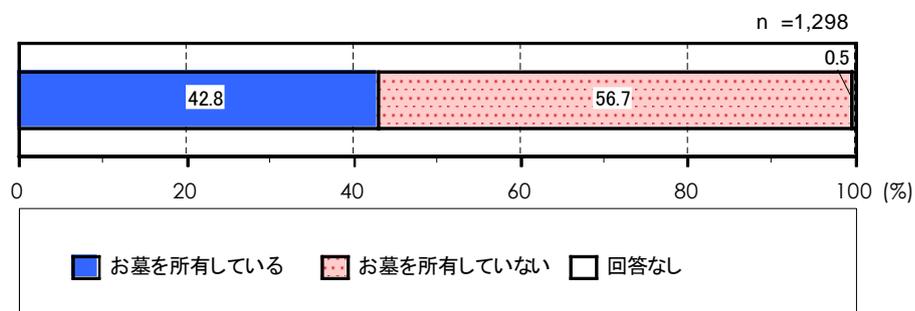
1 お墓の所有の有無（問 24）

お墓の所有について尋ねたところ、「お墓を所有している」は 42.8%、「お墓を所有していない」は 56.7%でした。お墓を所有していないが 13.9 ポイント上回っています。

表 27 お墓の所有の有無

	件数	%
お墓を所有している	555	42.8%
お墓を所有していない	736	56.7%
回答なし	7	0.5%
合計	1,298	100.0%

図 60 お墓の所有の有無



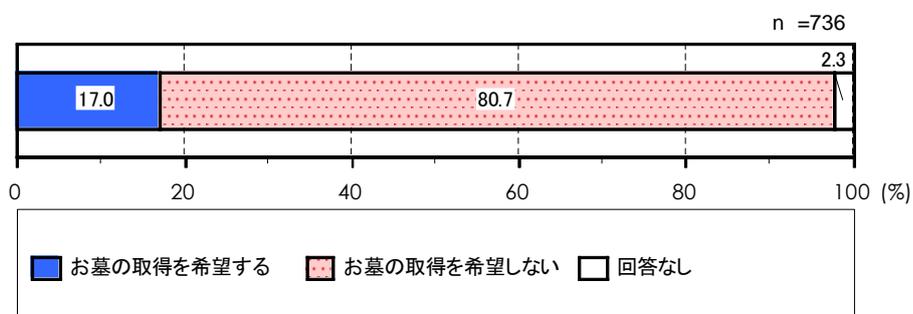
2 お墓の取得希望（問 25）

「お墓を所有していない」と回答した 736 人に対して、お墓の取得を希望するかについて尋ねたところ、「お墓の取得を希望する」は 17.0%、「お墓の取得を希望しない」は 80.7%でした。お墓の取得を希望しないが 8 割を占めています。

表 28 お墓の取得希望

	件数	%
お墓の取得を希望する	125	17.0%
お墓の取得を希望しない	594	80.7%
回答なし	17	2.3%
合計	736	100.0%

図 61 お墓の取得希望



3 希望する埋葬・納骨の形態（問 26）

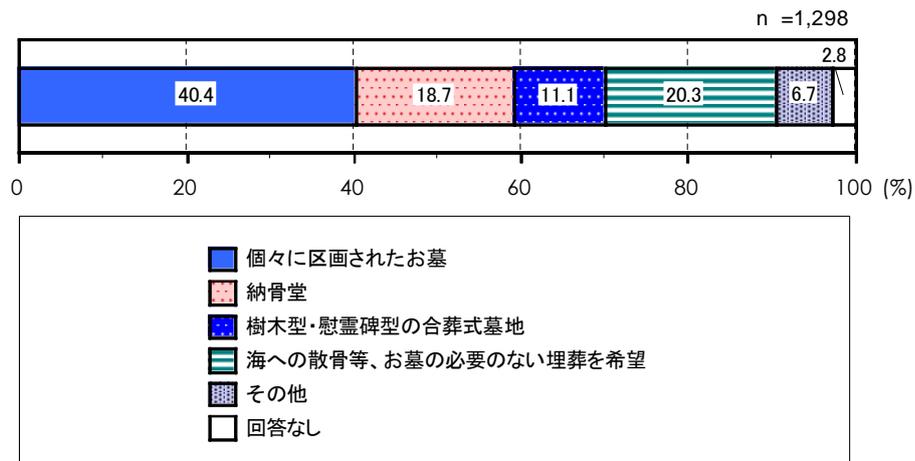
埋葬・納骨について、どのような形態を希望するかを尋ねたところ、「個々に区画されたお墓」が40.4%で最も多く、次いで「海への散骨等、お墓の必要のない埋葬を希望」が20.3%でした。

このほか、「納骨堂」が18.7%、「樹木型・慰霊碑型の合葬式墓地」が11.1%などとなっています。

表 29 希望する埋葬・納骨の形態

	件数	%
個々に区画されたお墓	525	40.4%
納骨堂	243	18.7%
樹木型・慰霊碑型の合葬式墓地	144	11.1%
海への散骨等、お墓の必要のない埋葬を希望	263	20.3%
その他	87	6.7%
回答なし	36	2.8%
合計	1,298	100.0%

図 62 希望する埋葬・納骨の形態



4 町営墓地の整備に対する意向（問 27）

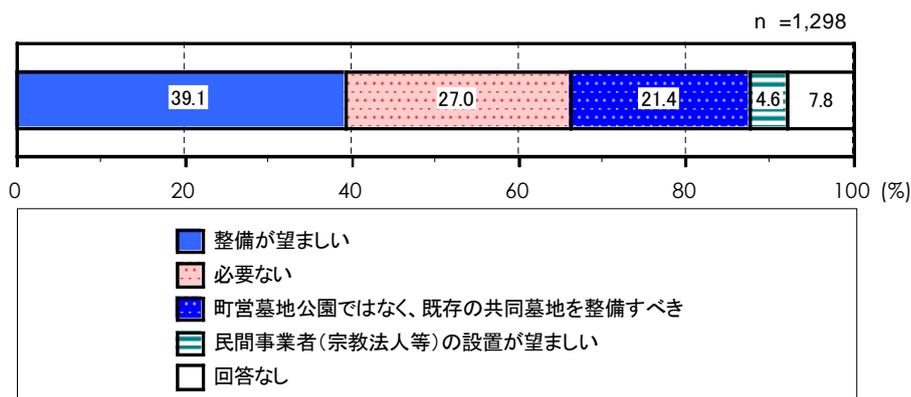
町営墓地の整備についての考えを尋ねたところ、「整備が望ましい」が 39.1%で最も多くなっています。次いで「必要ない」が 27.0%でした。

このほか、「町営墓地公園ではなく、既存の共同墓地を整備すべき」が 21.4%、「民間事業者（宗教法人等）の設置が望ましい」が 4.6%でした。

表 30 町営墓地の整備に対する意向

	件数	%
整備が望ましい	508	39.1%
必要ない	351	27.0%
町営墓地公園ではなく、既存の共同墓地を整備すべき	278	21.4%
民間事業者(宗教法人等)の設置が望ましい	60	4.6%
回答なし	101	7.8%
合計	1,298	100.0%

図 63 町営墓地の整備に対する意向



第9章 自由意見

1 自由意見

幸田町の今後のまちづくりへの御意見や御提案を記入していただいたところ、合計で 575 件の御意見が寄せられました。

表 31 分野別自由意見（件数）

基本方針	施策区分		件数
1	都市と自然が織りなす住みよいまちづくり(都市環境)		
	1	市街地・住環境	35
	2	道路・交通	83
	3	公園緑地・緑化	27
	4	河川・池沼	3
	5	上水道・下水道	1
	6	循環型社会・環境保全	22
都市環境 計			171
2	生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり(教育文化)		
	1	学校教育	26
	2	青少年育成	1
	3	生涯学習	2
	4	スポーツ	10
	5	文化・芸術	5
	6	歴史・文化財	1
教育文化 計			45
3	人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり(産業振興)		
	1	農業	5
	2	商工業	27
	3	観光	26
産業振興 計			58
4	支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり(福祉安全)		
	1	健康づくり	15
	2	地域福祉	3
	3	次世代育成・子育て支援	55
	4	高齢者福祉	18
	5	障害児・者福祉	4
	6	社会保障	1
	7	防災	11
	8	防犯・交通安全	27
	9	市民生活	17
福祉安全 計			151
5	市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり(計画推進)		
	1	参加・協働	18
	2	共生・交流	13
	3	情報共有	13
	4	行政経営	38
計画推進 計			82
6	その他		
	1	まちづくり全般	30
	2	その他	38
その他 計			68
全体			575

自由意見

1 都市と自然が織りなす住みよいまちづくり(都市環境)

1 市街地・住環境 (35件)

- ・相見駅と幸田駅の駐車場はあまり利用されているように見えないが、あんなに必要なのか。もっと有効活用出来ないか。
- ・広報こうたで三ヶ根駅の改装がよく話題に上がっているのを見るが、幸田町の玄関である幸田駅の改装の計画はないのか。多くの人利用するとはとても思えない外観である。駅近に住んでいて、町外の人を案内するのに恥ずかしく思う。また、踏切の渋滞が目につくが、ガードをつくることは難しいのか。
- ・三ヶ根駅周辺にもコンビニや小規模なスーパーが欲しい。
- ・幸田町という名前であるのに幸田駅は全く整備が進まない。幸田駅周辺の開発を早く進めてほしい。
- ・住宅地化を進め、少子化対策を急ぐべきである。
- ・調整区域を市街地へ変更することを検討してほしい。
- ・箱物をつくるには、ビルド&スクラップを意識し、別の事業などでも活用出来るものにしてほしい。
- ・駅近くの商店を早く建ててほしい。
- ・セントラルボーリングのパチンコ屋が営業していないとのことなので、その場所に子どもたちが遊べるような施設をつくってほしい。できれば親子で1歳くらいから遊べれば町も豊かになると思う。場所はセントラルボーリングじゃなくても良い。
- ・相見駅の駐車場が少し離れているため、もう少し近くに欲しい。
- ・三ヶ根駅周辺も発展させてほしい。
- ・幸田駅前の活性化、利便向上をしてほしい。駅近くに宴会、法事などが出来るホテルなどを誘致してほしい。
- ・火事のあった幸田駅前の土地を有効活用してほしい。今のままの状態にしておくのはもったいないと思う。民間業者へ可能性をヒアリングするなどやれることをやってほしい。地権者もいる中で、難しいことは承知しているが、まちづくりを良い方向で進めてほしい。
- ・幸田駅の東西周辺の環境を整えてほしい。
- ・相見駅の自転車置き場の全ての箇所に屋根があった方が利用しやすい方が増えるのではないかと思う。
- ・危険な空き家を町で撤去してほしい。
- ・幸田郵便局も小さすぎて利用しづらい。場所を変えるなどして利便性を増やしてほしい。
- ・市街化調整区域の緩和もしくは撤廃をしてほしい。
- ・幸田駅に対し、幸田町の玄関であるという意識が低いと思う。他都市から来る人たちも、スピーディーさのなさにあきれているだろう。駅前の都市計画づくり、再開発、駅前活性化政策、今後のビジョンの展開など、進めてほしい。まず駅舎の整備建て替え、周辺の開発、全快速列車の停止駅化を進めてほしい。
- ・若い世代が興味を持っているエリアなので、空き家、空き地を放置している人にいらぬなら速やかに手放すように促してほしい。手入れされていない空き家、空き地は景観が悪

自由意見

い。更地にして若い人間に買い取ってもらいたい。

- ・幸田駅前開発に力を入れてほしい。駅前にどんなものが建つのかは、町内の人にとっても町外から来る駅利用者にとっても重要だと思う。駅前がおしゃれな様子だと、町全体のイメージも良くなると思う。一度建ててしまうと何十年も変わらないと思うので、外部の人を招いて、きちんと計画してほしい。
- ・幸田駅前開発は現状で終了か。銀座通りの名にふさわしい景観にならないか。4万人越えの人口から見てもちょっとさびしい。
- ・JR幸田町付近、駐車場も含め整備して出かけてみたいと思えるような魅力的な場所づくりをしてほしい。今のままでは電車で通った時などあまりに景観が悪いのと、幸田駅に初めて訪れた人にとって、第一印象は大事だと思う。つい相見駅周辺と比較してしまう。
- ・三ヶ根駅の改修、駅前の土地を利用し、町の発展につなげる。数年前から駅周辺の整備をするという話があるが、全く進まないことが不満である。
- ・空き家などは改修などして、区画整理をすべき。
- ・三ヶ根駅周辺開発が他地域に比べて遅れているように感じる。店舗、医療機関、交通網、公園の整備など。新しい家が建ち、人口も増えてきているので、既存の施設を改修、整備し、新しくつくったりして、利用しやすくしてほしい。
- ・色々な人たちが来やすいように大きなショッピングモールや飲食店をつくってほしい。
- ・アトラクションのあるテーマパークがほしい。
- ・駅前を、もっと活気のある雰囲気にしてほしい。火事の焼け跡の土地などにスターバックスコーヒーのようなおしゃれなカフェなど、新しいお店があると良い。
- ・幸田駅近くの道路が整備されつつあり、完成が楽しみである。幸田駅がきれいになると、幸田町の格が上がると思う。
- ・幸田駅前の空き地の整備を早急にしてほしいです。特にセブンイレブンの横のスペースが草が伸び放題伸びて、視界が悪くて事故が起きてもおかしくない状況だと思います。よろしくをお願いします。
- ・とにかく駅前の景観を早く整えてほしい。セブンは残念だった。
- ・町民は「幸田は住むところ、買い物レジャーは岡崎蒲郡名古屋へ」と考えている。今のままでは町外のお客は、町内でお金と時間を使わず帰ることだろう。そのみならず町の玄関口である駅やその周辺を見て「ここは何も無い寂しい田舎」と感じるらしい。もっと町外の者の視点で街づくりを考えてほしい。
- ・市街化調整区域が多く新しい家庭が入って来づらい。
- ・市街化調整区域の見直し。

2 道路・交通 (83件)

- ・道路の適切な整備と、役場の誠実な対応をお願いしたい。
- ・えこたんバスの本数を増やしてほしい。本数が少ないのと、最終便が早いので利用しにくい。休日も運行してほしい。
- ・幸田町内にJR東海道線の駅が3か所もあるのだから、1か所くらいは駅員のいる駅が必要だと思う。
- ・県道芦谷蒲郡線で荻信号近くは整備出来たが、荻谷小までが長らく整備が進んでいない。

自由意見

途中から狭くなっているため事故が起こりやすい。車もスピードを出して走っているのに減速案内を出して規制してほしい。

- ・荒井地区の水田付近で、除草剤を散布して凸凹が著しい道や、公共水道マンホールに土が入ってつまずきやすい道があるため、対策をしてほしい。
- ・駅は町の顔であり、駅前の道路が中途半端であれば、町全体が中途半端な印象を受ける。早期の完成をお願いしたい。
- ・無償化や低賃金化など、交通機関の充実を図ってほしい。
- ・交通の便があまりよくないため、名鉄へのアクセスを良くしてほしい。
- ・幸田中学校からフィールの方までの間に横断歩道をつくってほしい。クリエイトからファミリーマートまでの辺りをつないでくれると嬉しい。あの辺りを歩いている人を多く見かけるため、必要だと思っている人は多いと思う。
- ・幸田駅前の道路工事が進まない。23号線から幸田駅前方面の道路をストレートにつないでほしい。駅前がさびれている。チェーンの飲食店も少ない。公園も小さく少ないし遊具も少ない。街灯も少ない。歩道が途切れている。駅前はゲリラ豪雨に弱い。運動場も少ない。
- ・幸田町内を1周出来るサイクリング専用道路を整備してほしい。拾石川沿いの散歩道路も整備してほしい。
- ・ベビーカーを押していると歩道のがたつきが気になる。散歩をするママさんのために歩道を整備してほしい。道路は管理整備が進んでいるため、車の運転をするのにとってはとてもありがたい。
- ・町運営の交通機関を充実させてほしい。
- ・町の中心は道路が狭くて中途半端すぎる。特に岩堀区は東西南北に行くことが不便である。
- ・高速道路までのアクセスが悪いので良くしてほしい。
- ・老後を考えると、交通機関が不便すぎる。現状では車が無ければ生活出来ない。高齢者は町外に引っ越し選択を強いられる人が多く現れるだろう。また、交通機関が充実すれば、保育園の送り迎え、小中学校のバス通学、社会人の通勤利用など、若者にも恩恵がある。
- ・道路の白ラインをはっきり敷いてほしい。
- ・交通環境の不便さが原因で、いずれ転居しようと思っている。
- ・道路の中央線が随所で消えかかっている。初心者や高齢者だけでなく町外の人にも困ると思う。
- ・えこたんバスを利用したが、無料なのはありがたいが停留所の地図がわかりにくい。乗換NAVITIMEというアプリに頼った。もう少し遅い時間まで運行するなど、さらなる最善を望む。高齢者の方向けに、一度停留所まで引率するなどした方が良いのではないかな。
- ・幸田駅から248号線の工事が長すぎる。早くきれいにしてほしい。危険である。
- ・駅前通りが狭く、歩行帯もないので安全面での不安がある。駅から東側に通る道路も拡張中だが、なるべく早く完了させてほしい。
- ・通学路の整備をしてほしい。
- ・幸田と三ヶ根のJR駅の整備をしてほしい。

自由意見

- ・幸田駅前通りの歩道の設置をしてほしい。
- ・大雨の冠水によるアンダーパス通行止めの迅速化をしてほしい。
- ・幸田駅を、エスカレーターや南北の通路を中心に整備してほしい。
- ・幸田駅よりも相見駅の方が広く使いやすくきれいである。相見駅をメインステーションにして快速などを停まるようにしてほしい。または幸田駅を大々的につくり変えてほしい。
- ・高校生の雨の日の移動手段がないため、名鉄バスなどの公共有料バスの再構築をお願いしたい。幸田駅と東岡崎駅間の名鉄バスなどの路線バスの復活を望む。
- ・少子高齢化、核家族、単身世帯、共働きが増えている現代で暮らす私たちにとっては、地域が負担にしか感じなくなっている。1980年代の地域コミュニティの考え方ではなく、ICTや合理化を進め、無理なく無駄なく町政も町民活動も行っていけると良いと思う。多様性も大事にしてほしい。具体的には、学生、高齢者にとっての交通の便の充実を考えてほしい。
- ・道路の整備をしてほしい。歩道の充実や、自転車道の設置をして利用しやすくしてほしい。町内にサイクリングロードをつくり、いくつものコースを設置すれば走りやすくなり利用が増えると思う。
- ・県道幸田岡崎線（旧248号）の岩堀区内で歩道が途切れている2か所の早期改修を望む。安全上よろしくない。
- ・工業団地を作るなら、道路整備をしてほしい。通勤が長くなったし、住宅地をかつ飛ばして運転する労働者がいて危ない。
- ・道の駅の駐車場から出られないトレーラーの運転手が可哀想だ。
- ・幸田町もこれからますます高齢者が増えると思うので、高齢者が利用しやすいように町内の交通について考えてほしい。
- ・幸田駅から248号線までの道路はいつになったら整備が終わるのか。
- ・今、シニアカーを利用する人が増えている。相見駅を利用しているが、置き場所がないので駅まで行くためにシニアカーを利用しようとしてもできない。エレベーターに近い場所に、自転車置き場のようなシニアカーの置き場所が欲しい。
- ・えこたんバスの南ルートが、バス停間の距離が長く、利用しづらく感じる。トライアルやドミーなどスーパーマーケットの近くにバス停を設けてほしい。
- ・幸田町内どこでも行けるバスが欲しい。
- ・幸田町以外にも行けるバスが欲しい。
- ・電車が普通しか停まらないから幸田駅以外も増やしてほしい。
- ・マクドナルド幸田店入出口の渋滞緩和をしてほしい。芦谷IC平日17時30分ごろ右折レーンが渋滞する。
- ・相見駅に快速が停車するようにしてほしい。
- ・幸田駅の老朽化、トイレの汚さが気になる。
- ・チョイソコが早く町内全域となってほしい。
- ・えこたんバスが通勤通学時間帯に運行してほしい。
- ・幸田駅内待合室が蜘蛛の巣でいっぱいだし、汚れが多いし、入り口のドアが開けにくく、

自由意見

壊れかかっていたり自動販売機の周りが汚すぎる。幸田駅で電車に乗る人や降りる人が一日100人や200人の人数ではないことを知っているのだろうか。

- ・バスの本数を増やせば、もっと利用する人が増えて良いと思う。
- ・相見駅に快速が停まるようにしてほしい。朝の時間に快速を増やしてほしい。
- ・道に歩道がないまま道路整備をしたり、住宅ができていて住みにくい。
- ・道をもっと広くしてほしい。
- ・凸凹道が多く、車のタイヤに良くないので、もっと進んで調査などをして、きれいな道にしてほしい。
- ・JR幸田駅について、ホームの屋根のある部分を延長してほしい。雨の日の朝、傘をささずに待てる場所に乗客が集中しすぎる。高校生が階段付近にたくさんいて、往来の妨げになっている。
- ・えこたんバスの時刻表は4路線あるが、行き先が東西南北周りとなっており、行き場所が大変分かりづらい。時刻表の方角回りや地名またはハピネスなどの施設名に変更できないか。
- ・高齢者の足、チョイソコをすぐに町内全体に動かしてほしい。
- ・歩道を整備してほしい。
- ・特に朝の名古屋方面で、相見駅に快速が停まるようにしてほしい。もしくは区間快速を増やしてほしい。
- ・幸田町内からJRの踏切をなくしてほしい。23号線があのような形であるので、難しいと思うが。
- ・自動車が運転出来ない人、免許を返納した人でも生活がしやすくなると良い。
- ・歩道の雑草が気になる。
- ・深溝小学校の通学路は車と子どもたちの距離が近く、危険だと思うので整備してもらいたい。
- ・車が運転できなくなった時の交通手段が欲しい。
- ・電車の本数を増やしてほしい。土日は岡崎で30分近く待つことがある。
- ・交通手段をもう少し良くしてほしい。
- ・幸田町深溝愛宕山付近県道483号沿いの踏切だが、幸田駅から愛宕山の信号に向かう車線側が右折をするときに、渋滞したり、追い越しをしたりととても危ないため、早めに改良してほしい。歩道も危ない。
- ・JR幸田駅の利用者数に比べて停車本数が少なく感じる。快速がもっと停まるようにしてほしい。
- ・えこたんバスの時間をもう少し朝早く、7時くらいからの便と、帰宅時間の18～19時台の便もつくってほしい。
- ・幸田駅前の道路を何年も工事しているが、中途半端に標識などが立っているので危険に感じる。早急に工事を進めてほしい。
- ・通勤時に電車が止まると非常に困るため、岡崎駅までのバスがあれば助かる。
- ・町民会館への直行バスを充実させてほしい。

自由意見

- ・歩道や通学路を整備してほしい。
- ・危ない運転をしている高齢者をよく見かける。車が無いと不便な地域であるため、免許の返納率も低いのではないかと思う。地域バスやタクシーも、役場や病院だけでなく、スーパーや薬局へ行くコースや本数、曜日や時間帯などを考慮した方が、安心して利用出来るのではないか。
- ・幸田駅を新しくしてください。トイレなど全体的に古すぎます。エスカレーターや空調を完備した待合室が必要かと思います。また、駅周辺ももっと商業施設を増やした方がいいです。幸田駅前なら〇〇あるよね！みたいにもっと人が集まる環境の整備が必要かと思います。
- ・線路を挟んだ東西の交通の便をよくしてほしい。車道と歩道を分けるように整備する。
- ・幸田駅の改札が南側のロータリーにつながれば、駅前の混雑が解消できると思います。ご検討よろしく願いいたします。
- ・相見駅のロータリーを駐車場代わりにしている車が存在している。
- ・相見駅は快速が止まらないので不便。
- ・幸田駅周辺から芦谷交差点までの道路を何とか早く整備してほしい。
- ・幸田駅にもう少し快速(の本数)が停まるようになってほしいです。
- ・歩道の整備。
- ・幸田駅近くの商店街のところが歩道が狭く、車及び歩行のどちらで通る時も危険を感じるので対応していただきたいです。
- ・自転車専用通路……これからさらに自転車の取り締まりが強化されてくると思うのですが、自転車専用道路をしっかりとってほしいです。生徒たちが車道を走るってとてつもなく危険です。田舎では歩道を走るより車道を走るほうが危険。自転車のルールがしっかり理解されてないからそれで警察に注意以上のことになれば、学校で停学等の処分になったら人生狂っちゃってかわいそすぎる。土地があるうちに自転車専用通路を幸田町全域にお願いします。
- ・狭い道路、農道の灯り確保。歩道の整備、確保。

3 公園緑地・緑化 (27件)

- ・もう少し公園がほしい。主に荻区に。
- ・子どもの遊び場が少ない。保育園やゲートボール場も利用出来ると良いと思う。近所の公園は人目が少ない所にあるため危険に感じる。
- ・公園が多くて助かるが、芝生のある公園や、1歳過ぎくらいの子どもの遊ぶような遊具がある公園が地域に1つあれば良いと思う。
- ・豊かで美しく整備された自然を後世に残すよう、努力してほしい。
- ・幸田町は好きだがよく岡崎市を利用している。理由は岡崎市の方が公園が充実しているからである。岡崎市の公園は屋根付きのテーブルと椅子、汚れた手を洗えるきれいな手洗い場、冬でも寒くないおむつ交換スペース、強風を一時的にしよげる多目的スペースのような空間がある。車があれば、近い町内の公園よりも遠くの岡崎の公園の方が、親として便利だし利用しやすい。キッチンカーやカフェなどは求めないが、最低限年中外遊びがしたい子どもが利用しやすい公園にしてほしい。

自由意見

- ・産業の誘致だけでは、緑化の面でもあまり良くないと思う。
- ・町の自然のある場所に目や関心を向けてほしい。幸田町は素晴らしい町であるから。
- ・竹ノ下公園にある山をなんとかしてほしい。あま池公園のように、滑り台を取り付けるなどしてほしい。また、竹ノ下公園の横にあるガードレールを全部つけてほしい。
- ・中央公園の利用者が休憩出来る喫茶店はいつ出来るのか。庁舎内のレストランとの兼ね合いはどうなるか。庁舎は安易に入りにくい。
- ・中学生、大人が運動でき、大人でも安心安全な場所がほしい。公園で幼児～中学生まで遊んでいると危ない。
- ・大きめの公園をつくってほしい。中央公園は大きいけどグラウンドがメインでサッカーの試合などがあると駐車場が無い。小さな子から大きな子が一緒に行って一日ずっと遊べるような所や、遊具がほしい。例としては、安城の堀内公園、半田の半田運動公園みたいな公園があったら最高。
- ・幸田町に住み始めた頃から比べると、人口も増加し工場なども多くなり幸田町としては発展してきたと思うが、一方で田畑が減少し幸田町特有の四季の豊かさが失われて行く気がする。緑豊かな幸田町であってほしいと思う。
- ・豊かな自然と買い物などの利便性も素晴らしい町だと思う。シルバー世代の方に、自然のお手入れなどにこれからも活躍してもらい、雇用の機会を安定させつつ、公園なども含め自然を維持してほしい。
- ・水遊び、芝生がある公園があると良い。
- ・緑の豊かな地域で、土地区画整理などで若い層も増え、子どもたちも増えてきている。子どもたちが遊べる施設を増やしてほしい。例えば、岐阜にある「木育ひろば」、東京や静岡にある「木のおもちゃ美術館」のように、木のボールプールや、木のみを使用した遊具がある、木のおもちゃに特化した施設など。
- ・公園の遊具も大きな複合遊具や、小さいブランコや低い滑り台など、3歳以下の子どもも遊べる遊具の公園を増やしてほしい。幸田中央公園にも小さい子が遊べるエリアがあると嬉しい。公園は町内に沢山あるが、そういう場が少ない。
- ・相見駅周辺の公園について、基本的に遊具が2歳後半くらいからしか遊べない所が多いので、1、2歳の子どもでも遊べるような、小さな滑り台等の遊具もあると嬉しい。蒲郡の水竹公園のような、サンシェードや囲い付きの砂場がほしい。
- ・幸田町民会館と図書館は、周りの市の人からも評判が良いので、その近くに子どもたちが遊べる遊具が沢山ある公園があれば良いと思う。
- ・公園の遊具の新設をお願いしたい。近隣の市や町の方が魅力的な公園が多く、幸田町の公園をあまり利用していない。もっとこんな公園が近くにあれば良いのにと思いながら遠くの公園に足を運んでいる。最近だと、安城の油ヶ淵公園の遊具がとても魅力的だと思った。
- ・岡崎の駅南中央公園のような大人も子供も楽しめる公園をつくってほしい。楽しく一緒に運動したい。
- ・スターバックスコーヒーと大きな公園がほしい。
- ・岡崎市や安城市のような小さな子供を連れて行ける大型遊具のあるスポーツも出来る公園があるとうれしいです。

自由意見

- ・岡崎の南公園や東公園みたいに1日いても楽しめる公園があったらいい。
- ・子育て世代の為、その目線になってしまいますが、子供の遊べる公園が少ない。遊具が少ない。小規模な公園はちらほらありますが、豊田市の鞍が池のような公園を作ってほしい。中央公園も中途半端…夜も照明がない為、自前で照明を用意してクラブ活動している。また、雨の日に遊べる施設も少ない為、充実させてほしい。
- ・中央公園の整備もお店誘致ではなく駐車場なのも残念。学区内の人ぐらいいは歩いて行けばよいと思っている。
- ・花で笑顔が溢れる場所を提供したいです。
- ・自由に借りられる体育館と広々とした憩いのある公園を増やしてほしい。

4 河川・池沼（3件）

- ・小河川の汚れが目立つようになってきている。
- ・河川の整備を強く希望する。川の中に1メートルくらいの草が毎年生える。近隣住民が川に入って草刈りをしているが、泥の掃除を業者に依頼してほしい。
- ・ヌートリア……役場に報告済みですが、スーパーオークワ横の川、海谷ちびっこ広場うしろの川にヌートリアがいます。子供たちにケガさせないためにも対策してほしいです。増殖させないこともお願いしたいです。今週、オークワのとなりの川で中学生2人が川に入って釣りしてたし。学校で「ここはヌートリアがいるので注意してください」ぐらいいは指導してほしいな。

5 上水道・下水道（1件）

- ・えこたんデザインのマンホール。

6 循環型社会・環境保全（22件）

- ・いらなくなったものをリサイクルする仕組みを町全体の地域活動に育てたら、喜ぶ人が沢山いるのではないか。
- ・林道と農道のごみの撤去と再発防止の徹底をしてほしい。
- ・ごみステーションが24時間利用出来る所がほしい。地域によって鍵がかかっている、ルールが曖昧である。夜勤者もいるため、その人の気持ちも考えてほしい。
- ・総合ごみ処理場の設置をしてほしい。その熱を利用してヘルスセンターをつくってほしい。
- ・個人で行っている野焼きのにおいなどが気になる。
- ・自宅から不燃ごみ置き場までが遠すぎる。
- ・許可のない野焼きに対して罰則をつくってほしい。
- ・町営墓地を整備してほしい。
- ・草や木を畑で燃やすのはやめるべき。燃えるごみの袋に入れて出すべき。
- ・町指定の山桜があると思うが、今は町内の山々に竹が繁茂し、その他の杉・桧・雑木も瀕死の状態だ。一日も早く行動してほしい。
- ・大草の大池から桑谷に抜ける林道を利用しているが、近頃ごみが捨てられているのを見かける。車窓から投棄したとみられる飲食のごみである。林道も手がなかなか入らないのかうっそうとしている箇所があり、今後どうなっていくのかと思う。

自由意見

- ・23号線のインター乗降区間のごみを回収してほしい。とても汚い。
- ・プラごみ等の捨て方は変えてほしい。平日の決められた時間では、捨てに行けない。朝が早く、決められた時間に捨てに行った場合、会社に遅刻する。せめて、休日の持ち込み先や、前日の夜に持ち込める場所などを用意してほしい。
- ・「燃やすごみの指定袋」のように、プラごみ専用の指定袋をつくってほしい。分別ステーションが遠く不便なため、燃やすごみステーションにプラごみを出せるようにしてほしい。
- ・豊田市やみよし市のように、いつでも分別ごみを捨てられる場所があると大変ありがたい。
- ・コバエ対策をしてほしい。特に梅雨の時期はひどい。
- ・住民による野焼きを廃止してほしい。
- ・朝しかゴミが捨てられないのは、社会人には厳しいです。時間指定も厳しいです。
- ・ごみ置き場での監視カメラの設置を本当にお願ひしたい。年末年始は収集日1週間ほど前からゴミでいっぱいになっていて、衛生的にも見た目も悪い。
- ・貴重な自然を残すことが最優先。
- ・横落のいちご農家さんの野焼きへの対応をお願いします。去年の6月に、野焼きによる公害被害で役場の環境課に行き対応をお願い、問い合わせをしましたが、野焼きをしている時でないに対応できないと言われました。その後、直接野焼きをしている方に直談判しました。「6月中は野焼きをする。248号線に煙が行かないような風向きで燃やしているので住宅側に煙が行ってしまう。申し訳ない。」と言われました。
住居の周りが霧が覆われたような煙になり洗濯物も干せません。エアコンも外の空気と循環するため使用できません。
喘息があり、呼吸するのもままならない状態に何度もなりました。午前6時には野焼きが始まり夕方まで臭いに悩まされています。
野焼きを完全に撲滅してほしいとは言いませんが、住宅に煙がくるような状態になるのをやめていただけるよう声掛けをしていただけませんか？
野焼きのルールとして、近隣住民の迷惑にならないようにしましょうと記載されているのを見ましたが対応していただけないのでしょうか？
248号線に煙が行かないようにするのが幸田町のルールで、近隣住宅に煙が行くのはしょうがないことなののでしょうか？
野焼きによる健康被害が理由で住みやすい幸田から引っ越さなくてはならない状況だと思っています。
何卒今後のまちづくりで対応していただきたいです。よろしくをお願いします。
- ・外壁塗装助成金や省エネ家電購入補助金など、他の自治体にはあるけど幸田町にはないものが結構あると感じます。導入のご検討いただけたら住民として嬉しいなと思います。”

2 生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり(教育文化)

1 学校教育 (26件)

- ・小中学校のオンライン授業の対応が遅すぎると思う。
- ・部活動の自由化により家庭による差ができてしまう。親の負担が増える。
- ・学校でパットやパソコンがあるのに、コロナ感染時などの休みの際に利用していない。

自由意見

園、学校給食のアレルギー対策が、他市に比べて遅れているように感じる。アレルギー対応給食の拡大をお願いする。卵や牛乳については代替食の提供や給食費の減免があるのに、その他のアレルギーには何も支援がなく、不平等に感じる。小麦アレルギーの子どもがいるが、月の献立の約半分は自宅から代替の食べ物を持ち込んでいるのに、他のアレルギーのない子と同額の給食費を支払うことに負担感がある。ご一考をお願いする。

- ・学校から塾や習い事、スポーツなどに通えるようなシステムづくりをしてほしい。
- ・教育委員会がもっと教師の指導及び解雇を視野に入れてほしい。
- ・子ども課と町教委の考え方が結構違うんだなと思うことが多々あった。同じ子供を育む場所なのに、「保育する」と「教育する」で、大本の考え方がとても違う。
- ・子育て世帯の人が増え、多くの土地に家が出来て、自身も家を建てたが、小学校があまりにも遠い子が多く、通学が心配。スクールバスや新しい学校があれば安心できる。
- ・コロナで学習の機会を奪われても、なかなか通信学習が進んでいない。費用面だけでなく、きちんと実施出来るようお願いしたい。タブレットを基本的に学校に置いているし、休む連絡をして家にいるだけでは、何のためにタブレット導入したのか。
- ・小中学校の自宅で、リモート授業が受けられる体制を早く整えてほしい。一人一台タブレットを持つことが出来たのに、その先が進んでいない感じがする。コロナや不登校でも、リモート授業が受けられると親としてはありがたい。
- ・コロナが5類になるならまずは子どもたちの教育現場から見直してほしい。一度しかない小学校、中学校生活、マスク姿しか見たことないのは可哀想だ。先生からマスクを外して、早くマスクがない学校生活にしてほしい。
- ・深溝小学校のプールを取り壊して町民プールへバスに乗って行くとのことだが、移動時間がもったいなと思う。バスに乗ることが増える低学年の子どもたちのサポートをしっかりしてほしい。
- ・給食が食べられる所をつくってほしい。
- ・学校の給食エプロンをしわになりにくい素材にしてほしい。親がアイロンをかける手間がなくなるのと、常にきれいな状態で着られる方が見た目も気持ちが良いと思う。
- ・中学校の制服の素材をもっと動きやすく機能性のあるものにし、お値打ちにしてほしい。汗をよくかくのに洗うのが大変なのは不便だし、洗い替えが買えるくらいの値段にしてほしい。成長期でサイズも変わってくるので、値段が安ければ自分に合ったサイズに買い換えしやすいと思う。
- ・小学生のランドセルは素材も重くて硬く、子どもにとって負担が大きい。中学校みたいに、学校共通のリュック型の鞆をつくってほしい。入学準備の金銭負担も減って良いと思う。
- ・「右へならえ」の精神を撤廃するような取組をどの町よりも先に行ってほしい。
- ・豊坂中学校から、幸田中学校と幸田南部中学校への進学を撤廃してほしい。
- ・子どもたちのマスクを早く外して良い雰囲気をつくってほしい。
- ・給食に有機の食材を使ってほしい。
- ・小学校での不登校やいじめの問題について、先生や小学生も過ごしやすいように今の時代に合った教育や方針にするべきである。いじめ問題も、昔と同じではなく、SNSやケータイ

自由意見

を利用したケースもあり、親も気づけないことが多い。もっと幸田町全体でフォローしたり施設をつくり、学校に行けない子どもを支援する所をつくるのも良いと思う。宿題の多さも、子どもも親も負担に感じる。先生もチェックするのが大変だから、もっと子どもにのびのびさせてほしい。

- ・学校給食をオーガニック食材に変えて、米飯の時は牛乳をやめてほしい。
- ・学校教育を充実させる。そのために、教員の働き方改革をし、力のある人材を十分に確保することが必要である。
- ・子供教育(冷暖房など設備の充実や最先端の教材など)も他の市に遅れをとらない教育支援をお願いしたいです。
- ・子育て世代ということもあり、子供中心の意見となってしまいますが、今ニュースでも取り上げられている意味のよく分からない校則等が多い気がします。
- ・体育のある日は体操服を着用して登校←汗をかきます。夏場は背中をあせもがかなり酷くなり、皮膚科へ通い詰めます。着替えさせてほしいです。
- ・冬場の体操服は半袖半ズボン←寒いです。防寒させるべきです。暑くなれば自分達で脱ぎます。風邪を引いて熱が出たら今のご時世は親も仕事を休まないといけません。
- ・制服は決まったものを着用←LGBTなどの多様性に合わせるべきです。きちんと制服を着る事はもちろん守るべきですが、己の性を見たく目で判断させるような事は今の時代あってはならない事かと思えます。
- ・フリースクールの強化←我が家の子供は元気に学校へ通っていますが、今後どうなるかわかりません。保健室登校は疑問に思います。なぜ、いじめられた被害者が教室で勉強をする機会を得られないのか、等です。フリースクールを町として運営してほしいです。きちんと授業をうけさせてあげてほしいです。
- ・岡崎市の福岡中学校の制服とフリースクールはとてもいい取り組みだと思えます。しかし、幸田町民は福岡中学校のフリースクールへ通う事が出来ません。どうかご検討いただけたらと思います。
- ・小学校の人数が多すぎると子供の成長の機会が減るのが心配。また、コロナで登校できない場合は在宅で授業を受けられるようにしてほしい。

2 青少年育成 (1件)

- ・高校生以上の人に向けた支援がほしい。

3 生涯学習 (2件)

- ・資格を取得するにあたっての支援などがあったら良い。大人になって資格を取ろうと思うと、仕事をしながらではなかなか難しいこともあり、学べない方もいるのではないか。特にフルタイムの仕事をしながらだと集中出来ずもどかしい。
- ・線路の東側に大手の塾がなく、西側にもないので、豊坂、深溝の子どもたちは自分で塾に行く事が難しい。

4 スポーツ (10件)

- ・体育館を建ててほしい。コロナ前はデンソーの体育館が利用出来たが、今は出来なくなった。
- ・町内に公園やグラウンドはそれなりにはあるが、公園のほとんどは小さい子供用の遊具で、グラウンドは許可がないと使いつらい。北部にあるスポーツ公園のようにバスケット

自由意見

ゴールと壁打ち用の壁がもっとたくさんあると良いと思う。部活動が減り、体を動かせる所が少なすぎる。家にいるとゲームばかりするなど叱られ、外に出ればたむろすると通報され、小中学生が気の毒である。

- ・ 沢山頑張っているスポーツ選手や団体を、大小問わずもっと町で取り上げてみてはどうか。支援もしてほしい。
- ・ テニスコートの整備と増設をしてほしい。
- ・ サッカーの町にしていきたい。して行ってほしい。
- ・ とぼね運動場のようなグラウンドを追加してほしい。
- ・ スポーツ大会をもっと増やしてほしい。特に軟式野球。
- ・ 体育館も少ない。少ない為、予約も取りづらいから争奪戦。スポーツイベントも施設がない為、開催地として選択されない。豊橋のココニコのような施設ができてほしい。
- ・ スポーツ施設(テニスコート)の利用予約が、当日予約出来なくなって困っています。以前のように当日予約できるように戻してほしいです。
- ・ 岡崎市から転入しましたが、医療、教育共に充実していると思います。でも、個人の感想ですが、小学校の部活動がないのならもっと運動の機会を作ってほしいと思います。低学年のうちから始めた方がいいスポーツが多いので、中学からスタートは遅すぎます。周りにもクラブチームに入って活動している子が多いですが、体育館が勤労者体育センターしかないのではなかなか取れません。学校開放も1団体が2~3枠おさえていてなかなか取れませんでした。どの競技も週に3日以上やりたいと思いますので、体育館を他にも造って下さい。出来れば勤労者体育センターよりも大きな体育館、大会や試合を誘致出来る規模ものを希望します。23号も開通すれば幸田町への交通がもっと良くなるので、幸田町=スポーツの町になって欲しいです。

5 文化・芸術 (5件)

- ・ 幸田町民「文化を楽しむ日」を決定してほしい。
- ・ 町民会館のホールの座席を増加させて室内の大規模イベントの開催をしてほしい。
- ・ 自然を大切に残しつつ、子どもたちが色々な技術、文化などに触れる機会が持てる幸田町になってほしい。
- ・ 文化協会への支援強化をしてほしい。
- ・ 図書館のDVDをもっと充実させてほしい。ジブリやディズニー作品など。

6 歴史・文化財 (1件)

- ・ 夏目漱石ゆかりの地など歴史的遺産の発信。

3 人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり(産業振興)

1 農業 (5件)

- ・ 住宅地を開発した50年後を考えているか。農業を残す方法を模索すべきと思う。
- ・ 中電の鉄柱がある畑を、小学校が近いので、子どもたちに畑として利用してもらいたい。
- ・ 町の特産である筆柿の種無しを改良してつくり出せないか？現在の筆柿は種が多く大きいので食べにくいし、食べれる部分が少ない。

自由意見

- ・何もつくっていない畑が沢山あるので、高齢者を対象に夏と冬の野菜づくりを講習したらどうだろうか。野菜づくりの名人をお願いをして、途中の手入れをしてもらい、あとは収穫を楽しんでもらう。
- ・世界が食糧不足になってきているため、よりいっそう農業の充実を考えてほしい。安心安全な米、野菜づくりが出来るようにしてほしい。

2 商工業 (27件)

- ・カメラアガーデン内に銀行、信用金庫のATM設置をお願いしたい。
- ・スーパーサンヨネを誘致したい。また、大きな魚市場がほしい。
- ・今後、増々の企業誘致をするための工業地増設工事計画はあるか。住民の増加や町の活性化に寄与すると思う。
- ・スターバックスコーヒー、映画館、スポッチャがほしい。
- ・深溝にコンビニが少なすぎる。飲食店も少ない。
- ・ユニクロ、GU、スターバックスコーヒーなど、ファミリー向けのお店を増やしてほしい。
- ・スーパーばかりでなく、幅広い世代が利用できる飲食店がほしい。
- ・参入を希望する企業があれば柔軟に受け入れてほしい。
- ・商業施設の種類が増えると生活が楽しくなりそう。
- ・相見駅付近に飲食店が増えたら嬉しい。
- ・幸田町に大きな企業がたくさんあると就職に良いと思う。
- ・PAOパチンコ店跡地に回転ずしを建ててほしい。
- ・バッティングセンターを建ててほしい。
- ・若い世代、子育て世代のためにカフェなど増えたら嬉しい。
- ・田舎すぎて、夜遅くまで営業している飲食店が無さすぎである。248号線沿いに、せめてスターバックスコーヒーでもあってほしい。
- ・公園を沢山つくるなら、お店の誘致をしてほしい。公園も近年は遊具が設置しづらくなっていると思うが、ただベンチが置いてあるだけでは誰も利用したいと思えないと考える。子どもが使うことも見込めないので、小さくてもカフェやチェーン店を増やした方が何倍も住みやすくなると思っている。
- ・ユニクロがほしい。
- ・無印良品がほしい。
- ・コストコがほしい。
- ・スシローやはま寿司のような100円寿司のお店がほしい。
- ・幸田駅前にもっと活気がほしい。コンビニができて便利だが、居酒屋をもっと増やしてほしい。
- ・大型商業施設がほしい。岡崎イオン、蒲郡クラスポ、西尾ヴェルサウォークに流れていく感覚がある。町内での消費を考えると、あった方が良いと思う。
- ・現在町外で外食をすることがほとんどのため、飲食店を増やしてほしい。
- ・駅が3つもあるのにどれも周りに住宅ばかりで全く活用できていない！商業施設を作り、

自由意見

町外からお金が落ちるようにしなければたった4万の町民相手じゃ町ごと死ぬだけだ。栄えなければ固定資産税が安くてもいいが。

- ・とにかく近隣にあるような施設、ドンキホーテやTSUTAYAなどのレンタルショップがほしい。わざわざ隣町まで行かなければならず、若者からすると出ていきたい理由にもなると思う。町としての魅力も弱いため、別のアプローチが必要。ベッタタウンのため過度に施設を増やすと交通が混乱し、難しいかもしれないし、落ち着いた世代には不便がないかもしれないが、若者～自分の世代あたりには出ていきたい理由がでてくると思う。何せエンターテインメント性が少なくて弱い。
- ・飲食店(テイクアウト可)をもっともっと増やしてほしい。←少なすぎ！
商業施設、企業等が少ないのでたくさん増やしてほしい。←町内で仕事を見つけにくい！
個人的に大型商業施設があったら嬉しい。
- ・商店街……幸田駅の商店街について、クラファンもわかるけど商店街があることで町の発展に影響がでていると思っている。もう少し考えてほしい。私はあの場所にいまだに商店街があることに否定的です。

3 観光 (26件)

- ・テレビで紹介されるような美味しい店が少ない。残念である。
- ・わざわざ幸田へ行こうと思えるような目玉が1つもない。居酒屋、チェーン店のカフェなどを設立し、廃れたイメージの強い幸田を変えてほしい。
- ・幸田町のための様々な取組がありがたい。相見駅のハートのイルミネーションはとても良かった。日常にほっとできる自然や、心ときめく景色があるのはとても幸せである。
- ・休暇など、町内へ遊びに来る人が増えないと、賑わいを感じない。観光の充実までは求めないが、子どもや若者が集う遊べるスポットや、ららぽーとなどの大型商業施設、スターバックスコーヒーなどの有名飲食店などを誘致すべきである。
- ・幸田町民でもえこたんに会ったことがない。どこに行けば会えるのか広報などに記載があると面白いと思う。
- ・うまいもんチケットで幸田の色々なお店を知ることが出来てとても良かった。
- ・駅前銀座の所でまたイベントをやってほしい。
- ・ペットを飼っている人は結構お金を使うため、幸田の広大な土地を利用してペットのイベントを行ってはどうか。
- ・アイボをもっと広報すべきだ。町民もあまり知らない。
- ・地域の祭りやイベント、民間のマルシェやクラフトイベントなども広報やホームページで取り上げると、町全体が盛り上がり良いと思う。世代によって触れる情報や手段が異なるため、様々な方法で広めるのが大切である。
- ・幸田駅前でも楽しみにしていた毎月15日の「モノマルシェ」をまたやってほしい。マルシェが無くなってから一気に活気がなくなったように思う。
- ・新幹線がとてもきれいに見える町だと思う。夜は特にきれい。写真やイベントなどでアピールしてみてもどうか。
- ・Hello! Projectに「つばきファクトリー」というグループがあるが、幸田町の花がつばきということで、何か関連イベントやライブをしてみてもどうか。
- ・農産物などの特産品をアピールすべきだ。いちごは人気があるし、いちご狩りなどが出

自由意見

来たら嬉しい。

- ・他県、他市に比べてレジャー施設が少なく感じる。
- ・キャンプ場など、自然や土地を生かした幸田町ならではのものがほしい。
- ・幸田町は岡崎や蒲郡に買い物などで流れてしまうため、観光スポットなどもっと魅力的な所があると良い。
- ・他県民や他市町村民に向けた幸田町のアピールを行ってほしい。
- ・自然に恵まれとても住みやすい町である。しかし、町として何に力を入れ、何を特徴としているのかが分かりづらい。様々なことにバランス良く対応している証拠だと思うが、他市から「幸田町ってどんな町？何があるの？」と聞かれたときに返事に困る。幸田町とはこんな町だと自信をもって自慢げに語れるようなものや事業があると良いと思う。また、今後若い世代が長く住めるよう、働き場や住居などが充実すると長い期間住みやすい町になると思う。いつも町民のために活躍してもらってありがたく思っている。今後も宜しく。
- ・最近、幸田町がメディアで取り上げられているのを目にする。消防カレーは、県外の友人にも配っていたが、最近になって試食した。美味しくなかった。
- ・筆柿以外の特産物を開発してほしい。
- ・幸田町の特産のなす、いちご、筆柿、エアークレイなどマスコミに推しても良いと思う。
- ・幸田町の環境を考慮した幸田町ならではの町おこしを活性化させてほしい。
- ・岡崎の犬市場のような、犬のイベントをしてほしい。大きいイベントだと、他県からも幸田町に遊びに来てくれるのではないかな。
- ・他の市町村の人が幸田町に何かをしに来るところがないため、大型の商業施設やマルチなスポーツ施設などをつくってほしい。幸田町にしかない何かがあれば他の所からも来てくれると思うし、幸田町も盛り上がると思う。
- ・自然豊かな町なので、オートキャンプ場や貯水池でのカヌー体験、収穫体験(筍や栗なども)など、もっと町外から来てもらえるように考えてほしい。以前、和歌山のオートキャンプ場に行ったら、シルバーさんが管理されていて、アットホームでとても良かった。しかもおそらく災害時の避難所になると思われる状態だった。コロナの関係と思うが、今はシルバーさんではなくなり残念だがあれば良かった。
道の駅の利用を名古屋方面からでは、どう行けばいいのか看板で知らせると、観光パンフレットなどが役に立つと思うが、帰りに見ても次に来てもらえるかは疑問。

4 支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり(福祉安全)

1 健康づくり (15件)

- ・深溝学区の医療を充実させてほしい。通院できる医療機関が少ない。スギ薬局もほしい。
- ・眼科、耳鼻科、皮膚科を増やしてほしい。
- ・お年寄りでも楽しんで利用できる運動器具の備わった公園を沢山つくり、それを奨励する運動が起これば、町の健康寿命が変わるのではないかな。
- ・病院の待ち時間が長いため、医院を増やしてほしい。
- ・公園にストレッチが出来る遊具をもっと設置してほしい。

自由意見

- ・ 婦人科が少ない。
- ・ 子どもの育成、健康づくりのためにも体育館などのスポーツ施設を建設してほしい。体育施設予約が困難である。
- ・ 人間ドッグをはじめ、保健面で色々な配慮がなされていて、他地域の友人から幸田町の配慮を羨ましがられる。ありがたい。
- ・ 幸田町の歯科医の技術が低いのはドクターの数が少ないことが問題か。歯科医には患者が多い一方でドクターは一人だ。ドクターが新しい技術を身に付けるのはとても困難だと思える。今時に求められる技術はC.R. (コンポジットレジン)である。合成樹脂に紫外線を当てて固めるものである。上手なドクターは一時間で終わらせる。早く安価である。問題は、この技術に追いつけないドクターが当たり前のように多い。客がドクターに要求出来るはずがないため、町政で、ドクターの方たちの得意分野のリストをつくってほしい。それと、幸田町に歯科医増設もしくはドクターの増員計画を願う。
- ・ 従来は緊急時でも岡崎市民病院に運ばれていたが、藤田医科大学岡崎医療センターになり早期に医師の治療が受けられるようになったことは非常に嬉しい。今後も近隣市との連携強化に努めてほしい。
- ・ クリニックの誘致をしてほしい。内科やその他の科も。
- ・ 藤田に小児科、産科を入れてほしい。
- ・ 総合病院があると良い。
- ・ 幸田町の保健センターや施設でも、コロナに感染した際の対応をしてもらえるようにしてほしい。幸田町の保健センターはいつも対応がよく相談しやすい。
- ・ 幸田町には、まだ帯状疱疹のワクチン助成制度がないので助成金を支給してほしい。

2 地域福祉 (3件)

- ・ 福祉強化を望む。一人暮らしになった場合の不安があり、子どもたちに負担をかけたくない。相談できる方法を沢山つくってほしい。
- ・ 高齢者、障がい者が年金で入れる施設をつくってほしい。
- ・ 安心安全で福祉も充実したまちづくりをお願いしたい。

3 次世代育成・子育て支援 (55件)

- ・ 学童保育の時間を延長してほしい。18:30ではお迎えが間に合わない。
- ・ 児童手当の所得制限を廃止すべき。世帯主の所得だけで判断する制度も理解出来ない。子どもに対しての制度は平等にしてもらいたい。昨年度末の幸田町独自の子育て給付金はありがたかった。
- ・ 保育園について、パート保育士の時給が低い。全クラス正規保育士の配置を希望する。
- ・ 豊橋市のように、第2子から保育料の無償化をしてほしい。
- ・ 共働きでも子育てがしやすい地域になることを望んでいる。
- ・ 町外から転居してきている子育て世代が沢山いるため、交流出来る場所がほしい。現在は支援センターが少なく、すぐに混んでしまうので行くのをためらっている。また、子育てイベントや母親ケアの教室がすくない。昔ながらの講座のみではケアしきれない。新しい講座や教室の必要性を感じる。母親の孤立を防ぐためにも母親たちが選べる教室をいくつもつくって、好きなことを通じてつながりをつくり、「孤育て」を少しでもなくしてほしい。

自由意見

い。幸田町はのびのびとした子育てが魅力的なので、住みやすく豊かな町として考えてほしい。

- ・未就学児と親の参加型はよく見かけるが、低学年と親、高学年と親などがコミュニケーションを取れる機会をイベントなどで増やしてほしい。町外出身者で実家も遠いため悩みをリアルに共有出来る人が身近にいない。
- ・お墓や死んだ人、これから死んでいく人にお金をかけるより、生きている、これから生まれる子どもたちにお金をかけてほしい。
- ・六栗地区は、今年も新1年生が増えるにつれて、児童クラブ利用者が増えるため、人員の補充や児童クラブにあてる予算の増額をすべきだ。また、小学5年生まで利用出来たら良いと思う。
- ・幸田町は若い人が多く家庭を持って暮らしている。年収も企業数も多く、財政は豊かだと聞くが、少し山側に行くと空き家が見られる。幸田町は土地が安くて良いと思われがちだが、まだ若い人が住みつくには大変である。若い人の子育て支援を行ってほしい。子供を育てるには最高な町だと言えるような政治を行ってほしい。愛知県で1、2番の町になるように祈っている。
- ・子どもを育てやすい環境を整えてほしい。
- ・これから育っていく子どもたちのために、携わる仕事をする方の人数を増やしてほしい。
- ・子どもへの税金投資をしてほしい。
- ・未満児を預かる施設を増やしてほしい。仕事をしたくても預かってくれる所がないため、入園するまで子供をみななければならないという声をよく聞く。
- ・今のところ、快適に生活出来ているため不満はない。子どもが小さく、保育園や幼稚園に通っていないため、支援センターが主催しているあつたかひろばや年2回のわくわくランド、図書館でのおはなし会などに楽しく参加させてもらっている。これからも子どもたちが楽しく遊べる機会をつくってもらえると嬉しい。
- ・薬局以外のものをつくってほしい。高齢者のためにお金をかけるのではなく、未来を担う子どもたちに向けた支援をしないでどうするのか。
- ・産前産後サポートチケットを全妊婦に配布してほしい。例えばナーシングドゥーラなど。赤ちゃん訪問などはいらないため、家事育児サポートを無償で受けられるようにしてほしい。ハイリスクの妊婦のみでなく全妊婦に行ってほしい。東京や静岡など他の地域では当たり前に行っている。すぐにサポート手続きを始めてほしい。子育てに困ったことのない人たちだけで決めるのではなく、このような意見は氷山の一角だと思い、お金があるなら使ってほしい。
- ・幸田小学校の児童館は周りの方も沢山望んでいるため、検討してほしい。小学生が下校後に安心して遊べる施設がほしい。
- ・幸田町の保育士は正規と非正規では給料面での差がベテランになるほど大きいようだ。正規と非正規の差を無くそうというこのご時世の中でなぜ幸田町は改善されないのだろうか。他の市では、非正規より正規職員の方が多く、働いた時間に見合った給料が支払われているらしい。同賃金に近づけるか、労働時間を調整するか、働いている人が納得できる改善が必要かもしれない。
- ・子育て支援の強化をしてほしい。

自由意見

- ・シングルマザーで、夫がいる家庭よりたくさん働いて収入を得なければならないのに、働いて給料をたくさんもらって子どものために貯金をしてあげたくても、頑張って頑張って働いても税金が上がってしまって出来ない。シングルマザー、シングルファザーにはもう少し配慮してほしい。
- ・子どもが安心して集まれる場所が少ないため、公民館と児童館が併設されている施設を各地区に増やしてほしい。
- ・男性の育児休暇、子育て参加が出来るようにしてほしい。
- ・子育てしやすいまちづくりをしてほしい。
- ・保育園、小学校、中学校の入学時にかかる靴などの準備費に対し、町内で使える割引券などを発行してほしい。
- ・もっと子どもたちが幸せになる町にしてほしい。幸田町での子育てはしやすいとみんなが思えるように。
- ・若者にお金をかけない町は衰退していくと思う。明石市長を見習ってほしい。高校無償化に取り組んでほしい。
- ・子どもや障がい者に対してサービスを強化すれば良いと思う。
- ・もっと子どもが住みやすいまちづくりをしてほしい。
- ・子育て支援をしないとダメ。まず物価高騰で食費が上がってるから、チケットではなく現金給付にして、チケット化するロスをなくした上で、3歳未満の保育の充実をすべき。
- ・子育てクーポンはどうなっているか。チケット化するのに手数料がかかるので現金で。子育て世代はクーポンより現金。電子マネーも可。
- ・定期的に町内のお店で使えるおむつ引換券がほしい。月ごとに5000円ほど。
- ・役場でパートを雇っているか。そういうのは子育て世代にしてほしい。町内在住限定で。とにかく、給料が上がらない、保育園は入れない、働けないのに物価だけ上がる。持続型給付金を求む。
- ・保育士の方々の激務解消のためにも、保育士を増やせるよう、働きたいと思える仕組みを行政が考え、整えるべきだと思う。すごく素敵な先生方が激務のせいで職を離れるのはとても忍びない。行政の窓口対応もそっけないと思う。もっと現場の先生方のために、温かい支援やサポート体制をとってあげてほしい。
- ・子どもが安全で楽しく、親も無理せず働きながら子育てが出来る環境を整えてほしい。
- ・自分が子育てをする世代になって、初めて生きづらさを感じている。若い世代へのケアを手厚くすれば、外へ出た若者も戻ってくる可能性があるし、外から人を呼び込むことも出来る。小さい子どもだけでなく、小、中、高、大学生まで幅広くサポートしていくことを強く望む。幸田町で子育てが出来て幸せを感じる。自分の子どももこの町で生きてほしいと思っているので、ぜひサポートをお願いしたい。
- ・六栗支援センターの修繕など、幸田町は空き家問題などもあるが、せつかくふるさと納税寄付金もあるので、今暮らしている子どもたち、これから生まれてくる子どもたちにもっと目を向け、遊びやすい、楽しめる環境、施設づくりをしてもらいたいと思う。どうか今一度考えていただけると嬉しい。よろしくをお願いしたい。
- ・子どもに手厚い支援をお願いしたい。給付金のようにお金を出すのではなく、施設や人員

自由意見

- などを充実させて子どもたちが手厚いと感じられるようにしてほしい。保護者に対しての援助ではなくて良い。すぐには反応が無くても、豊かな子どもが育つと思う。
- ・ 保育園、放課後児童の拡大、特に受け入れ人数の増員及び時間の延長をお願いする。
 - ・ 幸田町の活性化のために、老人介護より子育て支援に力を入れてほしい。
 - ・ 子どもが質の良い教育を受けること、子育てをする親が働きながら子育てができるサポート体制をつくるのが大切だと思う。
 - ・ 土日祝運営の子育て支援センターがあると嬉しい。
 - ・ 子どもは未来の宝のため、子どもたちのために施設や教育や居場所づくりの充実を図ってほしい。
 - ・ 保育園が中も外観も汚い。
 - ・ 新築の家が増え、幸田町の住民の年齢層が変わってきてると思う。岡崎や安城のように大きな公園をつくるなどの、若い世代が喜ぶ施設や政策を考えた方が良い。
 - ・ 小学校と保育園で、習い事を委託して1時間程度やれると良い。今は働くママが多く、お迎えの時間が1時間違うだけで延長を利用しなくても済むし、学童に行く回数も減るため、学童や保育園の先生にとっても負担が減ると思う。
 - ・ 少子化で子どもたちが少ない中、子どもたちが主になれるような大人の気配りが必要である。
 - ・ 保育園のお弁当の回数を減らしてほしい。保育園は働く親が多い。子どもは喜ぶが、フルタイムで働く親は大変である。
 - ・ 子供のためのまちづくりに力を入れてほしいです。老人憩いの家はたくさんあるのに、子供の遊べる場所は少なく感じます。
 - ・ 多胎育児について理解が全く無い。多胎育児をしている世帯ともっと連携し理解を深めるべきである。中学入学前までは多胎児世帯に支援の拡大を。
 - ・ 幅広い、少子化対策・子育て支援の充実に重きを置いた町政の推進。
 - ・ ファミサポでの家事代行サービスを検討、実施してほしい。
 - ・ 子育てしにくい町(一時保育が条件つきでかなり厳しい、ママ友をつくるような機会や親子参加型イベントがすごく少ない)と近隣の人々から有名とのことで、知っていたら家を建てるのを辞めていたかもしれません。ぜひ子育てしやすい町になってほしいです！
 - ・ 子育て支援の充実
 - ・ 明石市のように子育て支援を充実してほしい。魅力的な子育て支援があれば子育て世帯の入居が増えると思う。

4 高齢者福祉 (18件)

- ・ 一人暮らしの70歳以上の方が、急に病気になったり動けなくなったりしたらどうなるのか心配だ。役場などに保健課やサービス課などを設け、そういった方と連絡が取れるような仕組みをつくるのはどうか。
- ・ 高齢者への野菜などの配送を行ってほしい。
- ・ 介護施設に入居している母に、コロナが終息しないため思うように面会できない。施設のスタッフにはとても感謝しているが、少しでも面会制限を緩くしてほしい。

自由意見

- ・終活の手引きを提案してほしい。
- ・高齢者が情報通信技術に乗り遅れているため、サポート窓口の設備をお願いしたい。
- ・えこたんバスやチョイソコというシステムがあるとは聞いているが、高齢者として今後車に乗れなくなった場合、自由に遠くへ出かけられなくなることが心配である。また、近くに学習や体操などの、目標を持って友人たちと集まれるような場所があったら良いと思う。少々の負担金があっても、生きがいとなったらどんなにありがたいことかと思う。商店などがあっても良い。
- ・70歳以上の方の運転の体験話を各区で聞きたい。
- ・今のところ幸田町での生活に満足している。将来高齢者2人または1人暮らしになったときに、生活に不安があり、元気なうちに施設の充実した町へ転出すべきか考えている。幸田町に住み続けたいと思えるように、今後のまちづくりに期待している。
- ・年金生活なので町営住宅に入居したい。
- ・福祉関係は町としては充実していると思う。ただし老人への福祉が今後に向け計画的に適正に行われていくのが懸念される。
- ・今の年齢での回答である。5、10年後は状況も変わると思う。さらに住みやすい幸田町になりますように。高齢者が心配なく幸田町で生活できる事を願っている。
- ・一人暮らしの老人の食事会への支援をしてほしい。
- ・高齢者になっても自立して暮らせることはとても大切だと思う。その点でチョイソコの社会実験などの取組はとても大切だと思う。また、老人向けの町営住宅なども今後の課題としてほしい。老人がなるべく長く自立して生きるためには買い物、病院の問題が大きいと思う。高齢者が安心して暮らせることが、若い人が安心して子育て出来ることにもつながるのではないかと思う。今後の施策として考えてほしい。
- ・幸田町はケアマネジャーがとても親切に関わってくれる。ありがたい。介護が家庭では手に負えなくなると、施設入所を考えるとところだが、入所待ちが多く、すぐには入所出来ない。費用の問題なども重くのしかかる。町というより国の施策かもしれないが、誰でもが安心して入所出来る介護施設が多く出来ることを望む。
- ・幸田町に限らず、高齢者の問題が一番深刻だと思う。
- ・親が働ける子育て世代より、働けない高齢者への配慮をお願いしたい。親同士の都合で離婚し、ひとり親世帯になった場合の手当は不要。頑張って働き納税する人が住みやすい町であってほしい。
- ・年金暮らしのお年寄りを全国に先駆けて助けてやってほしい。
- ・商業施設などが少なく、交通の便利も悪い為、自身が高齢になった時に車がないと不安。

5 障害児・者福祉（4件）

- ・障がい者福祉の施設代は高額なのに、スタッフの少数を理由に、入居している人に対して十分な対応をしていない。このことは高齢障がい者にとっても、上手く喋れないということもあり、不快である。スタッフを増やすか、リハビリができるパートなどを雇うか、施設代を下げるかしてもらわないと困る。
- ・今、発達障害の子どもが多い。その中でもグレーゾーンの子供の将来がすごく中途半端である。働く場所、学校のことなど、色々考えてあげてほしい。

自由意見	
	<ul style="list-style-type: none"> ・駅の近くにB型事業所が出来たら嬉しい。 ・障害者福祉サービス施設を充実してほしいです。障害者も同じように、住みやすい町づくりに力を入れてほしいです。よろしくお願いします。
6	社会保障（1件）
	<ul style="list-style-type: none"> ・格差が大きくなった社会にあたって、ひとり親世帯などの収入弱者に対し、相当の支援をする内容を検討推進すべき。
7	防災（11件）
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災体制は形骸化していたり、機能していない。現状では大災害時に機能していないことに気づいて困ったり意気消沈して被害が拡大すると思われる。 ・消防団員不足により団員の負担が増えており、何か大きく仕組みや手当など変えていかなければ、今後どんどん幸田町の消防団が衰退していき、防災に弱い町になってしまうので、町として対策、改善をしてほしい。 ・安全対策で、道路へのはみ出し樹木を伐採してほしい。 ・災害時のトイレは準備出来ているか。田舎でどうしようもない。三河地震の時とは大違い、下水マンホールの上への仮設トイレとかをつくるべき。 ・大雨に強い町、線状降水帯に負けない町。 ・消防団は不要。 ・水害対策に力を入れてほしい。 ・防災無線が天気や風などの影響で聞き取りづらい。 ・北部地区に消防署がほしい。救急車が来るのが遅く、命が助からない。 ・消防団の召集、育成に問題あり
8	防犯・交通安全（27件）
	<ul style="list-style-type: none"> ・幸田駅周辺は街灯が多く夜でも歩きやすいが、線路を越えた側は新しい住宅地でも少し暗く感じる。治安の面でもう少し明るくしてほしい。 ・深溝の通学路が本当に心配だ。住宅地が増え、これから生徒数が増えて歩道のない所を大人数で通うことになると思うので、事故が起こる前に対応をお願いしたい。 ・通学路の安全性を向上させてほしい。 ・小学校の通学路で歩道が狭くガードレールの取り付けがない場所を把握し、改善してほしい。 ・夜に運動をする人たちのために、街路灯の拡充をしてほしい。特に防犯のためにも、明るさは大事である。 ・豊坂小学校は地域の方が子どもたちを見守ってくれてとてもありがたい。 ・小学生の集団登校などで歩道が占領されていて歩けない。片方に寄るなどの指導はされていないのか。いつも時間をずらしたり、小学生が通らないような道を選んではあるが、思うように歩けない。 ・鷺田区にある防犯パトロールの増車をしてほしい。青パトにもっと町を巡回してほしい。 ・通学路のガードレールを徹底してほしい。

自由意見

- ・道路、通学路の整備、街灯の増設など、安心安全に過ごせる幸田町になってほしい。
- ・暗い道の街灯を増やしてほしい。
- ・防犯対策で、防犯カメラ設置の拡大をすべき。
- ・幸田町は近年、人口が著しく増加しているが、駅周辺の道の整備、街灯の整備をしてほしいのと、歩行者、自転車、バイク、車が多く大きな事故が起きてしまう気がする。生活道路も抜け道としてスピードを落とさず走行していく人がとても多い。時間帯により通り抜け禁止するとか、学童の通学路にカラーリングする、止まれの表示をするなどルールを設ける必要を感じる。
- ・夜になるとウォーキングをしている方をよく見る。特に年配の方は、フラフラしていて車に気づいていない様子もみられる。街灯のない道で暗い色の服を着てライトや反射板もなく歩いている方が多いように思うので、反射板付きのキーホルダーや小さなライトなど何か対策できるものを渡してみるのはどうだろうか。
- ・防犯カメラを増やしてもらい、全ての世代が安心安全に暮らせる町であってほしいと願っている。
- ・幸田町は夜になるとすごく暗いので、もっと色々な所で街灯を増やしてほしい。
- ・横断歩道に昔ながらの黄色い旗を置いてはどうだろう。もっと、歩行者が目立つ方法を考えてほしい。止まらない車に苛立つ。
- ・交通違反、ドライバーマナー強化を充実してほしい。
- ・永野ちびっこ広場あたりの道路が狭くなる区間で事故が増えている。
- ・永野の道路が新しく通る分岐に信号が出来る予定がないと聞いている。死亡事故につながる前に、開通と同時に子どもたちの安全確保に努めてほしい。
- ・街灯を増設してほしい。
- ・トライアルの近くに住んでいるが、小学校の通学路や距離に不安を感じている。安全のための道路の整備やバスによる登下校を希望している。
- ・岡田病院と里山ひろばの道路に信号をつけてほしい。子どもやお年寄りも多く横断していて、ひかれぬか心配である。死亡事故が起こる前に対応してほしい。
- ・岡崎市のように、シルバーさんによる小学校までの通学や横断の補助がほしい。
- ・保育園の散歩は楽しそうだが、車が突っ込んでこないかひやひやする。
- ・夜の中央公園や町民会館が暗いと思います。街灯がもう少し明るくなると、ウォーキングや散歩がしやすくなると思います。
- ・街灯が少ない。

9 市民生活 (17件)

- ・幸田町で合同の墓があれば、個の墓はいらなくなると思う。
- ・ごみをいつでも捨てられるようにしてほしい。
- ・都市ガスになると良い。
- ・ドッグカフェやドッグランなどの犬と遊べる所がほしい。
- ・ペットの長寿のお祝いがあると嬉しい。表彰や、名前を広報に記載するなどがあると良い。

自由意見

- ・副業を推進してほしい。
- ・スーパー袋を指定のごみ袋にしてほしい。
- ・ゲートボールやグランドゴルフ大会などで、なるべく参加賞などの景品をトイレットペーパーやティッシュなどの日用品にしてほしい。生活するのに少しでも助かる。
- ・問27について、この問題に答えを求めるのならば町民全員を対象にアンケートを取るか、選挙投票の時にアンケートを取るか、別の方法が良いかと思う。墓は不要だが整備は必要だと思う。
- ・物価上昇における補助をしてほしい。
- ・町営の墓地が整備されたら、大々的に知らせてほしい。
- ・町営の墓地は、近くて、交通の便が良い所がいい。
- ・墓については、現在所有している人に調査して、今後ついていく人がいないところについて50年をめどに町が管理するとかしていった方が良くと思う。
- ・保護犬、保護猫に目を向けてほしい。幸田町でも、犬猫の譲渡会をしてくれたり、それがまだ難しいようなら、保護団体がやっている譲渡会を紹介したりして殺処分を減らす取り組みをして頂けるととても嬉しい。
- ・墓地の整備をしてほしい。
- ・これからの若い世代に病院や墓地は良い考えだと思う。
- ・町営の墓地を考えているのならばペットの墓地も考えてほしい。

5 市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり(計画推進)

1 参加・協働 (18件)

- ・地元の付き合いを簡素化して、住んでいる人の希望で強制力のない自治会活動にしてほしい。幸田町は岡崎や蒲郡に比べて、そういった活動が面倒くさいとよく聞く。
- ・幸田町の行事が多いと感じる。参加するのは希望者だけで良いと思う。順番に伍々長、スポーツリーダー、年行事などをやるのが当たり前で、なったら絶対に行事に参加しなければならないという空気がある。休日がつぶれてしまう。彦左まつりなど、役員になると参加させられ苦痛である。この時代に役員で時間を使うのは無理である。改善をお願いしたい。
- ・なかなか意見を言えない人が多い。もっと町に出て町民の意見を聞いてほしい。どこかの国の国王がタクシードライバーとして人々の意見を聞いていたように、思い切ったことをしないと案は浮かばない。
- ・PTAや子供会を見直して幸田町内で統一してほしい。
- ・組での役員決めで、子どもがどんどんいなくなり、役員決めが難しい。組ごとでの参加という方法を変えるべきではないか。
- ・今後、皆が安心安全な生活が出来るまちづくりにお手伝い出来る範囲で参加協力していきたい。
- ・自治会への加入を自由にしてほしい。
- ・このようなアンケートがあると意見が伝えやすいので嬉しい。ありがとう。
- ・地域の交流の場はこれ以上は必要ない。

自由意見

- ・高齢者が多く、意見も強いと感じるので、現役世代の意見をもっと吸い上げ、バランスをとってほしい。
- ・草刈り、草焼きなど、地域活動が多い。
- ・区における組ごとの役割をできるだけ平等にしてほしい。他の組は一度何かの役をやったらもうずっとやらなくて良いところもあるようだが、私の組は4年に一度は何らかの役が回ってくる。高齢などの理由は分かるが、同じ世代では不平等と強く思っている。
- ・自治会活動はほどほどに。都会からの移住者に強制するようにならないように。
- ・自治会活動は（組長）は、働いている人間には負担が多すぎる。住んですぐ、町に愛着が無い状態でやっても、負担と不満しかない。いまだに許せない思いが消えない。特定の住民の犠牲の基に成り立つ町政は何とかならないのか。
- ・地域のスポーツ委員など、参加希望者が少ない中、家を回り参加者を募るのは本当に大変である。地域活動の大切さは理解出来るが、負担が大きい。
- ・コロナでしなくてもよかったような行事等、不要と思うものを廃止して行ってほしい。消防団や婦人会等、町民の負担になり半強制になるようなことを無くして住みやすくしてほしい。
- ・若い意見や現場の困り事をしっかり聞いて対応してほしい
- ・地域住民（強制）参加の野焼きと草刈りは時代に合わないので、こんなのがあれば幸田に住まなかったとさえ感じています。日頃の農家の方(?)の野焼きも辞めてほしいと思ってるくらいです。他地域では延長火災となって死者や被害もよくニュースになっています。地域でのこうした活動は見直す時期にあると思います。クリーン活動なども、現在のニーズに合った適切な、キラキラしたイベントへ変換していくべきです。
幸田町は暮らしていくのに、「色んなものがちょうど良い」とても素晴らしくて素敵な町だと思います。このまま、買い物には困らないのに「適度な田舎」感のある、気持ちの良い空間であってほしいと思っています。

2 共生・交流（13件）

- ・元気なお年寄りや保育園児の交流がほしい。高齢者を保育士の補助として採用したらどうか。
- ・日本人の就業者不足から外国人の比率が高くなっているため、ごみの出し方など、日本の日常的な制度やルールなどをもっと説明した方がよい。
- ・性的少数者に対する配慮があるとありがたい。
- ・高齢者と若者が安心して共存できる幸田町にしてほしい。
- ・子どもと高齢者が触れ合うことが出来る場所があるとよい。
- ・デンソーやソニーなど日本を代表する会社がほとんどある幸田は毎日外国人の人数も多い中、十分な看板や避難の案内がないことが残念。
- ・他の市町村より転入した老人は、常に疎外感を感じる。他市町村も同じかもしれないが、幸田町は特に感じるのでは住みづらい。
- ・女性が仕事をしやすい環境づくりをお願いしたい。
- ・様々な世代が気軽に交流出来るような施設や機会があれば参加したい。
- ・もっと女性が前面に出てほしい。

自由意見

- ・町内に交流が少ない。
- ・この世の中、女性が不利な世の中だと思います。（育児） ←そのため女性が安心して働きやすい環境にしてほしいです。
- ・子育て支援センターや、病気病後児保育など、女性が経済的に自立しやすい環境を早く整えてほしい。高齢者ばかりではなく、全世代に向けた政策を展開してほしい。

3 情報共有（13件）

- ・広報などを全てデジタル化してほしい。子育ての合間に紙ベースだとごみも増えるし、手間も増える。隙間時間を利用して読みたいので、そういったことなども考慮し、進めてほしい。忙しい子育て世代の声もちゃんと聞いてほしい。
- ・町民が今求めているものを早く発信してほしい。
- ・グラウンド、図書館、プールなどの公共施設の収支を開示してほしい。
- ・今回の住民意識調査は2000人を対象にした膨大な調査項目、調査内容であるが、結果をどのようにして町民に伝えていくのか、周知していくのか、広報などで教えていただきたい。
- ・ホームページが調べにくい。若手の役場の職員に相談すべき。高齢者ならぬ50代でも疑問解決に時間を要する。今回チョイソコを調べたかったが分からなかった。
- ・小学校、中学校の連絡はEメール連絡ではなく、アプリを導入してほしい（例：すぐーる）。Eメールでは、見忘れてしまうことが多い。アプリだと、グループに分けられるので、自分に必要な連絡しかこないため使いやすい。西尾市が導入済み。
- ・現幸田町の情報発信はインスタグラムの活用等を通じて良い運営が出来ていると思う一方で、成人式をインスタライブで配信し、中学の思い出写真が公に公開されるのは個人情報保護の面で情報管理が不足していると思う。
- ・広報の放送が荻谷学区では聞き取りにくい。
- ・区によって、町内放送を使用する所と、町内放送を使用するなという区があるのはなぜか。メールも同じ。
- ・世間ではCN、SDGsなどと言われているので広報こうたなどの紙媒体は電子化した方が良いのではないかと思う。正直読みもしないものが家に届くので、いらぬと言う層もいると感じている。必要かそうでないかを精査してほしい。
- ・広報こうた毎月楽しみにしています。
- ・SNSでもっと情報を発信してほしい
- ・行政は町のために日々努力をされていると思いますが、広報紙くらいしか情報を知る機会がなく、発信力が弱く感じます(悪く言えば、何をやっているのか、何をしたいのかわからない)。また野焼きの推奨や幸田駅前の悲惨な現状などの理解に苦しむことについても、しっかり説明すべきだと感じます(広報紙や議会だよりで簡記されているが、その後の推移や結果がわからない)。行政の仕事は非常に複雑で困難を極めることが多いことは理解していますが、幸田町が魅力ある町に発展するように、今後も頑張ってください。

4 行政経営（38件）

自由意見

- ・町民の意見を積極的に取り入れるためのツールとして、SNSなどを活用して収集するシステムを作成し、展開してほしい。今時区長を通して吸い上げるのはどうかと思う。
- ・議員の世代交代が望ましい。
- ・住民票がコンビニから受け取り出来ないことが不便である。
- ・町職員の産経新聞購読を推進してほしい。
- ・携帯電話やパソコン、タブレットなどを使いこなすことが困難であり、前向きに捉えて利用する意欲も湧かない人でも、一般的に心地よい社会生活が出来ることに対する配慮がほしい。昔ながらの行政も残して置いてほしい。今の生活の活性化についていくことが出来ない人もいるということを忘れないでほしい。
- ・町議会の改善をすべき。議会だけでは議員のレベルで質問されて内容が乏しい。
- ・古い考え方にこだわっている人を変えてほしい。若い人に幸田町を任せたい。1回議員を総入れ替えするべきだ。
- ・ふるさと納税の活用について、公共インフラの整備に充ててほしい。
- ・町役場は土曜営業をしてほしい。
- ・不法投棄は速やかに回収してほしい。通報も組、区長、役場という順番で言わないと対処しないのか。通報後数か月経過したが放置されたままである。行政指導はどうなっているのか。一般町民から直接役場への通報では受け付けないのか。あるいは受け付けたとしても無視しているのか。
- ・C.「幸田町のまちづくりについて」の質問に関して、普段から質問にあった内容について意識していないため、「どちらともいえない」を多く選択した。おそらく、不満に思わない程、行政のサービスが行き届いている証拠だと思う。質問内容が難しすぎて該当しない分、回答が残念に思われるかと思うが、非常に行政サービスには満足している。
- ・役場の職員についても、職員からの提案、意見を聞き取り、町の行政に反映させていただきたい。
- ・重要な項目や施策については、次期の町総合計画で具体化をしていただきたい。
- ・人口の推計は大変なことかと思うが、次期の計画においてはもう少し具体的な将来人口を示してほしい。
- ・町民プールの経営形態が変ではないか。
- ・役場が土日どちらかでも空いていると助かる。
- ・うまいもんチケットをまたやってほしい。
- ・町の職員の給料を上げてほしい。
- ・町会議員の方がしっかり意見をつないでくれているが、全く動いていない議員もいるようである。この差がないように町民のために働いてほしい。議会だより読んでいる。
- ・土日祝日に行政窓口を開けてほしい。休日手数料があってもいい。
- ・各選挙をせめて町内ならどこでも投票可能にしてほしい。ICT化やマイナンバーカードをと言うならせめてこれくらい出来てほしい。
- ・色々なものがオンライン化されてはいるが、すべての人がスマホやタブレットを扱い慣れているわけではないので、紙媒体をなくすことなく、優しい行政窓口対応を続けてほしい。

自由意見

い。

- ・若い人間が多いにもかかわらず、一向に電子マネーの導入も進まない。昔から住んでいる年寄に気を使っているとは思えない。
- ・町に対しては怒りと憎しみ、復讐心しかない。町内会に入り、3ヵ月もしないうちに組長を押し付けられ、土日の休みはつぶれ人生設計も狂わされた。相見の保留地を買ったが、1円も還付もなく、町内会に多額なお金が振り込まれている。住民に1円も区画整理後に戻さないのは初めて聞いた。登記の司法書士も強制的に決められ、ぼったくりの手数料を取られた。住民からぼったくったお金は、相見の住民のため、何一つ還元がない。交番、児童館が出来るのもうわさで消えた。意見を言うにも説明会はすべて年寄しか参加できない平日に行っている。一部の権力者がおいしい思いをしていることが許せない。区画整理事業でさぞもうけた、甘い汁を吸った連中がいることだろう。私は幸田の近隣出身だが、幸田がこんなに腐敗した町とは思わなかった。今のままでは、どんなことをやっても、老害どもの利益のための行政となるようにしか思えない。今の町政には、全く期待していない。
- ・区からの要望を待つのではなく、役場の担当者は地域に出てきてほしい。行政で処理した1年後、2年後を見てほしい。
- ・マイナンバーカードも、住民票や出生届のように役場で発行出来るようにしてほしい。年齢の高い者は発行手続きが大変である。
- ・近隣市に頼りすぎている。しかも岡崎、蒲郡、西尾とバラバラである。特に選挙は投票する気が失せた。
- ・近い将来岡崎市と合併することを期待している。以前額田郡と岡崎市が合併する際に、幸田町だけが合併しなかったことのメリットが分からない。
- ・2月になると一気に工事が増えるのは、予算を使い切るためにやっているのか。予算を2月まで残して大丈夫なのか。それまでにもっと予算を使うべきタイミングはなかったのか。無駄な工事をまとめてしているのはいか。特に1本道で2、3箇所工事をしていると、仕事や子供の体調が悪く急いでいるときなどに渋滞して困るため、なんとかしてほしい。
- ・児童クラブを春休みや冬休みで利用するとき、「長期」の者は使いにくい。せめて利用が10回出来て3000円支払いが出来るように、休み期間中は月をまたいで利用が出来るようにしてほしい。
- ・議員が幅広い世代から採用されるようにしてほしい。また、それなりの報酬を付与してほしい。
- ・マイナンバーを申請したのだが、土日になると長蛇の列が出来ていて取りに行けない。日にちを増やすか、時間を長くしてもらえると助かる。
- ・役場の窓口を土曜日でも空けてほしいです。
- ・保健師、保育士の意識を変えてほしいです。失礼な発言が多すぎると感じる。
- ・行財政の効率化・無駄の排除を革新的に推進してもらいたいです。役場上がりではない人が町長になれる・町長になりたい人たちが居る魅力ある町に。
- ・ふるさと納税活用内容の見える可要。幸田町は、ふるさと納税額が全国的に上位ランクであるが、町や町民にどのように還元、活用されているのか分かり難い。

自由意見

- ・町の施設利用を町民優先、町民のみ等の制限を設けてほしい。
- ・子育てや女性活躍、ダイバーシティインクルージョン、同性婚等、社会的な問題について、町議員の方(派閥問わず)全員で講習を受けてほしい。どうしても会社で受けている教育等と、町内の動きが違うことが気になる。
市役所はあまり利用したことがないが、投票や予防接種など、利用した際の案内は適切であり、さほど時間もかからず終わり助かったので、感謝しています。

6 その他

1 まちづくり全般 (30件)

- ・若い方の移住により人口は増えているが、継続的な施策を打つべきだ。
- ・10年ほど前に「三ヶ根未来会議」というプロジェクトがあったが、未だ何の変化も見られない。
- ・これからの幸田町に期待している。
- ・老若男女が互いに尊敬、助け合い、健康で笑顔なまちづくりをしてほしい。
- ・幸田町がより良くなるように願っている。
- ・一日でも早く幸田市になってほしい。
- ・現在の図書館が不便であるため、駅近に移転するか、第二図書館を設置してほしい。
- ・今後、老人も若い人も共に声掛けをして、皆で幸田町に住んで良かったといえる町でありたい。
- ・農林業、商業、工業、観光のバランスの良い町で、いつまでも暮らしやすい安全な町であってほしい。
- ・都市化したいのか、自然豊かな町にしたいのかがわからない。
- ・明石市長のようなことをやってほしい。
- ・産業道路や防災の整備、高齢者、少子化の対策を。思い切ってモデル地区にしてほしい。
- ・若者がずっと住みたいと思える、安心安全で交通の便が良い町にしていただけると助かる。
- ・幸田町に住みたい！住み続けたい！と思えるメリットがもっと出来ると嬉しい。
- ・他市町村には負けない、美しい町を目指してほしい。
- ・今後も市町村合併することなく、幸田町であり続けてほしい。
- ・これからの幸田町をよろしく願います。日本で一番と言われる町にしていってもらいたい。
- ・町を挙げて地域を盛り上げようとしてくれているのが分かって嬉しい。ドラマの撮影地にするなど広報に力が入っていると感じる。
- ・若い世代向けの企画がどんどん通るような町であってほしいと個人的には思う。
- ・スターバックスコーヒーができるという話が出たとき、嬉しかったし、幸田町も少しずつ町の発展に前に進んでいくのかなと思ったけど、話があと一歩というところで無くなったと聞いて本当に残念。幸田って、「本当に何にもないよねー」っていう、言葉が少しでも変わったらいいなと思う。毎日生活して、これとって、何が変わったの、と実感できるものが、数十年住んでいるけど、よく分からない。

自由意見

- ・若者が町内に住み続けられる町にしてほしい。
- ・住み良いところづくり、治安に強い町に。
- ・ますます住みやすい幸田町になるよう、頑張ってもらいたい。
- ・将来の幸田町を担う子供たちの意見を取り入れたまちづくりをしてほしい。
- ・若い者が住みやすいまちづくりをして下さい。
- ・これからも民意に寄り添い、周りが驚く様なチャレンジ政策を進めて下さい。
- ・常に若い人が希望を持てるまちづくりを考えて頂きたく思います。民主主義的には多数の意見を取り入れることにはなると思うのですが、若い人の意見は2倍、3倍にカウントする形で取り入れて頂きたく思います。
- ・何のためにやるのか誰がうれしいのか分からないこと、説明ができないことはすぐに無くす、改善すること。無駄をなくして、若い人たちが離れない環境になってほしい。なんでも町民のボランティアに頼らず、お金があるのなら民間に頼み、町民の負担が軽くなるようにすべき。お金がないとしても、他予算を低減してでも、町民の心身のやすらぎのために使うべき。
- ・高齢者も住みやすいまちづくりをお願いします
- ・今のところ住みやすいと感じているし、他の近隣の市の方の評判？も悪くないと思うので必要な事をこのままやってほしい

2 その他 (38件)

- ・なぜ今更一度立ち消えになった町営墓地の話が出てくるのか。不信を持っている。
- ・住みやすい街だと感じる。子育て世代への臨時金や、うまいもんチケットはとても良かった。
- ・自然豊かで住みやすく大好き。愛知県ではここ以外住みたくないと思える。
- ・町民ファーストで頑張ってもらいたい。
- ・大きな不満はない。これからも継続的に頑張ってもらいたい。
- ・町全体の空気が沈滞していて進歩がなく淋しいかぎりだ。
- ・緑が多く公園が沢山あり、買い物も車か自転車があれば不便ではない。大きな商業施設はないが、岡崎か蒲郡で事足りるし、その分夜が静かで嬉しい。安全に静かに暮らす場所としてはとても満足している。
- ・先祖のおもりは辛い。
- ・問27は全く知らないことだった。
- ・いつも考えていただきありがたく思っている。
- ・昨年救急車にお世話になり、消防隊員の方にとっても感謝している。ありがとう。
- ・アンケートの内容が多岐にわたり、盛沢山すぎて答えるのが大変で適当に答えている人が多くなるのではないかと。もっと狭い内容で質問すべきだ。
- ・80代では設問に真剣に回答が出来ない。
- ・生活保護家庭がどうして競艇やパチンコなどのギャンブルを毎日のようにしていても良いのか。

自由意見

- ・町として素晴らしいとは言わないが、文句もないし平均以上の町だと思う。
- ・嫌いである。引っ越して来なければ良かった。
- ・こんなに考えても訳が分からないような調査は不要である。もっとわかりやすい設問にしてほしい。途中でいい加減な回答になった。
- ・このアンケートが、回答する年齢がバラバラになるか一部に偏ってしまうかで、正しい回答調査になるのか疑問である。
- ・見えづらいので、このような用紙をあまり送ってこないでほしい。
- ・問10(4)の情報の発信と管理の項目は、情報の発信と管理で分けて項目を設置すべきである。
- ・幸田町はのんびり広々としてとても住みやすく、落ち着く町だと思っている。
- ・当調査票の問いの数が多い。もっと減らして絞れないものか。
- ・幸田駅からタクシーを利用し、びっくりしたことがあった。自宅の住所を言ったのに全然違う田んぼ道を行こうとするので、もう一度住所を伝えると慌てて言い訳を言っていた。今時こんなぼったくりをするのかと暗い気持ちになった。こういう人がいることは残念。
- ・幸田町は住みやすい所である。
- ・自然も多く子育てしやすい。
- ・今のままで十分である。住み良い所へ来て良かった。
- ・幸田町は、適度な自然もありながら、町全体がきれいで施設も充実していて、住み良く気に入っている。
- ・同性、異性関係なく、現在の事実婚を含む準婚姻関係を認めるような条例施行(他の地域で言うパートナーシップ、ファミリーシップ)。異性間の事実婚で認められる範囲や、家族間であれば対応可能な範囲を、少なくとも町内では認める内容。出来れば周辺の市町村も含められるとなお。※施行の際は周知徹底を。
性的少数者(マイノリティ)に関わる講習を義務化(職場、学校等)。ただし、カミングアウト(公表)の強要禁止し、相談窓口等の紹介を併せるなど配慮する。※職場環境改善やセクハラ対策にも繋がるので是非実施を。
性的少数者(マイノリティ)を含めた差別禁止。
保険証などの性別表記の位置変更(裏面へ)や通称名表記。※方法も併せて、可能な範囲を周知徹底
申請書等における押印及び性別記載欄の見直して、市町村単位で裁量可能な出来る限り廃止。
蒲郡市の「多様な性を理解しましょう」のようにホームページ上でも周知徹底。
問い合わせ方法について。対面、電話以外にメールにも対応。時間外にも問い合わせ可能に(返信は業務時間内)。
SDGsが世間で言われているから～という訳ではないが、いち町民の暮らしへの改善施策実行は町民全体の暮らしの改善となると思うので。
- ・今のままで良い。
- ・夏に子供達がたくさん集まる町民プールが古くなってきているので、全体的に綺麗になってくれたら嬉しい。また、トレイなどもコロナ対策で便座消毒などがあると嬉しい。
- ・問8-2 紙では、2つまで選択できる。Webページでは1つしか選択できない

自由意見

- ・調査したところで反映される事がないのでやめてもらいたい。4年前引っ越して来て土地を購入し家を建てたが、家の前の道路が私有地でなく砂利道で整備してもらいたく2年続けて市役所に行って頼んだが返事だけで対応してもらえず。町民調査はやって町民の言った要望はやってくれない。幸田町に引っ越して来なければ良かったと後悔しています。
- ・好きな町です。
- ・マスクの着用は任意です。飲食店や幸田役場での「入る時はマスクしてください」のポスターは不要である。強制するような貼り出しは、やめさせてほしい。
- ・犬猫の避妊手術費用の補助。犬猫のマイクロチップ補助。
- ・まじで納税とかわからないのでしぬ。
- ・町議会議員……これ言ったらヤバイかもしれませんが、毎回地域活動していると町議会議員の方が飲酒運転して帰宅するの、やめてほしいんだよね。これが全国ニュースになったらすごいことになる。個人に言わなくてもよいので、たくさんの方がいるところで「飲酒運転は絶対にやめましょう」と言うぐらいはしてほしい。
- ・カルト宗教……いま一番危険視されてる■■会。あぶない宗教ランキングでも1位です。幸田町の卒業名簿を使用して勧誘したり、車内に監禁勧誘等も目の前でみたことあります。母校に出禁になった信者もいます。とにかく超危険なので幸田町で禁止することはできないと思うので、そういうことが幸田町でもたくさんおこっていて被害者（亡くなっている方もいます）がたくさんいることを把握しておいてほしいです。安全安心な幸田町であってほしいです。
ヤバイコメントですみません。やばかったらコメント削除して提出してください。よろしくをお願いします。

資料 調査票

第23回幸田町住民意識調査

～ あなたの声をお聞かせください ～

日ごろから、町政に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

住民意識調査は、町民の皆さまから幸田町のこれまでの取り組みに対する評価をいただくとともに、これからのまちづくりに対するお考えをお聞きし、今後の町政運営の基礎資料とするために実施するものです。昭和54年から実施しており、今回で23回目となります(原則2年に1回実施)。

今回実施する調査にあっては、町内にお住まいの18歳以上の方の中から2,000人を無作為に選び、調査票を送らせていただきました。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨を御理解いただき、御回答くださいますようお願い申し上げます。

令和5年2月 幸田町長 成瀬 敦

御記入にあたってのお願い

【調査の取り扱い】

- 回答の内容は、すべて統計的に処理し、他の目的に利用することはありません。安心して率直な御意見をお聞かせください。
- 調査集計結果は、広報こうた、町ホームページなどで公表します。

【記入上の注意】

- 宛名の御本人が回答するようお願いいたします。**ただし、事情により御本人が回答できない場合は、18歳以上の御家族の方が回答していただいても結構です。

【回答方法】

- 回答期限までに、①または②のいずれかの方法で御回答ください。

①Webページから入力

右の二次元コードまたはURL (<https://form.run/@kota23>) からWebページにアクセスし、御回答ください。

Webでご回答いただいた方は、本調査票の郵送は不要です。



②調査票に記入

この調査票に直接記入し、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて御投函ください。

【回答期限】

令和5年2月24日(金)

【問合せ】

幸田町 企画部 企画政策課 政策グループ

電話：(0564) 63-5132 FAX：(0564) 63-5139

Eメール：kikakujoho@town.kota.lg.jp

こちらの調査票のみ返信用封筒に入れて郵送してください。

A. あなた自身についてお聞きします。

問1 あなたの性別は。(○は1つだけ)

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

問2 あなたの年齢は。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～29 歳 | 2. 30～39 歳 | 3. 40～49 歳 |
| 4. 50～59 歳 | 5. 60～64 歳 | 6. 65～69 歳 |
| 7. 70～74 歳 | 8. 75 歳以上 | |

問3 あなたの職業は。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 農林漁業 | 2. 自営業 |
| 3. 会社員など（会社役員・公務員含む） | 4. パート・アルバイト |
| 5. 学生・専門学校生 | 6. 家事専業 |
| 7. 無職・その他 | |

問4 あなたが同居している家族の構成は。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------------|---------|------------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ | 3. 親子（2世代） |
| 4. 親・子・孫（3世代） | 5. その他（ | ） |

問5 あなたのご家族（一緒に暮らしている方、あなたご自身も含む）の中に次の方はいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------------|------------|---------------------|
| 1. 小学校入学前の子 | 2. 小学生・中学生 | 3. 中学校卒業以上 18 歳未満の子 |
| 4. 65 歳以上の方 | 5. 介護を要する方 | 6. 障害者手帳を所持されている方 |
| 7. 上記（1～6）に該当する者はいない | | |

問6 あなたが住んでいる小学校区は。(○は1つだけ)

- | | | |
|--|-------|-------|
| 1. 坂崎 | 2. 幸田 | 3. 中央 |
| 4. 荻谷 | 5. 深溝 | 6. 豊坂 |
| ※小学校区がわからない場合は、お住まいの大字、小字を御記入ください。
（幸田町大字 字 ） 例：菱池字元林 | | |

問7 あなたが幸田町に住んでいる年数は。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 1 年未満 | 2. 1 年以上 5 年未満 |
| 3. 5 年以上 10 年未満 | 4. 10 年以上 20 年未満 |
| 5. 20 年以上 | |

B. 町政についてお聞きします。

問8 町政に関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

1. 非常に関心がある	3. あまり関心がない
2. 多少関心がある	4. まったく関心がない

問8で1,2を選んだ方にお聞きします。

問8-1 関心がある理由は。

(○は2つまで)

1. 行政に住民の意見が反映される
2. 住民参加の機会がある
3. 町に愛着がある
4. 自分の生活と関係が深い
5. 町の情報発信が積極的
6. 税金の使われ方に関心がある
7. その他 ()

問8で3,4を選んだ方にお聞きします。

問8-2 関心がない理由は。

(○は2つまで)

1. 行政に住民の意見が反映されない
2. 住民参加の機会がない
3. 町に愛着がない
4. 自分の生活と関係していない
5. 町の情報発信が不足している
6. 関心を持つ余裕がない
7. その他 ()

問9 町政の情報源は何ですか。(○はいくつでも)

1. 広報こうた	2. こうた議会だより
3. 町ホームページ	4. 回覧板
5. ケーブルテレビ	6. 新聞
7. タウンメール	8. 友人・近所・家族などの口コミ
9. SNS (インスタグラム、フェイスブック等)	10. 子どもの学校や保育園
11. 町議会議員	12. 区長
13. その他 ()	14. 情報源がない

C. 幸田町のまちづくりについてお聞きします。

問10 まちづくりに対する評価と期待

幸田町の行政施策に対する「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

※（ ）内にとり組内容の一部を挙げていますので、回答の参考にしてください。

設問項目	現状の満足度					今後の重要度				
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
回答例	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【安全・安心】										
(1) 防災体制の強化 (防災リーダーの育成、防災備蓄品の配備、安全テラスセンター24)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 河川・ため池・山の整備 (河川改修、ため池耐震補強、森林保全、菱池遊水池)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3) 消防・救急体制の充実 (消防車の整備、救急救命士の養成、AEDの講習会、消防団活動支援)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 交通安全・防犯対策の強化 (安全な通学路の整備、防犯灯の設置、不審者情報の提供)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(5) 消費生活の安定向上 (消費者被害未然防止講座、消費生活相談)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(6) 道路の整備 (町道の整備・維持管理)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(7) 公共交通の整備 (えこたんバスの運営、駅前駐車場の整備)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(8) 新しい移動手段の検討・導入 (藤田乗合直行タクシー、チョイソコなどの社会実験・サービス開始)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(9) 上水道の整備 (上水道整備、耐震化・老朽化への対策)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(10) 下水道の整備 (下水道整備、耐震化・老朽化への対策)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(11) 住宅の整備 (木造住宅耐震診断、耐震改修費補助、町営住宅の運営、住宅地の整備)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(12) 市街地の整備 (土地区画整理事業、駅周辺の整備、景観の配慮)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(13) 公園・緑地の整備 (公園の整備・維持管理、緑地の保全)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(14) 墓園の整備 (地域の共同墓地の新規区画の確保、多様化する墓地需要への取組)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

設問項目	現状の満足度					今後の重要度				
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
【環境】										
(15) 自然環境の保全 (環境に関する学習会の開催、新エネルギー利用への補助)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(16) 公害対策の推進 (河川水質の監視、事業所指導)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(17) ごみ問題への対応 (リサイクルの推進、資源回収の推進、不法投棄の監視)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【産業振興】										
(18) 農業の振興 (特産物のPR、農道・水路等の整備、農地の保全)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(19) 新産業の創生・企業の立地 (産学官の連携、企業の誘致)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(20) 商業の振興 (経営支援、商業団体の育成)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(21) 観光の振興 (イベントの実施・PR、観光地の整備、近隣市との連携)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【健康・福祉】										
(22) 健康づくりの推進 (予防接種・健康診査の実施、自主活動グループの育成、健康の道)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(23) 医療体制の充実 (地域で必要な医療を受けられる体制の構築)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(24) 子育て支援 (子育て支援センター運営、ファミリー・サポート事業)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(25) 就学前教育・保育の充実 (保育園の運営・整備、幼稚園就園補助金、認定こども園等給付費支給)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(26) 子どもの居場所の充実 (放課後児童対策、児童館の整備)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(27) 障がい者福祉の充実 (障がい者の自立支援、障がい者福祉サービスの充実)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(28) 高齢者福祉の充実 (介護予防教室、介護支援、見守り訪問、老人クラブ活動支援)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【教育・文化】										
(29) 学校教育の充実 (地域に根ざした学校づくり、学校施設・設備の整備、特別支援教育)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

設問項目 満足度・重要度 それぞれ1つを選択	現状の満足度					今後の重要度				
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
(30) 健やかな青少年の育成 (家庭教育学級の実施、「家庭の日」の啓発)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(31) 生涯学習の推進 (講座・教室の開催、生涯学習活動の支援)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(32) スポーツの振興 (スポーツイベント・大会の開催、スポーツ教室の開催)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(33) スポーツ施設の充実 (スポーツ施設の整備、スポーツ施設の修繕)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(34) 歴史・伝統文化の継承 (文化財の保存・展示・周知)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(35) 文化の振興 (町民会館の施設整備・イベントの開催)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【協働・参画】										
(36) 男女共同参画の推進 (男女共同参画の啓発、審議会委員への女性の登用)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(37) 地域活動の推進 (コミュニティ活動への助成、地域活動施設の整備)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(38) 多文化共生の推進 (行政サービスの多言語化、日常的な外国籍町民との交流・共生)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(39) 広域行政の推進 (近隣市との連携強化、広域連携の推進)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(40) 情報の発信と管理 (広報こうた、ホームページやSNSでの情報発信、個人情報の保護)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(41) 効率的で健全な行財政 (使用料・手数料の見直し、行政改革の推進)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問11 (1)～(41)の行政施策のうち、今後、特に力を入れてほしいものは、番号とその理由を下覧に御記入ください。(3つまで。番号は3～5ページに掲載)

番号	理由

D. 幸田町への定住の意向についてお聞きします。

問 12 あなたは、これからも幸田町に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 住み続けたい | 2. どちらかというに住み続けたい |
| 3. どちらかという町外に転出したい | 4. 町外に転出したい |

↓

問 12 で 3,4 を選んだ方は理由をお聞かせください ()

問 13 幸田町のよいところは。 番号とその理由を下覧に御記入ください。(3つまで)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 緑や川などの自然環境が豊か | 2. 公園や緑地が多い |
| 3. 子育てがしやすい | 4. 教育環境がよい |
| 5. 就業の機会が豊富である | 6. 買い物が便利 |
| 7. 地域での人間関係がよい | 8. 文化やスポーツの機会に恵まれている |
| 9. 災害に強い | 10. 治安がよい |
| 11. 医療・福祉サービスが充実している | 12. 交通の便がよい |
| 13. その他 () | |

番号	理 由

問 14 幸田町の悪いところは。 番号とその理由を下覧に御記入ください。(3つまで)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 緑や川などの自然環境が乏しい | 2. 公園や緑地が少ない |
| 3. 子育てがしにくい | 4. 教育環境が悪い |
| 5. 就業の機会が少ない | 6. 買い物が不便 |
| 7. 地域での人間関係が悪い | 8. 文化やスポーツの機会が少ない |
| 9. 災害に弱い | 10. 治安が悪い |
| 11. 医療・福祉サービスが不足している | 12. 交通の便が悪い |
| 13. その他 () | |

番号	理 由

E. 日常生活における行動・意識についてお聞きします。

問 15 下記のことについて、あなたの日常生活における行動や意識は、「はい」「いいえ」のいずれにあてはまりますか。 いずれか該当する方を選んで番号に○印をつけてください。

No	質 問	回 答 (いずれかに○)	
		はい	いいえ
【安全・安心】			
1	あなたは、災害に備えて非常持出袋を用意していますか。	1	2
2	あなたは、自宅の家具転倒防止対策を行っていますか。	1	2
3	あなたは、マイタイムラインを知っていますか。 ※一人一人の防災行動計画で、台風の接近による河川の水位上昇に備えて行動する内容を、接近前から時系列に整理したもので、どのタイミングで避難するかを考えるための一助にする。	1	2
4	あなたは、幸田町に消防団があることを知っていますか。	1	2
5	あなたは、町が、“止まってくれて「ありがとう！」” をスローガンに交通安全運動を実施していることを知っていますか。	1	2
6	あなたは、日頃から防犯対策を行っていますか。	1	2
7	あなたは、身の回りの住環境が整っていると感じていますか。	1	2
8	あなたは、町内の鉄道駅は利用しやすいと感じていますか。	1	2
9	あなたは、幸田町は公園・緑地が豊かであると感じていますか。	1	2
10	あなたは、過去1年間に町内の公園・緑地を利用したことはありますか。	1	2
【環境】			
11	あなたは、資源・ごみの分別方法を知っていますか。	1	2
12	あなたは、省エネルギーやリサイクルに心掛けていますか。	1	2
【産業振興】			
13	あなたは、地元の農産物を購入するように心掛けていますか。	1	2
14	あなたは、町内の商店で買い物や飲食サービスを利用するように心掛けていますか。	1	2
15	あなたが町外の人に紹介したいと思う幸田町の観光資源はありますか。	1	2
【健康・福祉】			
16	あなたは、普段から健康に心掛けていますか。	1	2
17	あなたは、かかりつけ医がいますか。	1	2
18	あなたは、日常生活の中で身近に相談できる人がいますか。	1	2
19	あなたは、地域で子どもを育む活動をしたことがありますか。	1	2
【教育・文化】			
20	あなたは、生きがいにしているものはありますか。	1	2
21	あなたは、趣味や教養、スポーツなどの活動を楽しんでいますか。	1	2
22	あなたは、日頃から文化や芸術に触れていますか。	1	2
【協働・参画】			
		はい	いいえ

問 21 今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、重点的に実施してほしいと考える施策は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 安定した医療体制確保 | 2. 町民の感染防止対策 |
| 3. 感染状況や感染防止対策などの情報発信 | 4. 小・中学生の学習支援 |
| 5. 子育て世代への経済的支援 | 6. 町内商業施設、商店などの消費喚起 |
| 7. 大学生など若者世代への支援 | 8. 高齢者の生活支援 |
| 9. 雇用対策・労働環境の改善 | 10. テレワークなど新しい働き方への対応 |
| 11. スポーツや文化活動への支援 | 12. 町民活動・地域活動への支援 |
| 13. 特にない | 14. その他 () |

H. 公共交通に対する評価と新たな移動手段の検討・導入についてお聞きします。

問 22 各公共交通並びに幸田町における公共交通全般について、あなたが利用する場合の評価として、最も近いものを1つずつ選んで番号に〇印をつけてください。

交通手段	利用しやすい	どちらともいえない	利用しづらい	利用したことがない
回答例	1	②	3	4
(1) JR (幸田駅、三ヶ根駅、相見駅)	1	2	3	4
(2) タクシー	1	2	3	4
(3) コミュニティバス (エコたんバス)	1	2	3	4
(4) 福祉タクシーチケット	1	2	3	4
(5) 高齢者タクシーチケット	1	2	3	4
■幸田町における公共交通全般	1	2	3	4

問 23 幸田町では、町民の皆さまのより良い交通体系を構築するため、令和2年4月より「藤田乗合直行タクシー」、10月より「チョイソコ」をそれぞれ社会実験として導入しました。以下の問いにお答えください

藤田乗合直行タクシーとは？

社会実験として、幸田町役場とJR相見駅と藤田医科大学岡崎医療センターを結ぶ「藤田乗合直行タクシー」を運行しています。平日のみの運行で、行き4便、帰り5便です。社会実験中の運賃は無料です。

チョイソコとは？

豊坂小学校区と深溝小学校区にお住まいの65歳以上の方又は障害者手帳をお持ちの方を対象とした乗り合いサービスです。平日の9時から16時までの運行で、豊坂エリアと深溝エリアを中心に設置されている停留所間を移動できます。複数のかたの目的地、到着時刻をシステムが計算し、乗り合わせた上で目的地まで移動します。社会実験中の運賃は無料です。

問 23-1 新しい移動手段について知っていますか。(それぞれ1つ)

「藤田乗合直行タクシー」

1. 詳しく知っている
2. 名前くらいは知っている
3. 知らない
4. その他 ()

「チョイソコ」

1. 詳しく知っている
2. 名前くらいは知っている
3. 知らない
4. その他 ()

問 23-2 新しい移動手段を利用したことがありますか。また、利用したいですか。

(それぞれ1つ)

「藤田乗合直行タクシー」

1. 利用したことがある
2. 利用したことはないが利用したい
3. 利用したいと思わない
4. わからない
5. その他 ()

「チョイソコ」

1. 利用したことがある
2. 利用したことはないが利用したい
(豊坂小学校区及び深溝小学校区の方)
3. 事業拡大されれば利用したい
(豊坂小学校区及び深溝小学校区外の方)
4. 利用したいと思わない
5. わからない
6. その他 ()

問 23-2 で「利用したいと思わない」を選んだ理由は何ですか

1. 藤田医科大学岡崎医療センターに行く用事がない
2. 車など別の交通手段を利用する
3. 利用方法がわからない
4. その他 ()

1. 行きたい場所がない
2. 車など別の交通手段を利用する
3. 利用方法がわからない
4. その他 ()

I. 墓地の整備についてお聞きします。

問 24 あなたは、お墓を所有していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. お墓を所有している | 2. お墓を所有していない |
|--------------|---------------|

問 25 問 24 で「お墓を所有していない」と回答した方にお伺いします。今後、お墓の取得を希望しますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. お墓の取得を希望する | 2. お墓の取得を希望しない |
|---------------|----------------|

問 26 あなたは、埋葬・納骨について、どのような形態を希望しますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 個々に区画されたお墓 | 2. 納骨堂 |
| 3. 樹木型・慰霊碑型の合葬式墓地 | 4. 海への散骨等、お墓の必要のない埋葬を希望 |
| 5. その他
() | |

問 27 町営の墓地公園の整備についてどのように思われますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 整備が望ましい | 2. 必要ない |
| 3. 町営墓地公園ではなく、既存の共同墓地を整備すべき | 4. 民間事業者（宗教法人等）の設置が望ましい |

J. 幸田町の今後のまちづくりへの御意見や御提案がありましたら御記入ください。

--

設問は以上です。最後まで御回答いただき、ありがとうございました。

